

令和6年3月

筑北村 橋梁長寿命化修繕計画

筑北村 橋梁長寿命化修繕計画 目 次

橋梁長寿命化修繕計画

- 1.1 長寿命化修繕計画の背景と目的
 - 1.1.1 背景
 - 1.1.2 目的
- 1.2 橋梁点検の基本方針
 - 1.2.1 適用基準
 - 1.2.2 点検方法
 - 1.2.3 健全性の診断
- 1.3 長寿命化修繕計画の対象橋梁
 - 1.3.1 対象橋梁
 - 1.3.2 補修修繕計画の具体的対象橋梁
- 1.4 長寿命化に関する基本方針
 - 1.4.1 対策の優先度
 - 1.4.2 長寿命化計画の基本方針
- 1.5 橋梁長寿命化修繕計画
 - 1.5.1 各橋梁の修繕計画
 - 1.5.2 長寿命化修繕計画の効果

※参考資料

- ・ 2 順目橋梁点検結果一覧表[R01～R04]（委託分）
- ・ 3 順目橋梁点検予定一覧表[R06～R10]（全橋）
- ・ 長野県道路橋定期点検要領(R01.10 長野県建設部 道路管理課)

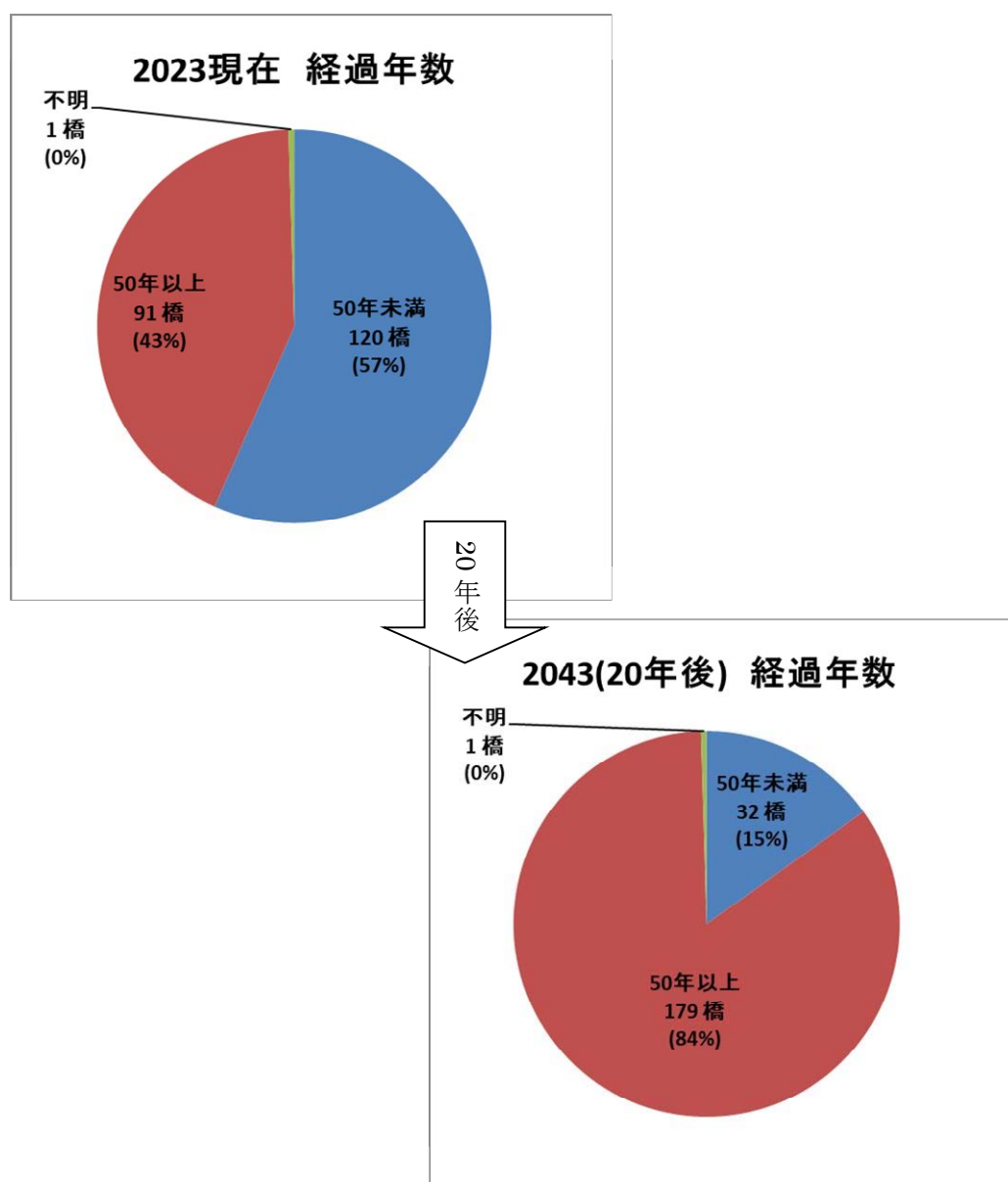
橋梁長寿命化修繕計画

1.1 長寿命化修繕計画の背景と目的

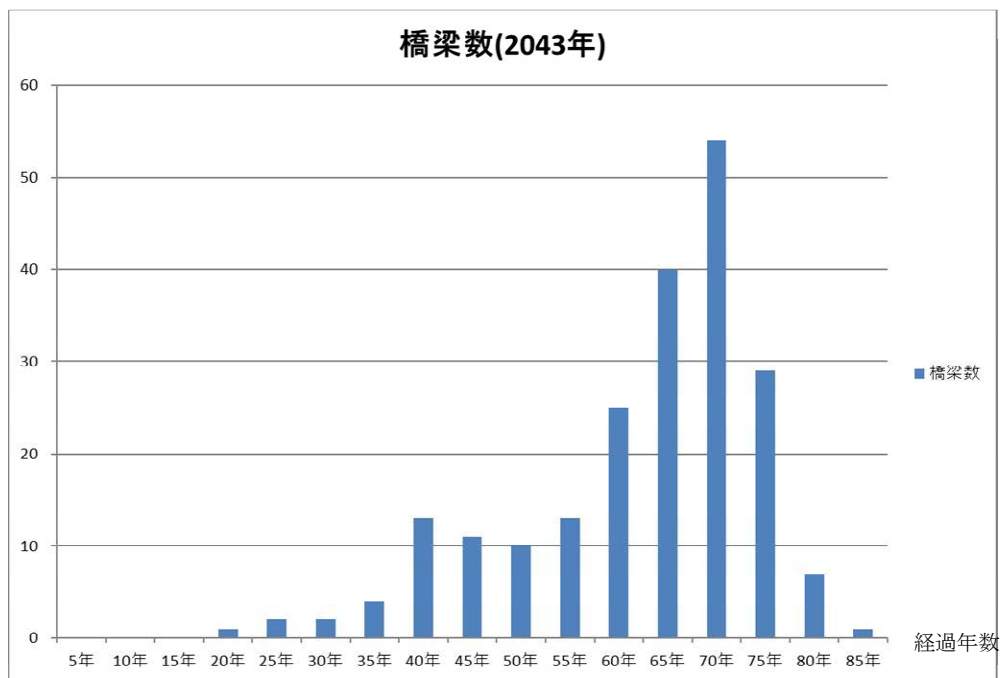
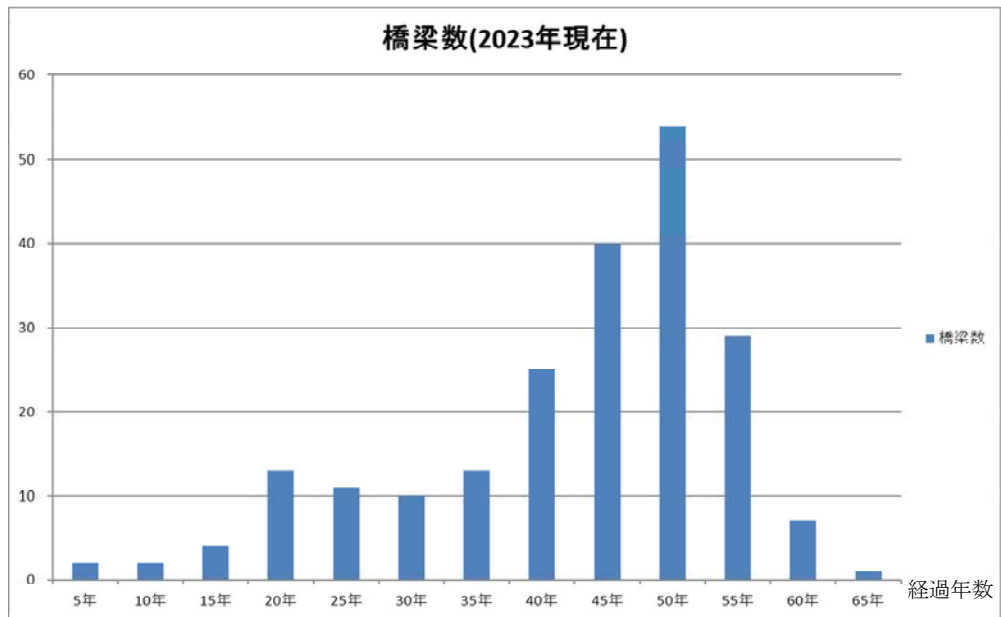
1.1.1 背景

筑北村で管理している道路構造物のうち橋梁は令和5年度(2023年)現在で212橋ある。令和元年(2019年)度より令和4年(2022年)度の4年間にわたり橋梁定期点検(2巡目)が実施されている。

2023年9月現在において、建設後50年を経過する橋は全212橋のうち91橋で、全体の43%を占めている。さらに20年後の2043年には建設後50年を超える橋は179橋となり、全体の84%を占めるに至り、橋梁の老朽化が進行し、計画的な維持管理を現段階から行う必要がある。

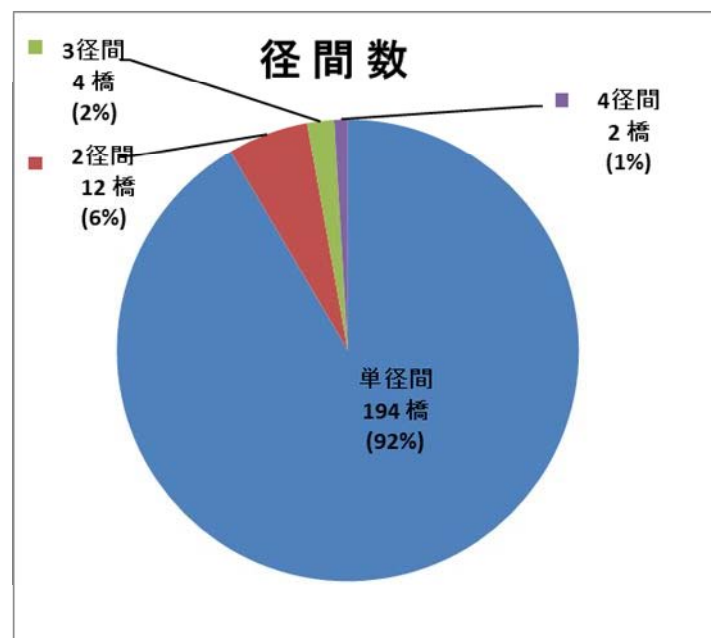
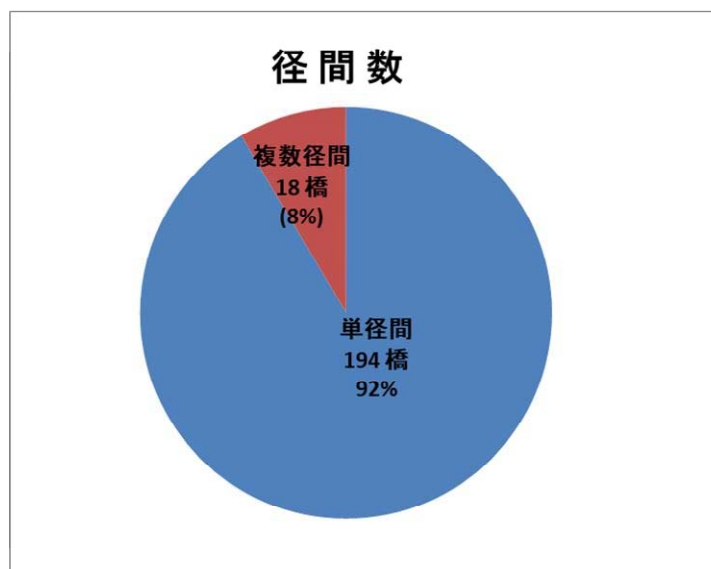


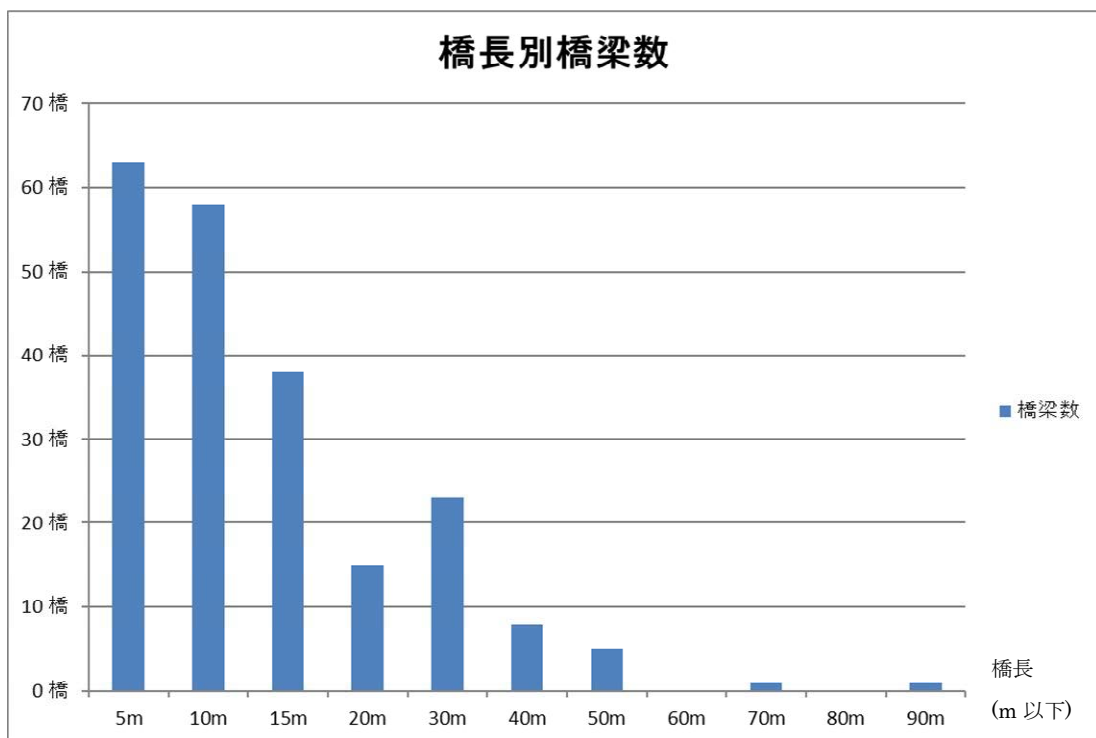
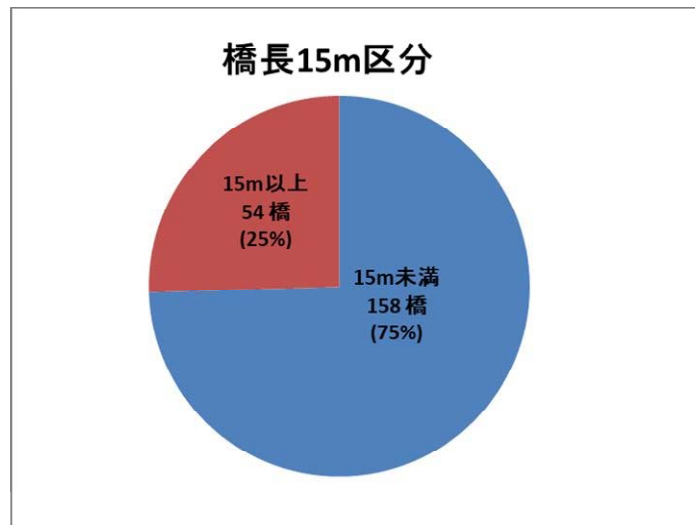
※架設年次不明橋梁：坂北 101 落合橋(北)



筑北村全体の橋梁の特徴として、2 径間以上の橋梁は 212 橋のうち 18 橋で全体の 8%程度で、単径間の橋梁が 194 橋の 92%と圧倒的に多い。また、橋長 15m 以上の橋は 54 橋で全体の 24%程度であり、15m 未満の橋梁は 158 橋の 75%を占め、比較的短い橋梁が多いことが特徴として挙げられる。

村全体で212 橋と他地域と比べて人口が少ない割に橋梁数が多いことから計画的な維持管理性の必要性が高いと言える。





1.1.2 目的

背景に述べたとおり、今後急速に増大する高齢化した橋梁の維持管理に対応するため、従来の事後的な修繕・架け替える「対症療法型」から、予防的な修繕・計画的な架け替える「予防保全型」へと円滑な転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架け替えにかかるコストの縮減と平準化を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

1.2 橋梁点検の基本方針

1.2.1 適用基準

筑北村で管理していく橋梁の点検については、基本的に以下の要領に準じて行われている。

・「長野県道路橋定期点検要領（令和元年10月：長野県建設部道路管理課）」

また、以下の要領および基準図書についても参考図書として参照している。

図 書 名		発行・監修
道路橋定期点検要領	(H31.2)	国土交通省 道路局
橋梁定期点検要領	(H31.3)	国土交通省 道路局
道路橋に関する基礎データ収集要領 (案)	(H19.5)	国土交通省 国土技術政策総合研究所
道路構造令の解説と運用	(R03.3)	日本道路協会
道路橋示方書・同解説	(H29.11)	日本道路協会
設計基準	(H26.11)	長野県 建設部
舗装設計施工指針	(H18.2)	日本道路協会
舗装設計便覧	(H18.2)	日本道路協会
コンクリート標準示方書[維持管理編]	(R05.3)	土木学会

1.2.2 点検方法

(1) 点検の範囲

筑北村で管理する橋梁において、道路法（S27 年法律第 180 号）第 2 条第 1 項に規定する道路における橋長 2.0m 以上の橋、高架の道路等（以下「道路橋」という）について定期点検を行うものとする。2023 年 9 月時点で管理橋梁は全 212 橋が対象となる。

道路橋の管理者以外の者が管理する占有物件については、別途、占有事業者へ適時適切な点検の実施について協力を求める。占有物件が道路橋に対して悪影響を及ぼしている場合については、占有事業者へ報告するとともに、点検結果を記録するものとする。

(2) 点検の頻度

定期点検は5年に1回の頻度で実施することを基本とする。

道路橋の架設状況、状態によっては5年より短い間隔で点検をした方が良いと道路管理者が判断した場合においては、適時行うものとする。特に新設橋梁、また補修工事後の橋梁については2年以内に点検することが、橋梁の長寿命化につながると言われている。

また、施設の機能を良好に保つため、定期点検に加え、日常的な施設の状態の把握や事故や災害等による施設の変状の把握等を適宜実施するものとする。

(3) 点検方法および手順

筑北村における管理橋梁については、河床から桁下までの高さが比較的低く、また河川流水も少なく歩行が可能であることから、上部工下面については河床から梯子・ポールカメラ等を用いて近接目視を行うことを基本とする。

ただし、桁高が高く、桁下からの近接目視調査が難しい橋については橋梁点検車による近接目視調査を行うものとする。また、ハイピアについては UAV による近接撮影を主として行い、写真判断により問題がある可能性のある橋梁については、ロープアクセスやクライミング技術を用いた近接目視を行うものとする。

撮影を主として行い、写真判断により問題がある可能性のある橋梁については、ロープアクセスやクライミング技術を用いた近接目視を行うものとする。

健全性の診断の根拠となる状態の把握は、近接目視により行うことを基本とする。

【法令運用上の留意事項】

定期点検を行う者は、健全性の診断の根拠となる道路橋の現在の状態を、近接目視により把握するか、または、自らの近接目視によるときと同等の健全性の診断を行うことができる情報が得られると判断した方法により把握しなければならない。

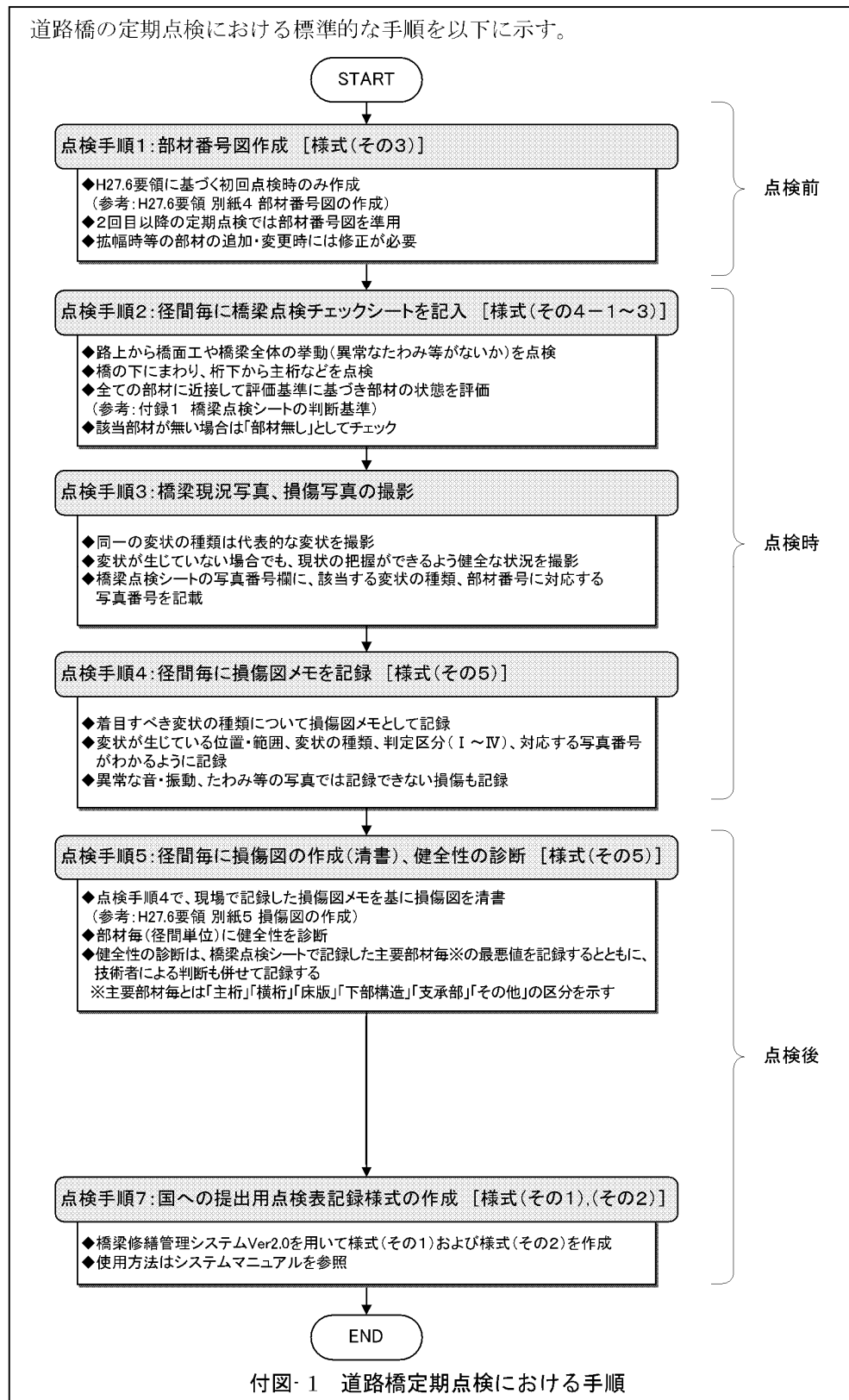
道路橋の健全性の診断を適切に行うために、法令では、定期点検を行う者が、道路橋の外観性状を十分に把握できる距離まで近接し、目視することが基本とされている。これに限らず、道路橋の健全性の診断を適切に行うために、または、定期点検の目的に照らして必要があれば、打音や触診等の手段を併用することが求められる。

一方で、健全性の診断のために必要とされる近接の程度や打音や触診などのその他の方法を併用する必要性については、構造物の特性、周辺部材の状態、想定される変状の要因や現象、環境条件、周辺条件などによっても異なる。したがって、一概にこれを定めることはできず、定期点検を行う者が橋毎に判断することとなる。

(「長野県道路橋定期点検要領 (令和元年 10 月：長野県建設部道路管理課)」 P.3)

定期点検における手順は以下のフローに従って行った。

道路橋の定期点検における標準的な手順を以下に示す。



1.2.3 健全性の診断

定期点検では、部材単位の健全性の診断と道路橋毎の健全性の診断を行い、健全性の診断は以下Ⅰ～Ⅳの判定区分により行う。

道路橋毎の健全性の診断は表 5.4 の判定区分により行うことを基本とする。

表 5.4 判定区分

区分		状態
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態。

【法令運用上の留意事項】

定期点検を行う者が、道路橋の健全性の診断の一連として、道路橋の状態の把握と次回定期点検までの間の措置の必要性について総合的な診断を行う。そして、診断の内容を、法令で求められる4つの区分に分類する。

「道路橋毎の健全性の診断」の単位は以下を基本とする。

(「道路施設現況調査要項(国土交通省道路局企画課)」を参考にすることができる。)

- ①道路橋種別毎に1橋単位とする。
- ②道路橋が1箇所において上下線等分離している場合は、分離している道路橋毎に1橋として取り扱う。
- ③行政境界に架設されている場合で、当該道路橋の道路管理者が行政境界で各々異なる場合も管理者毎ではなく、1つの道路橋として1橋と取り扱う(高架橋も同じ)。

道路橋毎の健全性の診断にあたっては、以下の点に注意する。

- ・部材等の変状が道路橋全体の健全性に及ぼす影響は、構造特性、変状の原因並びに変状の進行性、架橋条件などによっても異なること。
- ・複数の部材の複数の変状を総合的に評価するのがよいこと。
- ・健全性の診断では、変状の原因の推定に努め、措置の範囲や方法の検討に必要な所見を残すとよいこと。一方で、この健全性の診断は、定期点検で得られた範囲の情報に基づく対策の必要性に関する所見であり、具体的な措置方法について検討することはこの要領の定期点検の範囲では想定していないこと。(「7. 措置」を参照のこと)

(「長野県道路橋定期点検要領(令和元年10月:長野県建設部道路管理課)」P.7)

各部材単位の健全性の診断を以下Ⅰ～Ⅳの判定区分に分類する場合の措置の基本的な考え方は以下のとおりである。

Ⅰ：監視や対策を行う必要のない状態をいう
Ⅱ：状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう
Ⅲ：早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう
Ⅳ：緊急に対策を行う必要がある状態をいう

(「長野県道路橋定期点検要領(令和元年10月：長野県建設部道路管理課)」 P.4)

各部材単位の健全性の診断は、下表の評価単位毎に区別して行うものとする。

表 5.2 判定の評価単位の標準	
部位	部材
路面・路上	舗装
	伸縮装置
	高欄・防護柵
	地覆・中央分離帯
	排水装置
上部構造	主桁
	横桁
	縦桁
	床版
	対傾構
	横構
	P C 定着部
下部構造	橋脚
	橋台
	基礎
支承部	支承本体
	沓座モルタル
その他	補修・補強材
	落橋防止装置
	遮音施設
	照明、標識装置
	点検施設
	添架物
	袖擁壁

(「長野県道路橋定期点検要領(令和元年10月：長野県建設部道路管理課)」 P.5)

各部材単位の健全性の診断は、下表の変状の種類毎に行うものとする。

表 5.3 変状の種類標準	
材料の種類	変状の種類
鋼部材	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断、その他
コンクリート部材	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、抜け落ち、床版ひびわれ、うき、その他
その他	遊間の異常、路面の凹凸、舗装の異常、支承部の機能障害、その他
共通	補修、補強材の損傷、定着部の異常、漏水・滞水、異常な音・振動、異常なたわみ、変形・欠損、土砂詰まり、沈下・移動・傾斜、洗掘

（「長野県道路橋定期点検要領（令和元年 1 0 月：長野県建設部道路管理課）」 P.6）

※ 橋梁定期点検において準拠する「長野県道路橋定期点検要領（令和元年 1 0 月：長野県建設部道路管理課）」については、巻末に添付する。

1.3 長寿命化修繕計画の対象橋梁

1.3.1 対象橋梁

令和元年(2019年)度より令和4年(2022年)度の4年間に実施された筑北村管理橋梁 212 橋 [橋長 2.0m 以上] において、前項で示した健全性の診断Ⅰ～Ⅳの判定区分の結果は別紙一覧表のとおりとなった。

判定区分Ⅰ：健全（道路橋の機能に支障が生じていない状況）

---- 59 橋 (28%)

判定区分Ⅱ：予防保全段階（道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）

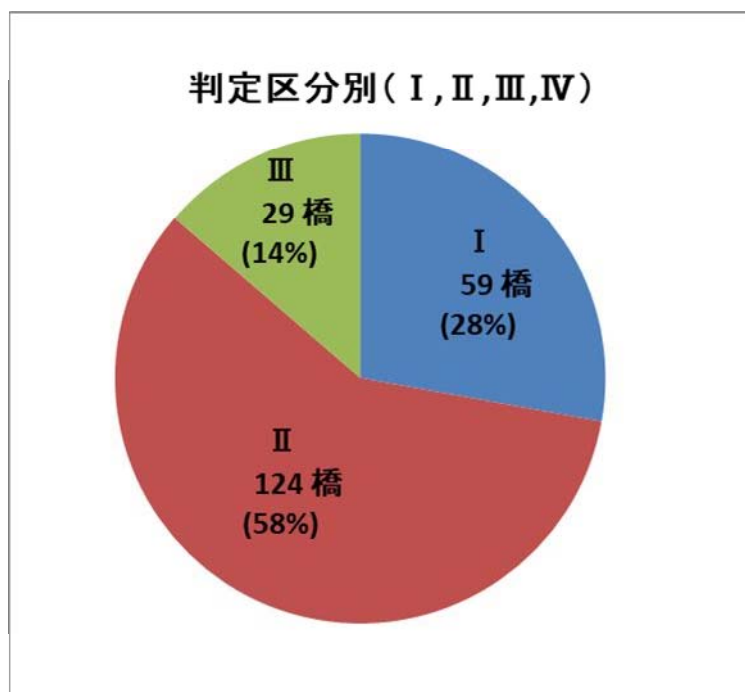
---- 124 橋 (58%)

判定区分Ⅲ：早期措置段階（道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態）

---- 29 橋 (14%)

判定区分Ⅳ：緊急措置段階（道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態）

---- 0 橋 (0%)



全 212 橋

点検の結果、判定区分Ⅱ以上の橋梁は 2023.9 時点で 153 橋(72%)にも上り、判定区分Ⅱだけでも 124 橋(58%)ある。判定区分Ⅱについては、維持管理を適切に行い「予防保全型」の管理手法とすることで延命化を図ることが理想とされているが、現時点で判定区分Ⅱ以上の橋梁が約 7 割もあることから、現実的に現時点で約 8 割の 148 橋梁を予防保全していくことは時間的、予算的に不可能である。判定区分Ⅲの橋梁が 29 橋(14%)あり、2023.9 時点では補修工事等が完成した 5 橋を除くと 24 橋ある。仮に毎年 3 橋ずつ補修工事を行ったとしても約 8 年がかかり、8 年後には判定区分Ⅱから判定区分Ⅲへと劣化している橋梁が発生することが考えられる。

すなわち、現時点で判定区分Ⅱの橋梁を対象にして補修修繕計画を立てたとしても、10 年以上先には現時点で適用すべきと考えられる補修工法では劣化対策としては十分とはならず、10 年後の劣化に応じた補修工法を立てる必要が生じると考えられる。

従って、現時点では判定区分Ⅲ以上の橋梁に対して維持管理計画を適切に立てて行うことで、現実的な長寿命化計画の立案ができるものと考えられることから、補修修繕計画の具体的な対象橋梁については判定区分Ⅲ以上を対象とする。

5 年後の点検、10 年後の点検を迎えた時、今回判定区分Ⅲ以上となる 24 橋に対してどの程度の補修ができているかにもよるが、その時点で判定区分Ⅲ以上となる橋梁数が少なくなり、判定区分Ⅱの橋梁において優先度の高い橋梁を加えて補修修繕計画を立案することが可能となった際に、本来の「予防保全型」の維持管理計画となり得ると考えられる。

対象橋梁 全 212 橋 [2023.9 時点]

・判定区分Ⅰ(59 橋)、Ⅱ(124 橋) → **経過観察** --- 183 橋

・判定区分Ⅲ(29 橋)、Ⅳ(0 橋) → **予防保全型修繕計画策定** --- **17 橋**

※ 2023.9 時点でⅢ評価が 29 橋である。2023.9 時点までに 5 橋の補修工事等が実施され、7 橋が補修計画中である。残り 17 橋に対して予防保全型修繕計画の策定を行うものとする。

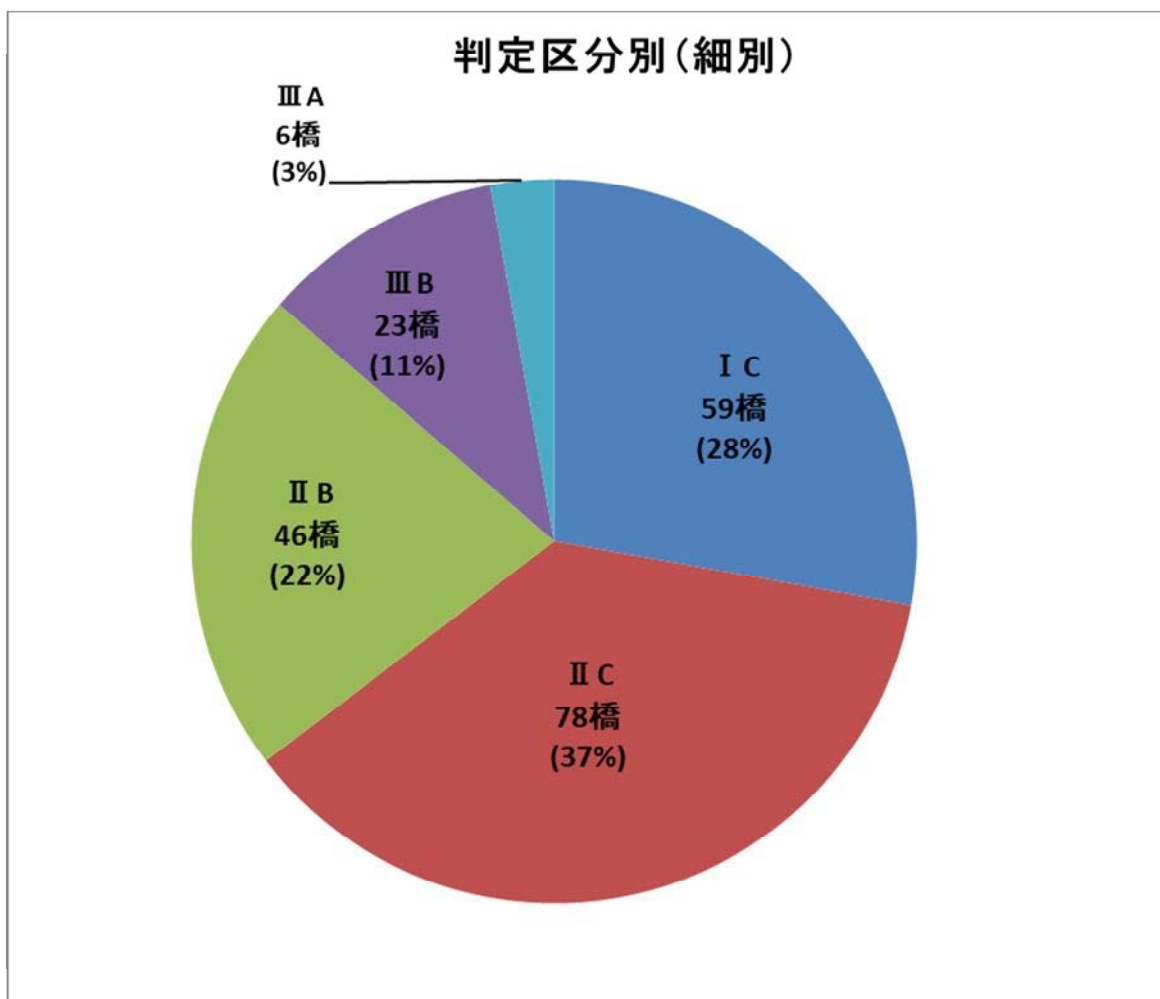
※ **坂井地区** : 21 大平橋[2022 補修工事]、40 山秋海道橋[2020 補修工事]、53 裏海道 1 号橋[2019 応急工事]、59 向方形橋[2019 応急工事]、**坂北地区** : 78 日向橋[2022 補修工事]。以上、全 5 橋

※ **坂北地区** : 12 中里川山 3 号橋[補修計画中]、19 宇洞坂橋[2023 補修計画中]、24 日影 1 号橋[2023 補修計画中]、**本城地区** : 13 川山 5 号橋[補修計画中]、15 川山 7 号橋[補修計画中]、18 川山 10 号橋[補修計画中]、32 立川 3 号橋[2023 補修計画中]。以上、全 7 橋

※ 坂北地区 : 18 新六工橋は歩道設置工事に伴い 2016 補修工事実施済みであるが、旧橋部分の桁補修が未実施のためⅢ判定のまま、69 入山 1 号橋は 2016 応急工事実施済みであるが、下部工の洗堀対策が未実施のためⅢ判定のままとなっている。

また、各判定区分Ⅰ～Ⅳの４段階の区分では優先度合いが判りにくいことから、この中においても劣化度合いに応じて「A：優先度（緊急性）が高い ～ C：優先度（緊急性）が低い」の優先度を設けることで計画的な補修修繕計画を立案するものとする。

2023 年 9 月時点における定期点検実施済みの橋梁 212 橋において、各判定区分に A～C の優先度を設けたグラフは以下のとおりとなる。



1.3.2 補修修繕計画の具体的対象橋梁

今回の補修修繕計画を行う判定区分Ⅲ以上の橋梁を次ページの一覧表に添付する。（現時点でⅣ判定は 0 橋）

[2巡目定期点検結果 判定区分Ⅲ橋梁一覧表]

令和元年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路種 別
								西暦	和暦														
1	19	大平橋	坂井	21	Ⅲ	B	補修工事済	1969	昭和44	54	6.3	1	3.0	村道 大平線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
2	29	横走線1号橋	坂井	32	Ⅲ	B	修繕計画	1984	昭和59	39	11.4	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道
3	30	横走線2号橋	坂井	33	Ⅲ	B	修繕計画	1984	昭和59	39	11.5	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道
4	37	山秋海道橋	坂井	40	Ⅲ	B	補修工事済	1987	昭和62	36	10.5	1	4.0	村道 山秋海道線	3145	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
5	46	裏海道1号橋	坂井	53	Ⅲ	B	応急工事済	1974	昭和49	49	7.0	1	3.1	村道 裏海道線	3157	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
6	52	向方形橋	坂井	59	Ⅲ	A	応急工事済	1979	昭和54	44	11.5	1	3.3	村道 大久保線	3165	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和2年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路種 別
								西暦	和暦														
7	8	日影1号橋	坂北	24	Ⅲ	A	補修計画中	1969	昭和44	54	8.4	1	4.5	村道(2級) 神明社線	201	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
8	17	日影2号橋	坂北	57	Ⅲ	A	修繕計画	1971	昭和46	52	8.0	1	3.5	村道 刈谷沢日影線	3062	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
9	21	六工橋	坂北	77	Ⅲ	B	修繕計画	1980	昭和55	43	25.5	4	2.9	村道 向六工北線	3169	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台、杭式橋脚	その他	有	一般道

令和3年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路種 別
								西暦	和暦														
10	5	小僧畑線1号橋	坂井	51	Ⅲ	B	修繕計画	1970	昭和45	53	3.0	1	5.0	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
11	6	須田橋	坂北	1	Ⅲ	B	修繕計画	1973	昭和48	50	30.0	1	4.5	村道 須田橋線	3265	村道 その他	河川	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
12	12	中里川山3号橋	坂北	12	Ⅲ	A	補修計画中	1978	昭和53	45	14.9	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
13	14	新六工橋	坂北	18	Ⅲ	B	修繕計画	1973	昭和48	50	28.4	1	8.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋、PCT橋	鋼・PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
14	15	宇洞坂橋	坂北	19	Ⅲ	B	補修計画中	1977	昭和52	46	28.1	1	4.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
15	19	赤松2号橋	坂北	33	Ⅲ	B	修繕計画	1975	昭和50	48	29.0	2	3.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
16	22	南沢橋	坂北	36	Ⅲ	B	修繕計画	1979	昭和54	44	13.0	1	1.8	村道 南沢線	3007	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	無	一般道
17	23	菖蒲沢1号橋	坂北	38	Ⅲ	B	修繕計画	1972	昭和47	51	7.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
18	31	深持橋	坂北	54	Ⅲ	B	修繕計画	1964	昭和39	59	4.9	1	2.0	村道 深持線	3052	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
19	37	入山1号橋	坂北	69	Ⅲ	A	修繕計画	1968	昭和43	55	11.8	2	3.0	筑北村道 入山線	3149	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
20	39	鬼熊徳橋	坂北	73	Ⅲ	B	修繕計画	1980	昭和55	43	16.5	1	2.5	村道 中里4号線	3158	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
21	40	日向橋	坂北	78	Ⅲ	B	補修工事済	1972	昭和47	51	40.1	2	5.0	村道 日向菖蒲田線	3170	村道 その他	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	有	一般道
22	42	大側橋	坂北	80	Ⅲ	B	修繕計画	1977	昭和52	46	5.6	1	3.5	村道 大側線	3208	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道

令和3年度(繰越) 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路種 別
								西暦	和暦														
23	4	川山5号橋	本城	13	Ⅲ	A	補修計画中	1972	昭和47	51	10.8	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
24	6	川山7号橋	本城	15	Ⅲ	B	補修計画中	1976	昭和51	47	12.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
25	7	川山8号橋	本城	16	Ⅲ	B	修繕計画	1976	昭和51	47	11.5	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
26	8	川山9号橋	本城	17	Ⅲ	B	修繕計画	1978	昭和53	45	12.5	1	4.3	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
27	9	川山10号橋	本城	18	Ⅲ	B	補修計画中	1978	昭和53	45	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
28	18	中島橋(本)	本城	55	Ⅲ	B	修繕計画	1970	昭和45	53	4.5	1	3.1	村道 中島線	3087	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和4年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路種 別
								西暦	和暦														
29	15	立川3号橋	本城	32	Ⅲ	B	補修計画中	1982	昭和57	41	15.3	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

Ⅲ以上合計	計画対象外橋梁																						
29 橋	12 橋	※29橋のうち、以下12橋については補修修繕計画対象外とする。 ・坂井地区：21大平橋[2022補修工事]、40山秋海道橋[2020補修工事]、53裏海道1号橋[2019応急工事]、59向方形橋[2019応急工事]、 坂北地区：78日向橋[2022補修工事]：補修(応急)工事済 全5橋 ・坂北地区：12中里川山3号橋[補修計画中]、19宇洞坂橋[2023補修計画中]、24日影1号橋[2023補修計画中]、 本城地区：13川山5号橋[補修計画中]、15川山7号橋[補修計画中]、18川山10号橋[補修計画中]、32立川3号橋[2023補修計画中]：補修計画中 全7橋																→ 補修修繕計画策定橋		17 橋			

令和元年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数 (2023)	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有 無	道路種 別
								西暦	和暦														
1	1	駒形橋	坂井	3	I	C	経過観察	1966	昭和41	57	5.1	1	5.0	村道(2級) 駒形線	201	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
2	2	太野田西橋	坂井	4	II	C	経過観察	1968	昭和43	55	3.9	1	5.1	村道(2級) 太の田西線	202	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
3	3	山崎線1号橋	坂井	5	II	C	経過観察	1964	昭和39	59	5.5	1	4.0	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
4	4	山崎線2号橋	坂井	6	I	C	経過観察	1971	昭和46	52	2.6	1	3.1	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
5	5	山崎線3号橋	坂井	7	II	C	経過観察	1968	昭和43	55	4.0	1	2.5	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
6	6	長楽橋	坂井	8	II	B	経過観察	1973	昭和48	50	22.4	1	4.0	村道(2級) 安坂中部線	206	村道 2級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
7	7	安坂中部線2号橋	坂井	9	I	C	経過観察	1979	昭和54	44	4.8	1	4.9	村道(2級) 安坂中部線	206	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
8	8	漸々橋	坂井	10	II	B	経過観察	1972	昭和47	51	18.0	1	4.8	村道(2級) 漸々線	207	村道 2級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
9	9	湯沢橋	坂井	11	II	C	経過観察	1975	昭和50	48	8.0	1	4.0	村道(2級) 湯沢線	210	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
10	10	松場永井中村線1号橋	坂井	12	II	C	経過観察	1971	昭和46	52	2.5	1	5.5	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
11	11	松場永井中村線2号橋	坂井	13	II	C	経過観察	1971	昭和46	52	6.5	1	5.0	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
12	12	松場永井中村線3号橋	坂井	14	II	C	経過観察	1965	昭和40	58	4.5	1	6.1	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
13	13	落合橋(井)	坂井	15	II	B	経過観察	1972	昭和47	51	17.3	1	7.4	村道(2級) 杉崎山秋線	215	村道 2級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
14	14	古司橋	坂井	16	II	C	経過観察	2007	平成19	16	24.5	1	8.8	村道(2級) 古司線	217	村道 2級	河川	PC合成床版橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
15	15	駒形線1号橋	坂井	17	I	C	経過観察	2011	平成23	12	12.5	1	6.3	村道 駒形線	3010	村道 その他	河川	RCスラブ(中空床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
16	16	幸来橋	坂井	18	II	C	経過観察	1991	平成3	32	11.5	1	6.0	村道 氷室桂石線	3022	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
17	17	氷室桂石線1号橋	坂井	19	II	C	経過観察	1970	昭和45	53	7.3	1	3.0	村道 氷室桂石線	3022	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
18	18	古司1号橋	坂井	20	II	C	経過観察	1975	昭和50	48	6.0	1	9.4	村道(2級) 古司線	217	村道 2級	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
19	19	大平橋	坂井	21	III	B	補修工事済	1969	昭和44	54	6.3	1	3.0	村道 大平線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
20	20	松場玉根橋	坂井	22	II	B	経過観察	1981	昭和56	42	7.7	1	3.0	村道 松場玉根線	3029	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
21	21	本沢橋	坂井	23	I	C	経過観察	2000	平成12	23	6.8	1	2.9	村道 本沢線	3103	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台、河川護岸	その他	無	一般道
22	22	入山線1号橋	坂井	24	I	C	経過観察	1965	昭和40	58	4.3	1	2.6	村道 入山線	3109	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
23	23	田中田線1号橋	坂井	25	I	C	経過観察	1999	平成11	24	4.0	1	5.0	村道 田中田線	3111	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
24	24	田中田線2号橋	坂井	26	I	C	経過観察	1999	平成11	24	12.4	1	5.0	村道 田中田線	3111	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
25	25	笹打線1号橋	坂井	27	II	C	経過観察	1965	昭和40	58	8.2	1	3.7	村道 笹打線	3114	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
26	26	氷室橋	坂井	28	II	C	経過観察	1970	昭和45	53	3.5	1	4.4	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
27	27	うすぎ橋	坂井	29	II	C	経過観察	1994	平成6	29	7.0	1	5.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
28	28	熊の川氷室橋	坂井	31	II	C	経過観察	1966	昭和41	57	5.6	1	4.0	村道 熊の川氷室線	3119	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
29	29	横走線1号橋	坂井	32	III	B	修繕計画	1984	昭和59	39	11.4	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道
30	30	横走線2号橋	坂井	33	III	B	修繕計画	1984	昭和59	39	11.5	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道
31	31	横走線3号橋	坂井	34	II	C	経過観察	1969	昭和44	54	4.0	1	3.3	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
32	32	細川橋	坂井	35	II	C	経過観察	1977	昭和52	46	6.3	1	3.0	村道 細川線	3127	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、河川護岸	その他	有	一般道
33	33	追沢橋	坂井	36	II	C	経過観察	1964	昭和39	59	3.0	1	3.0	村道 追沢線	3137	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
34	34	牡丹山線1号橋	坂井	37	I	C	経過観察	1970	昭和45	53	3.8	1	3.2	村道 牡丹山線	3142	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
35	35	根尾入橋	坂井	38	I	C	経過観察	1979	昭和54	44	7.0	1	3.0	村道 根尾入線	3143	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
36	36	山秋橋	坂井	39	II	C	経過観察	1978	昭和53	45	11.5	1	3.6	村道 山秋線	3144	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
37	37	山秋海道橋	坂井	40	III	B	補修工事済	1987	昭和62	36	10.5	1	4.0	村道 山秋海道線	3145	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
38	38	堀海道橋	坂井	41	I	C	経過観察	2000	平成12	23	13.0	1	5.6	村道 堀海道線	3146	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
39	39	須明橋	坂井	42	II	B	経過観察	1967	昭和42	56	8.0	1	3.5	村道 須明線	3148	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
40	40	生金橋	坂井	43	I	C	経過観察	2001	平成13	22	4.7	1	5.0	村道 生金線	3149	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
41	41	太野田熊の入橋	坂井	47	I	C	経過観察	2010	平成22	13	7.3	1	3.0	村道 太野田熊の入線	3153	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
42	42	太野田西2号橋	坂井	48	II	C	経過観察	1966	昭和41	57	3.4	1	3.3	村道 太野田西2号線	3154	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
43	43	寺入線1号橋	坂井	49	II	C	経過観察	1962	昭和37	61	4.7	1	3.0	村道 寺入線	3155	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
44	44	寺入線2号橋	坂井	50	II	C	経過観察	1971	昭和46	52	3.0	1	4.5	村道 寺入線	3155	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
45	45	小僧畑線2号橋	坂井	52	II	C	経過観察	1972	昭和47	51	3.3	1	2.5	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
46	46	裏海道1号橋	坂井	53	III	B	応急工事済	1974	昭和49	49	7.0	1	3.1	村道 裏海道線	3157	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
47	47	裏海道2号橋	坂井	54	II	B	経過観察	1974	昭和49	49	7.6	1	3.0	村道 裏海道線	3157	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道

筑北村 第2順目点検結果一覧表 全橋(委託点検) [令和元年(2019年)度より令和4年(2022年)度]

48	48	永井裏田橋	坂井	55	Ⅱ	C	経過観察	1971	昭和46	52	5.4	1	2.3	村道 永井裏田線	3158	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
49	49	矢の口線1号橋	坂井	56	Ⅱ	B	経過観察	1972	昭和47	51	5.0	1	3.6	村道 矢の口線	3161	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
50	50	矢の口線2号橋	坂井	57	Ⅱ	C	経過観察	1972	昭和47	51	5.1	1	4.0	村道 矢の口線	3161	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
51	51	矢の口線3号橋	坂井	58	I	C	経過観察	1972	昭和47	51	4.8	1	2.4	村道 矢の口線	3161	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
52	52	向方形橋	坂井	59	Ⅲ	A	応急工事済	1979	昭和54	44	11.5	1	3.3	村道 大久保線	3165	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
53	53	市之瀬橋	坂井	60	Ⅱ	C	経過観察	1970	昭和45	53	10.5	1	2.0	村道 市之瀬線	3166	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道
54	54	松場中村橋	坂井	61	Ⅱ	B	経過観察	1966	昭和41	57	3.3	1	2.0	村道 松場中村線	3169	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
55	55	山崎橋	坂井	62	Ⅱ	C	経過観察	1988	昭和63	35	28.4	2	4.0	村道 下川原線	3178	村道 その他	河川	RCスラブ(中空床版)橋	RC橋	逆T式橋台, 壁式橋脚	その他	有	一般道
56	56	宮下線1号橋	坂井	63	Ⅱ	B	経過観察	1983	昭和58	40	15.0	1	3.2	村道 宮下線	3180	村道 その他	河川	鋼板桁橋	鋼橋	河川護岸, 重力式橋台	その他	有	一般道
57	57	宮下線2号橋	坂井	64	Ⅱ	B	経過観察	1972	昭和47	51	10.5	1	2.0	村道 宮下線	3180	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道
58	58	杉崎玉根橋	坂井	65	I	C	経過観察	1988	昭和63	35	7.4	1	5.0	村道 杉崎玉根線	3181	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
59	59	熊の川1号橋	坂井	66	I	C	経過観察	1977	昭和52	46	6.4	1	4.0	村道 熊の川1号線	3191	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
60	60	氷室線1号橋	坂井	67	I	C	経過観察	1978	昭和53	45	6.1	1	2.5	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	無	一般道
61	61	氷室線2号橋	坂井	68	Ⅱ	B	経過観察	1971	昭和46	52	4.0	1	1.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
62	62	氷室線3号橋	坂井	69	Ⅱ	B	経過観察	1961	昭和36	62	5.6	1	1.8	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	合成床版橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
63	63	氷室線4号橋	坂井	70	Ⅱ	B	経過観察	1961	昭和36	62	5.1	1	2.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	合成床版橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
64	64	氷室線5号橋	坂井	71	Ⅱ	B	経過観察	1961	昭和36	62	4.0	1	1.8	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	合成床版橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
65	65	中ノ尾橋	坂北	31	Ⅱ	C	経過観察	1969	昭和44	54	2.2	1	5.3	村道(2級) 中ノ尾線	208	村道 2級	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
66	66	北林1号橋	坂北	94	I	C	経過観察	1988	昭和63	35	2.6	1	5.2	村道 北林1号線	3267	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
67	67	ヤサキ橋	本城	40	I	C	経過観察	1965	昭和40	58	2.0	1	5.0	村道 田屋1号線	3028	村道 その他	水路	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
68	68	木合橋	本城	56	Ⅱ	C	経過観察	1970	昭和45	53	3.1	1	4.0	村道 上手山線	3046	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和2年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の 有無	道路種 別
								西暦	和暦	(2023)													
69	1	高辺橋	坂北	4	Ⅱ	C	経過観察	1970	昭和45	53	19.3	1	7.5	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
70	2	川端橋	坂北	5	Ⅱ	C	経過観察	1970	昭和45	53	20.5	1	7.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
71	3	中継橋	坂北	6	Ⅱ	C	経過観察	1970	昭和45	53	16.7	1	7.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
72	4	沢口橋	坂北	9	I	C	経過観察	1970	昭和45	53	7.8	1	4.5	村道(1級) 中川里山線	103	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
73	5	桂2号橋	坂北	15	Ⅱ	C	経過観察	1971	昭和46	52	5.9	1	5.0	村道(1級) 桂線	106	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
74	6	みどり町北沢2号橋	坂北	21	Ⅱ	C	経過観察	1982	昭和57	41	4.3	1	7.3	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
75	7	みどり町北沢1号橋	坂北	22	Ⅱ	C	経過観察	1971	昭和46	52	4.5	1	4.4	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
76	8	日影1号橋	坂北	24	Ⅲ	A	補修計画中	1969	昭和44	54	8.4	1	4.5	村道(2級) 神明社線	201	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
77	9	七ツ松橋	坂北	27	I	C	経過観察	1997	平成9	26	23.8	1	7.5	村道(2級) 七ツ松線	203	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
78	10	赤松1号橋	坂北	32	Ⅱ	B	経過観察	1968	昭和43	55	7.6	1	4.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
79	11	寺沢橋	坂北	37	Ⅱ	C	経過観察	1980	昭和55	43	15.1	2	3.0	村道 寺沢線	3008	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	無	一般道
80	12	中村神明社橋	坂北	45	I	C	経過観察	1987	昭和62	36	2.8	1	1.5	村道 中通線	3028	村道 その他	河川	鋼角型桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	有	一般道
81	13	青柳町裏1号橋	坂北	46	Ⅱ	C	経過観察	1991	平成3	32	5.9	1	3.5	村道 青柳町裏線	3032	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
82	14	青柳町裏2号橋	坂北	47	I	C	経過観察	1989	平成1	34	6.0	1	3.5	村道 青柳町裏線	3032	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
83	15	上原橋	坂北	53	I	C	経過観察	1974	昭和49	49	2.0	1	9.0	村道 六工線	3050	村道 その他	河川	ボックスカルバート、RCスラブ(床版)橋	RC橋	ボックスカルバート、河川護岸	その他	有	一般道
84	16	大畑百瀬橋	坂北	55	Ⅱ	C	経過観察	1981	昭和56	42	11.7	1	1.2	村道 大畑百瀬線	3059	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
85	17	日影2号橋	坂北	57	Ⅲ	A	修繕計画	1971	昭和46	52	8.0	1	3.5	村道 刈谷沢日影線	3062	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
86	18	中通橋	坂北	59	I	C	経過観察	1978	昭和53	45	4.9	1	4.4	村道 中通裏線	3074	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
87	19	入山2号橋	坂北	70	Ⅱ	C	経過観察	1968	昭和43	55	11.4	2	3.0	村道 入山線	3149	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
88	20	中里3号橋	坂北	74	Ⅱ	C	経過観察	1980	昭和55	43	12.5	1	2.5	村道 中里3号線	3161	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
89	21	六工橋	坂北	77	Ⅲ	B	修繕計画	1980	昭和55	43	25.5	4	2.9	村道 向六工北線	3169	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台、杭式橋脚	その他	有	一般道
90	22	小滝沢4号橋	坂北	96	Ⅱ	C	経過観察	1972	昭和47	51	4.5	1	6.1	村道 旧差切トンネル線	3278	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
91	23	刈谷沢橋	坂北	98	I	C	経過観察	1985	昭和60	38	8.5	1	4.0	村道 刈ー2号線	3224	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
92	24	皿吊橋	本城	5	Ⅱ	C	経過観察	1974	昭和49	49	4.5	1	4.1	村道(1級) 西条乱橋線	107	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
93	25	砥石沢橋	本城	7	I	C	経過観察	1968	昭和43	55	3.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
94	26	川山1号橋	本城	8	I	C	経過観察	1960	昭和35	63	7.7	1	3.7	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
95	27	川山2号橋	本城	9	Ⅱ	C	経過観察	1971	昭和46	52	12.1	1	3.8	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道
96	28	川山3号橋	本城	10	Ⅱ	C	経過観察	1966	昭和41	57	3.3	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

筑北村 第2順目点検結果一覧表 全橋(委託点検) [令和元年(2019年)度より令和4年(2022年)度]

97	29	白坂橋	本城	11	Ⅱ	C	経過観察	1966	昭和41	57	3.3	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
98	30	中町西橋	本城	24	Ⅱ	C	経過観察	1971	昭和46	52	7.6	1	4.0	村道(2級) 西村線	206	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
99	31	成田橋	本城	31	I	C	経過観察	1976	昭和51	47	7.6	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
100	32	栃平橋	本城	34	Ⅱ	C	経過観察	1962	昭和37	61	9.3	1	4.6	村道 立川本線	3012	村道 その他	河川	RCT桁橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
101	33	中沢橋	本城	37	I	C	経過観察	1972	昭和47	51	21.0	2	4.0	村道 竹の下線	3025	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
102	34	森下橋	本城	39	I	C	経過観察	1965	昭和40	58	2.5	1	5.0	村道 田屋1号線	3028	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
103	35	秋葉橋	本城	43	Ⅱ	C	経過観察	1988	昭和63	35	9.4	1	3.0	村道 秋葉線	3042	村道 その他	道路	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
104	36	窪田橋	本城	44	I	C	経過観察	2001	平成13	22	15.3	1	5.0	村道 皿吊線	3043	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
105	37	由折沢橋	本城	47	I	C	経過観察	1969	昭和44	54	3.9	1	3.1	村道 北原線	3051	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
106	38	西条大橋	本城	59	Ⅱ	C	経過観察	1957	昭和32	66	21.1	2	6.2	村道 西条聖南線	3111	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
107	39	花川原1号橋	本城	60	Ⅱ	C	経過観察	1965	昭和40	58	2.5	1	6.5	村道 花川原線	3112	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
108	40	倉鹿沢橋	本城	66	Ⅱ	C	経過観察	1992	平成4	31	13.0	1	9.3	村道 滝上線	3138	村道 その他	河川	RCT桁橋、RCスラブ(床版)橋、PCスラブ橋	RC橋・PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
109	41	坪川2号橋	本城	74	I	C	経過観察	1999	平成11	24	13.0	1	9.2	村道(2級) 坪川線	203	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和3年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の 有無	道路種 別
								西暦	和暦	(2023)													
110	1	牡丹山線2号橋	坂井	1	I	C	経過観察	1970	昭和45	53	2.2	1	2.1	村道 牡丹山線	3142	村道 その他	河川	木橋	木橋	河川護岸	その他	有	一般道
111	2	飯米場橋	坂井	44	I	C	経過観察	1960	昭和35	63	5.3	1	2.5	村道 飯米場線	3150	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
112	3	太野田中線1号橋	坂井	45	Ⅱ	C	経過観察	1968	昭和43	55	4.0	1	2.5	村道 太野田中線	3151	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
113	4	太野田中線2号橋	坂井	46	I	C	経過観察	1973	昭和48	50	4.0	1	3.0	村道 太野田中線	3151	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
114	5	小僧畑線1号橋	坂井	51	Ⅲ	B	修繕計画	1970	昭和45	53	3.0	1	5.0	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
115	6	須田橋	坂北	1	Ⅲ	B	修繕計画	1973	昭和48	50	30.0	1	4.5	村道 須田橋線	3265	村道 その他	河川	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
116	7	町1号橋	坂北	2	Ⅱ	C	経過観察	1974	昭和49	49	22.0	1	7.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
117	8	町2号橋	坂北	3	Ⅱ	C	経過観察	2008	平成20	15	24.2	1	6.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
118	9	金堀橋	坂北	7	Ⅱ	C	経過観察	1980	昭和55	43	14.9	1	4.5	村道 別所小仁熊ダム線	3263	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
119	10	中里川山1号橋	坂北	10	I	C	経過観察	1982	昭和57	41	9.0	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
120	11	中里川山2号橋	坂北	11	I	C	経過観察	1983	昭和58	40	13.0	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
121	12	中里川山3号橋	坂北	12	Ⅲ	A	補修計画中	1978	昭和53	45	14.9	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
122	13	桂1号橋	坂北	14	I	C	経過観察	1988	昭和63	35	4.2	1	5.9	村道(1級) 桂線	106	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
123	14	新六工橋	坂北	18	Ⅲ	B	修繕計画	1973	昭和48	50	28.4	1	8.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	河川	鋼板桁橋、PCT橋	鋼・PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
124	15	宇洞坂橋	坂北	19	Ⅲ	B	補修計画中	1977	昭和52	46	28.1	1	4.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
125	16	東部1号橋	坂北	25	I	C	経過観察	1977	昭和52	46	3.9	1	5.7	村道(2級) 東部線	202	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
126	17	中島橋(北)	坂北	28	Ⅱ	B	経過観察	1979	昭和54	44	28.8	1	4.0	村道(2級) 中島線	205	村道 2級	河川	鋼板桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
127	18	菖蒲田橋	坂北	30	Ⅱ	B	経過観察	1974	昭和49	49	27.0	1	4.0	村道(2級) 菖蒲田線	207	村道 2級	河川	鋼板桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
128	19	赤松2号橋	坂北	33	Ⅲ	B	修繕計画	1975	昭和50	48	29.0	2	3.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
129	20	山寺橋	坂北	34	I	C	経過観察	1975	昭和50	48	5.6	1	3.8	村道(2級) 山寺線	211	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
130	21	中込橋	坂北	35	Ⅱ	C	経過観察	1978	昭和53	45	40.6	2	3.0	村道 中込1号線	3005	村道 その他	河川	鋼板桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
131	22	南沢橋	坂北	36	Ⅲ	B	修繕計画	1979	昭和54	44	13.0	1	1.8	村道 南沢線	3007	村道 その他	河川	鋼板桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	無	一般道
132	23	菖蒲沢1号橋	坂北	38	Ⅲ	B	修繕計画	1972	昭和47	51	7.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
133	24	菖蒲沢2号橋	坂北	39	I	C	経過観察	1972	昭和47	51	4.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
134	25	御子安橋	坂北	40	I	C	経過観察	2021	令和03	2	31.0	1	2.5	村道 御子安線	3012	村道 その他	河川	鋼板桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
135	26	刈一1号橋	坂北	41	I	C	経過観察	2000	平成12	23	8.0	1	5.0	村道 刈一線	3025	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
136	27	刈二2号橋	坂北	42	Ⅱ	C	経過観察	1971	昭和46	52	5.0	1	2.7	村道 刈一線	3025	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
137	28	沢田橋	坂北	44	I	C	経過観察	1973	昭和48	50	3.3	1	3.1	村道 長上南線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
138	29	末地入川1号橋	坂北	49	I	C	経過観察	1967	昭和42	56	2.2	1	1.6	村道 末地入川線	3037	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
139	30	小滝沢2号橋	坂北	51	Ⅱ	B	経過観察	1984	昭和59	39	16.0	1	4.0	村道 小滝線	3039	村道 その他	河川	鋼板桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
140	31	深持橋	坂北	54	Ⅲ	B	修繕計画	1964	昭和39	59	4.9	1	2.0	村道 深持線	3052	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
141	32	ライスセンター横橋	坂北	56	Ⅱ	B	経過観察	1968	昭和43	55	4.2	1	5.5	村道 鳥居線	3061	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
142	33	風呂屋橋	坂北	63	I	C	経過観察	1978	昭和53	45	9.5	1	4.0	村道 風呂屋線	3087	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

筑北村 第2順目点検結果一覧表 全橋(委託点検) [令和元年(2019年)度より令和4年(2022年)度]

143	34	原橋	坂北	64	Ⅱ	B	経過観察	1971	昭和46	52	4.8	1	3.0	村道 粧屋矢花線	3090	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
144	35	東山池橋	坂北	65	I	C	経過観察	1974	昭和49	49	4.9	1	4.0	村道 東山池線	3095	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	U型水路	その他	無	一般道
145	36	宇洞坂県住橋	坂北	67	Ⅱ	C	経過観察	1975	昭和50	48	6.5	1	5.6	村道 宇洞坂県住線	3102	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
146	37	入山1号橋	坂北	69	Ⅲ	A	修繕計画	1968	昭和43	55	11.8	2	3.0	筑北村道 入山線	3149	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
147	38	堀切橋	坂北	72	Ⅱ	C	経過観察	1986	昭和61	37	15.7	2	2.6	村道 堀切線	3154	村道 その他	河川	PCI桁橋、RCスラブ(床版)橋	PC橋	河川護岸、壁式橋脚	その他	有	一般道
148	39	鬼熊徳橋	坂北	73	Ⅲ	B	修繕計画	1980	昭和55	43	16.5	1	2.5	村道 中里4号線	3158	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
149	40	日向橋	坂北	78	Ⅲ	B	補修計画中	1972	昭和47	51	40.1	2	5.0	村道 日向菖蒲田線	3170	村道 その他	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	有	一般道
150	41	洪田橋	坂北	79	I	C	経過観察	1972	昭和47	51	3.4	1	5.0	村道 洪田長畑農構1号線	3194	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
151	42	大側橋	坂北	80	Ⅲ	B	修繕計画	1977	昭和52	46	5.6	1	3.5	村道 大側線	3208	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
152	43	菖蒲沢3号橋	坂北	82	Ⅱ	B	経過観察	1970	昭和45	53	4.9	1	3.4	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
153	44	明久橋	坂北	83	Ⅱ	C	経過観察	1981	昭和56	42	2.0	1	4.2	村道 明久線	3010	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
154	45	長畑橋	坂北	85	Ⅱ	B	経過観察	1978	昭和53	45	5.6	1	8.5	村道 長畑聖南中学線	3231	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
155	46	スポーツ橋	坂北	86	Ⅱ	B	経過観察	1989	平成1	34	27.4	1	4.0	村道 宇洞坂2号線	3232	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
156	47	横吹橋	坂北	87	Ⅱ	C	経過観察	1992	平成4	31	30.8	1	3.0	村道 横吹橋線	3249	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
157	48	飯綱山橋	坂北	88	Ⅱ	B	経過観察	1977	昭和52	46	8.4	1	3.0	村道 飯綱山線	3086	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
158	49	中里橋	坂北	89	I	C	経過観察	1998	平成10	25	21.0	1	8.1	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
159	50	新須田橋	坂北	93	Ⅱ	C	経過観察	2000	平成12	23	30.7	1	7.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
160	51	宇洞坂線1号橋	坂北	95	I	C	経過観察	1985	昭和60	38	2.6	1	8.0	村道(2級) 宇洞坂線	206	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	U型水路	その他	有	一般道
161	52	久保田川橋	坂北	97	I	C	経過観察	2004	平成16	19	9.1	1	2.5	村道 ライスセンター裏線	3279	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
162	53	本町橋	本城	6	Ⅱ	B	経過観察	1972	昭和47	51	3.6	1	4.6	村道(1級) 西条乱橋線	107	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
163	54	中町橋	本城	26	Ⅱ	B	経過観察	1968	昭和43	55	8.0	1	3.6	村道(2級) 乱橋立峠線	209	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和3年度(繰越) 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の 有無	道路種 別
								西暦	和暦														
164	1	駅前橋	坂北	23	Ⅱ	B	経過観察	1974	昭和49	49	3.8	1	3.5	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	水路側壁	その他	有	一般道
165	2	横道橋	坂北	43	Ⅱ	C	経過観察	1972	昭和47	51	7.0	1	3.0	村道 粧屋線	3026	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
166	3	川山4号橋	本城	12	Ⅱ	B	経過観察	1969	昭和44	54	6.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
167	4	川山5号橋	本城	13	Ⅲ	A	補修計画中	1972	昭和47	51	10.8	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
168	5	川山6号橋	本城	14	Ⅱ	B	経過観察	1974	昭和49	49	13.2	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
169	6	川山7号橋	本城	15	Ⅲ	B	補修計画中	1976	昭和51	47	12.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
170	7	川山8号橋	本城	16	Ⅲ	B	修繕計画	1976	昭和51	47	11.5	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
171	8	川山9号橋	本城	17	Ⅲ	B	修繕計画	1978	昭和53	45	12.5	1	4.3	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
172	9	川山10号橋	本城	18	Ⅲ	B	補修計画中	1978	昭和53	45	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
173	10	川山11号橋	本城	19	Ⅱ	B	経過観察	1978	昭和53	45	13.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
174	11	川山12号橋	本城	20	Ⅱ	B	経過観察	1978	昭和53	45	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
175	12	立川1号橋	本城	30	Ⅱ	B	経過観察	1976	昭和51	47	14.1	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
176	13	草塩橋	本城	38	Ⅱ	B	経過観察	1965	昭和40	58	2.0	1	2.9	村道 田屋草塩線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
177	14	草塩2号橋	本城	41	Ⅱ	C	経過観察	1964	昭和39	59	2.5	1	4.0	村道 田屋2号線	3029	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
178	15	八木1号橋	本城	42	Ⅱ	C	経過観察	1969	昭和44	54	5.2	1	3.0	村道 八木西線	3031	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
179	16	川山橋	本城	48	Ⅱ	C	経過観察	1977	昭和52	46	12.7	1	2.0	村道 小仁熊伊切線	3053	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道
180	17	くご平橋	本城	51	Ⅱ	C	経過観察	1975	昭和50	48	13.5	1	2.6	村道 くご平線	3071	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
181	18	中島橋(本)	本城	55	Ⅲ	B	修繕計画	1970	昭和45	53	4.5	1	3.1	村道 中島線	3087	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
182	19	長野道側道1号橋	本城	62	I	C	経過観察	1979	昭和54	44	8.1	1	4.0	村道 長野自動車道側道1号線	3118	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	無	一般道

令和4年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の 有無	道路種 別
								西暦	和暦														
183	1	修那羅橋	坂井	30	Ⅱ	B	経過観察	1994	平成6	29	20.0	1	5.0	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
184	2	小滝沢1号橋	坂北	50	Ⅱ	C	経過観察	1983	昭和58	40	3.2	1	10.8	村道 小滝線	3039	村道 その他	河川	ボックスカルバート	PC橋	ボックスカルバート	その他	無	一般道
185	3	粟島1号橋	坂北	90	Ⅱ	B	経過観察	1994	平成6	29	23.2	1	6.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
186	4	粟島2号橋	坂北	91	Ⅱ	B	経過観察	1994	平成6	29	33.0	1	6.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
187	5	粟島3号橋	坂北	92	Ⅱ	B	経過観察	1994	平成6	29	70.0	2	5.1	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	鋼鈑桁V脚ラーメン橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
188	6	落合橋(北)	坂北	101	Ⅱ	B	経過観察	不明	不明	不明	30.6	2	2.5	村道 南沢線	3007	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
189	7	人数坂橋	本城	3	Ⅱ	C	経過観察	1998	平成10	25	15.1	1	5.6	村道 西条小仁熊線	104	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
190	8	中山橋	本城	4	Ⅱ	C	経過観察	1997	平成9	26	15.2	1	5.0	村道(1級) 平林線	105	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
191	9	坪川1号橋	本城	22	Ⅱ	C	経過観察	1997	平成9	26	25.0	1	5.0	村道(2級) 坪川線	203	村道 2級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
192	10	田屋橋	本城	23	Ⅱ	C	経過観察	1980	昭和55	43	21.7	4	3.0	村道(2級) 西条田屋線	204	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸、杭式橋脚	その他	有	一般道
193	11	古井堂橋	本城	25	Ⅱ	B	経過観察	1983	昭和58	40	10.4	1	4.0	村道(2級) 西村線	206	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
194	12	細ヶ谷橋	本城	27	Ⅱ	B	経過観察	1983	昭和58	40	13.0	1	4.0	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
195	13	会吉1号橋	本城	28	Ⅱ	B	経過観察	1976	昭和51	47	5.7	1	4.3	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
196	14	会吉2号橋	本城	29	Ⅱ	B	経過観察	1976	昭和51	47	5.5	1	4.2	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
197	15	立川3号橋	本城	32	Ⅲ	B	補修計画中	1982	昭和57	41	15.3	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
198	16	立川2号橋	本城	33	I	C	経過観察	1980	昭和55	43	15.2	1	4.0	村道 立川線支線1号線	3011	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
199	17	楡の木橋	本城	52	I	C	経過観察	1968	昭和43	55	14.0	3	2.8	村道 楡の木線	3072	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
200	18	観音橋	本城	58	Ⅱ	B	経過観察	2001	平成13	22	89.8	3	4.0	村道 観音堂線支線1号線	3117	村道 その他	河川	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
201	19	ブナキ沢橋	本城	64	Ⅱ	C	経過観察	1982	昭和57	41	7.0	1	4.1	村道 戸川東沢線	3125	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
202	20	唐前橋	本城	65	Ⅱ	C	経過観察	1998	平成10	25	26.7	1	6.0	村道 唐前田屋線	3131	村道 その他	河川	PCスラブ(中空床版)橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
203	21	富蔵沢3号橋	本城	68	Ⅱ	B	経過観察	2000	平成12	23	28.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
204	22	富蔵沢2号橋	本城	69	Ⅱ	B	経過観察	1999	平成11	24	32.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
205	23	富蔵沢1号橋	本城	70	Ⅱ	B	経過観察	1999	平成11	24	44.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
206	24	堀の沢橋	本城	71	Ⅱ	C	経過観察	2004	平成16	19	15.1	1	4.0	村道 番場線	3147	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
207	25	西沖橋	本城	72	I	C	経過観察	2016	平成28	7	6.5	1	5.7	村道 乱橋町裏線	3153	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
208	26	皿吊池際橋	本城	73	Ⅱ	C	経過観察	1974	昭和49	49	10.2	1	3.0	村道 皿吊池際線	3154	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和4年度 NEXCO跨道橋

	番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	措置内容	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の 有無	道路種 別
								西暦	和暦														
209	1	入道窪橋	坂北	99	Ⅱ		経過観察	1992	平成4	31	31.7	1	4.0	村道 入道窪橋線	3281	村道 その他	道路	PC単純中空床版橋	PC橋	逆T式橋台			
210	2	十二橋	坂北	100	I		経過観察	1992	平成4	31	46.4	3	2.5	村道 十二橋線	3283	村道 その他	道路	PC斜材付き変形π型ラーメン橋(中空床版)	PC橋	逆T式橋台			
211	3	山神橋	坂北	101	I		経過観察	1992	平成4	31	42.0	3	2.5				道路	PC斜材付き変形π型ラーメン橋(中空床版)	PC橋	逆T式橋台			
212	4	富蔵橋	本城	61	Ⅱ		経過観察	1992	平成4	31	31.8	1	4.0	村道 観音堂線支線1号線	3117	村道 その他	道路	PC単純中空床版橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道

1.4 長寿命化に関する基本方針

1.4.1 対策の優先度

今回の補修修繕計画の対象橋梁となる判定区分Ⅲ以上の橋梁について、各調査年度に損傷度に応じて優先度A(高)～C(低)が付けられている。損傷部位の重要性和損傷規模を勘案し、優先度A(高)～C(低)に加えてさらに必要性の高い方に＋、低い方に－の符号を付けた。以下より、高いAより順に一覧表にまとめる。

※ 順番は地区：坂井、坂北、本城の順で、その中の順番は各地区の橋梁番号順であり、優先順位ではない

○判定区分Ⅲ A- [2 橋]

地区	橋梁番号	橋梁名	健全性の診断	優先度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023	点検 年次	備 考
坂北	57	日影2号橋	Ⅲ	A-	PC主桁ひびわれ、遊離石灰	刈谷沢日影線 (砂防 刈谷沢 (久保田川))	8.0 3.5	52	R02	I桁, Co舗装 主桁のみ 交通量小
	69	入山1号橋			橋台・橋脚洗堀	入山線 (野原沢)	11.8 3.0	55	R03	RC床版2径間, 橋台,橋脚洗堀 のみ。 H28に上部工 応急工事済 交通量小

○判定区分Ⅲ B+ [7 橋]

地区	橋梁番号	橋梁名	健全性の診断	優先度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023	点検 年次	備 考
坂井	32	横走線1号橋	Ⅲ	B+	PC主桁ひびわれ	横走線 (砂防 横走川)	11.4 3.6	39	R01	I桁, Co舗装 主桁のみ, 交通量極小
	33	横走線2号橋			PC主桁ひびわれ、遊離石灰	横走線 (砂防 横走川)	11.5 3.6	39	R01	I桁, Co舗装 主桁のみ, 交通量極小
坂北	33	赤松2号橋			PC主桁ひびわれ、遊離石灰	2級赤松線 (一級 麻績川)	29.0 3.0	48	R03	I桁, Co舗装 主桁のみ, 交通量極小

○判定区分Ⅲ B + [7 橋]

地区	橋梁番号	橋梁名	健全性の診断	優先度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023	点検 年次	備 考
坂北	54	深持橋	Ⅲ	B +	橋台護岸ひびわれ洗掘	深持線 (小滝沢)	4.9 2.0	59	R03	橋台護岸ひびわれ洗掘 交通量極小 林道
本城	16	川山 8 号橋			PC 主桁ひびわれ、遊離石灰	1 級川山線 (一級 別所川)	11.5 4.1	47	R03 繰越	1 桁, Co 舗装 主桁のみ 交通量小
	17	川山 9 号橋			下部工ひびわれ	1 級川山線 (一級 別所川)	12.5 4.3	45	R03 繰越	1 桁, Co 舗装 下部工のみ、 交通量小
	55	中島橋(本)			橋台洗掘	中島線 (砂防 大門川)	4.5 3.1	53	R03 繰越	橋台洗掘のみ 交通量極小

○判定区分Ⅲ B [2 橋]

地区	橋梁番号	橋梁名	健全性の診断	優先度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023	点検 年次	備 考
坂井	51	小僧畑線 1 号橋	Ⅲ	B	RC 主桁鉄筋露出	小僧畑線 (砂防 寺ノ沢川)	3.0 5.0	53	R03	RC 床版, Co 舗装 主桁のみ、 交通量極小
坂北	18	新六工橋			PCT 主桁・横桁 ひびわれ	1 級向原線 (一級 東条川)	28.4 8.5	50	R03	歩道設置工事に 伴い 2016 補修工 事実施済み→旧 橋部分の桁補修 が未実施のため Ⅲ判定のまま→ 伸縮装置は更新 済みで舗装も新 しいことから床 版防水も更新済 みの可能性あり。 交通量中

○判定区分Ⅲ B－ [6 橋]

地区	橋梁番号	橋梁名	健全性の診断	優先度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023	点検 年次	備 考
坂北	1	須田橋	Ⅲ	B－	横桁・橋台ひびわれ	須田橋線 (一級 麻績川)	30.0 4.5	50	R03	T 桁,As 舗装,横桁・橋台ひびわれ、橋面防水なしによる悪影響あり、交通量小
	36	南沢橋			橋台洗掘	南沢線 (一級 別所川)	13.0 1.8	44	R03	橋台洗掘のみ、岩なのでしばらくは大丈夫、鋼橋,主桁の塗装未だ大丈夫、交通量極小
	38	菖蒲沢 1 号橋			橋台洗掘	菖蒲沢線 (菖蒲沢)	7.0 3.5	51	R03	橋台洗掘のみ、河川規模小なのでしばらくは大丈夫、交通量極小 林道
	73	鬼熊徳橋			橋台洗掘	中里 4 号線 (一級 別所川)	16.5 2.5	43	R03	橋台洗掘のみ、しばらくは大丈夫、鋼橋,主桁の塗装未だ大丈夫、交通量極小
	77	六工橋			橋脚 (パイルベント) ひびわれ	向六工北線 (一級 東条川)	25.5 2.9	43	R02	パイルベント橋脚ひびわれ、交通量極小
	80	大側橋			橋台洗掘	大側線 (大側川)	5.6 3.5	46	R03	橋台洗掘のみ、岩で河川規模小なので未だ大丈夫、交通量極小

上記表のうち、A～B（+,－）は損傷度により優先順位が付けられている。これを路線の交通量や重要度を勘案し、補修工事を行う優先順番を下表のとおり上から並べる。

応急工事対応とすると、抜本的な対策とはならないものの、必要最小限での工事によりⅢ判定の箇所を補修することによりⅡ以下の区分とすることが可能であることから経済的に安価で済む。この考え方に従い、損傷状況が局所的のものについては応急工事が望ましいとして別表でまとめる。

※ 1級河川及び砂防指定地に架かっている橋のうち、橋台洗掘等、河床に対する工事が必要なものについては、河川協議が必要となることから補修工事対応としている。

補修工事優先順番表 補修設計必須橋（1／2）

順 番	地 区	橋 梁 番 号	橋梁名	健全 性の 診断	優先度				最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過年数 2023
					総 合	損 傷 度	交 通 量	代替路の有無				
1	坂北	57	日影2号橋	Ⅲ	B+	A-	C	有	PC 主桁ひびわれ、 遊離石灰	刈谷沢日影線 (砂防 刈谷沢 (久保田川))	8.0 3.5	52
2	坂北	33	赤松2号橋	Ⅲ	B+	B+	C-	無 (集落孤立の恐れ有)	PC 主桁ひびわれ、 遊離石灰	2級 赤松線 (一級 麻績川)	29.0 3.0	48
3	本城	16	川山8号橋	Ⅲ	B+	B+	C	有	PC 主桁ひびわれ、 遊離石灰	1級 川山線 (一級 別所川)	11.5 4.1	47
4	本城	17	川山9号橋	Ⅲ	B+	B+	C	有	下部工ひびわれ	1級 川山線 (一級 別所川)	12.5 4.3	45
5	本城	55	中島橋(本)	Ⅲ	B	B+	C-	有	橋台洗掘	中島線 (砂防 大門川)	4.5 3.1	53
6	坂井	32	横走線1号橋	Ⅲ	B	B+	C-	無	PC 主桁ひびわれ	横走線 (砂防 横走川)	11.4 3.6	39
7	坂井	33	横走線2号橋	Ⅲ	B	B+	C-	無	PC 主桁ひびわれ、 遊離石灰	横走線 (砂防 横走川)	11.5 3.6	39
8	坂北	18	新六工橋	Ⅲ	B	B	B	有	PCT 主桁・横桁ひびわれ	1級 向原線 (一級 東条川)	28.4 8.5	50
9	坂北	1	須田橋	Ⅲ	B-	B-	C	有	横桁・橋台ひびわれ	須田橋線 (一級 麻績川)	30.0 4.5	50
10	坂北	73	鬼熊徳橋	Ⅲ	B-	B-	C-	無	橋台洗掘	中里4号線 (一級 別所川)	16.5 2.5	43

補修工事優先順番表 補修設計必須橋（2 / 2）

順 番	地 区	橋 梁 番 号	橋梁名	健全 性の 診断	優先度				最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過年数 2023
					総合	損傷度	交通量	代替路の有無				
11	坂北	77	六工橋	Ⅲ	B-	B-	C-	有	橋脚（パイルベント）ひびわれ	向六工北線 (一級 東条川)	25.5 2.9	43
12	坂北	36	南沢橋	Ⅲ	B-	B-	C-	無	橋台洗掘	南沢線 (一級 別所川)	13.0 1.8	44

応急工事対応橋梁一覧表（優先順）

順 番	地 区	橋 梁 番 号	橋梁名	健全 性の 診断	優先度				最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過年数 2023
					総合	損傷度	交通量	代替路の有無				
1	坂北	80	大側橋	Ⅲ	B+	B-	C-	無 (集落孤立の恐れ有)	橋台洗掘	大側線 (大側川)	5.6 3.5	46
2	坂北	69	入山 1 号橋	Ⅲ	B+	A-	C	無	橋台・橋脚洗掘	入山線 (野原沢)	11.8 3.0	55
3	坂北	54	深持橋	Ⅲ	B	B+	C-	無	橋台護岸ひびわれ洗掘	深持線 (小滝沢)	4.9 2.0	59
4	坂井	51	小僧畑線 1 号橋	Ⅲ	B	B	C-	有	RC 主桁鉄筋露出	小僧畑線 (砂防 寺ノ沢川)	3.0 5.0	53
5	坂北	38	菖蒲沢 1 号橋	Ⅲ	B-	B-	C-	無	橋台洗掘	菖蒲沢線 (菖蒲沢)	7.0 3.5	51

1.4.2 長寿命化計画の基本方針

今回の計画では計画期間を 2033 年までと設定する。また、今後の点検結果を踏まえ、適宜計画を見直すものとする。

予防保全型管理手法は本来ならば劣化度Ⅱ程度において予防保全的に対策工を行うことで延命化を図るものであり、それに対して対処治療法は劣化度Ⅳとなった時点で架替を行うものである。しかしながら現実的に劣化度Ⅲの橋梁数が多いことから、当長寿命化計画においては劣化度Ⅲの橋梁に対して現時点で有効と考えられる補修工法とそれに対して架け替えをした場合の比較を行うものとし、補修工法と架替工法を比較してコスト縮減効果の優れた工法を採用するものとする。

橋梁の劣化速度については劣化過程の潜伏期から進展期を経て加速期、劣化期へ向けて急速に早くなることが予測されるが、劣化要因となる中性化、凍害、ASR、塩害等に対して、各橋梁のおかれている環境条件に応じて各々の劣化速度が存在するため、一概に劣化予測曲線を決めることは困難である。そのため、橋梁の劣化進行速度については架設年から現在の健全度を近似的に直線で予測するものとする。

補修工法と架替工法との経済比較検討において、実際は架け替え工法とした場合、健全度ⅢからⅣへの進行は急速に早くなるため、実際の架替時期は早まることが予測されるが、この劣化進行を曲線ではなく直線と仮定したとしても対象橋梁全ての橋梁において架替工法よりも補修工法が有利となる結果が得られている。従って、安全側を考慮しても今回の長寿命化計画においては、従来型の対処治療法よりも予防保全の観点から延命化を図る補修工法の方がライフサイクルコストの最小化を図るのに適していることが判明した。すなわち、1度設置された建造物はメンテナンスを行いながら、できるだけ長く使用の方が経済的に優れていることが判る。

また、当計画においては長寿命化を図ることを主眼としていることから、計上する費用はあくまでも補修までとし、補強および耐震対策については費用を計上しないものとする。

計算においては、架設年度から 100 年を橋梁維持期間と考え、計画年次を 2023 年として計画終了年次(架設年から 100 年後)までのライフサイクルコスト(LCC)を検討するものとする。

また、計画終了年次までの間に維持管理については、良好な健全度を保つことを前提とし、両工法とも現実的に必要と考えられる防水工や伸縮装置の取替等を行っていくものとする。

経済比較検討においては、現実的な補修サイクルおよび運用を考慮して、次頁に示す耐用年数および単価において LCC の算出を行うものとし、また、今後実施される点検費用及び社会的割引率は考慮しないものとする。

補修工法の初回対策の実施年次は前項の優先度を考慮して、各年度の補修費用の総額を勘案して実施するものとする。架け替え工法の初回対策実施年次については、2023 年時点の判定評価をⅢ（早期に対策を行う必要がある状態）とし、架設年から 2023 年までの劣化直線において判定評価がⅣ（緊急に対策を行う必要がある状態）になる年を架け替え年とする。

○長寿命化計画 各種工法耐用年数および概略単価表

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m ²
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m ²
5	塗装工	RC-1	30	20	m ²
6	塗装工	RC-3	30	5	m ²
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m
8	ひび割れ充填工	エポキシ樹脂充填	40	8	m
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m ²
10	含浸材塗布工	リチウム系	30	8	m ²
11	親柱表面補修工	表面打替え	50	10	m ²
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m ³
13	連続繊維シート補修工	炭素繊維	40	70	m ²
14	床版下面増厚工	吹付工	40	70	m ²
15	ボルト交換	F11T→F10T	50	150	100個
16	PB橋脚巻き立て工	コンクリート巻き立て	50	50	m ³
17	地覆補修工	コンクリート打替え	50	40	m
18	地覆補修工	軽量Co打替え	50	60	m
19	防護柵取替工	ガードレール	40	10	m
20	高欄取替工	GpR-C(リニューアル)	40	25	m
21	防護柵取替工	鋼製高欄	40	50	m
22	沓座モルタル補修工	無収縮モルタル	40	2,000	m ³
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所
24	排水工	新設工(SUS)	100	150	箇所
25	護床工	ブロック	50	40	m ²
26	護床工	カゴマット	40	13	m ²
27	底張工	コンクリート	50	20	m ³
28	根継工	現場打ち	50	40	m ³
29	コンクリート底張工	現場打ち	50	30	m ³
30	コンクリートはつり工	処理費含む		10	m ²
31	ボルト交換	F11T→F10T	50	100	100個
32	水替え工	大規模河川		6,000	式
33	水替え工	中規模河川		4,000	式
34	水替え工	小規模河川		2,000	式
35	水替え工	沢河川		1,000	式
36	足場工	吊足場		11	m ²
37	足場工	単管傾斜足場		4	掛m ²
38	支保工	パイプサポート		4	空m ³
39	環境対策費(小)	RC-1防護対策		1,800	式
40	環境対策費(中)	RC-1防護対策		3,000	式
41	護床工	袋詰護床工(3t)	40	30	袋
42	護岸工	コンクリート	50	20	m ³
101	PC7°レテンホー桁(L=5~14m)		50	200	m ²
102	PC7°レテンホー桁(L=15~22m)		50	220	m ²
103	PC中空床版橋(L=20~30m)		50	330	m ²
104	RC床板橋(L=4~6m)		50	130	m ²
105	PCホ°ス TENT桁(L=20~30m)		50	290	m ²
106	PC片持架設箱桁(L=80m)		50	390	m ²
108	BOX-C(B3.0×H1.5)	土工含む	50	350	m
109	BOX-C(B3.5×H2.0)	土工含む	50	400	m
110	BOX-C(B6.0×H3.0)	土工含む	50	700	m
111	橋台・橋脚		50	50	m ³
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m ²
113	L型擁壁工	H=3.0m	50	80	m
114	補強土擁壁	H=7.0m	50	300	m
117	既設橋梁取壊し工			30	m ³
201	直接工事費	合計		1.0	式
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式

1.5 橋梁長寿命化修繕計画

1.5.1 各橋梁の修繕計画

長寿命化基本方針に従い、各橋梁において現時点で有効と考えられる補修工法と、それに対して架け替えをした場合の比較検討を行った。架設年から 100 年間のライフサイクルコスト(LCC)の比較検討の結果、検討を実施した橋全てにおいて補修工法の方がライフサイクルコストにおいて有利となる結果が得られた。1 度設置された建造物はメンテナンスを行いながら、できるだけ長く使用の方が経済的に優れていることである。

補修工法に比べて架け替え工法は初期建設コストが大きく、架け替え工法の実施予想時期は概ね 2036～2040 の 5 年間に集中しており、5 年間で対象橋梁全ての架け替えを行う場合の費用が莫大なものになってしまう点等、比較に現れている数値以上にデメリットが大きい。

初回対策実施年における補修工法の費用を下表にまとめる。

初回対策実施年度一覧表（補修工法）（1 / 2）

順 番	地 区	橋 梁 番 号	橋 梁 名	健全 性の 診断	優 先 度	最 厳 劣 化 概 要	路 線 名 (河川名)	橋 長 幅 員 (m)	経 過 年 数 2023	概 算 費 用 (諸経費、 税込) (単位：千円)	対 策 実 施 (完了) 年次
1	坂北	57	日影 2 号橋	Ⅲ	B+	PC 主桁ひびわれ、遊離石灰	刈谷沢日影線 (砂防 刈谷沢 (久保田川))	8.0 3.5	52	9,000	2025
2	坂北	33	赤松 2 号橋	Ⅲ	B+	PC 主桁ひびわれ、遊離石灰	2 級 赤松線 (一級 麻績川)	29.0 3.0	48	26,000	2025
3	本城	16	川山 8 号橋	Ⅲ	B+	PC 主桁ひびわれ、遊離石灰	1 級 川山線 (一級 別所川)	11.5 4.1	47	11,000	2025
4	本城	17	川山 9 号橋	Ⅲ	B+	下部工ひびわれ	1 級 川山線 (一級 別所川)	12.5 4.3	41	12,000	2025
5	本城	55	中島橋(本)	Ⅲ	B	橋台洗掘	中島線 (砂防 大門川)	4.5 3.1	53	7,000	2025
6	坂井	32	横走線 1 号橋	Ⅲ	B	PC 主桁ひびわれ	横走線 (砂防 横走川)	11.4 3.6	39	13,000	2026
7	坂井	33	横走線 2 号橋	Ⅲ	B	PC 主桁ひびわれ、遊離石灰	横走線 (砂防 横走川)	11.5 3.6	39	12,000	2026
8	坂北	18	新六工橋	Ⅲ	B	PCT 主桁・横桁 ひびわれ	1 級 向原線 (一級 東条川)	28.4 8.5	50	28,000	2026

初回対策実施年度一覧表（補修工法）（2 / 2）

順 番	地 区	橋 梁 番 号	橋梁名	健全 性の 診断	優先 度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023	概算費用 (諸経費、 税込) (単位：千円)	対策 実施 (完了) 年次
9	坂 北	1	須田橋	Ⅲ	B-	横桁・橋台ひび われ	須田橋線 (一級 麻績川)	30.0 4.5	50	29,000	2027
10	坂 北	73	鬼熊徳橋	Ⅲ	B-	橋台洗掘	中里4号線 (一級 別所川)	16.5 2.5	43	7,000	2026
11	坂 北	77	六工橋	Ⅲ	B-	橋脚（パイルベ ント）ひびわれ	向六工北線 (一級 東条川)	25.5 2.9	43	31,000	2027
12	坂 北	36	南沢橋	Ⅲ	B-	橋台洗掘	南沢線 (一級 別所川)	13.0 1.8	44	6,000	2027

※ 「経過観察中：183橋」，「補修工事(計画)済み：5橋」，「補修計画中：7橋」および「応急工事対応
橋梁：5橋」については対象としていない。

※ 初回対策実施予定年次は、現時点での想定計画であり、各年の予算に応じて実施されることとなる
ため、実施される年は前後することがある。

※ 優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価
となる。

応急工事対応実施橋梁一覧表

順 番	地 区	橋 梁 番 号	橋梁名	健全 性の 診断	優先 度	最厳劣化概要	路線名 (河川名)	橋長 幅員 (m)	経過 年数 2023
1	坂 北	80	大側橋	Ⅲ	B+	橋台洗掘	大側線 (大側川)	5.6 3.5	46
2	坂 北	69	入山1号橋	Ⅲ	B+	橋台・橋脚洗掘	入山線 (野原沢)	11.8 3.0	55
3	坂 北	54	深持橋	Ⅲ	B	橋台護岸ひびわ れ洗掘	深持線 (小滝沢)	4.9 2.0	59
4	坂 井	51	小僧畑線1 号橋	Ⅲ	B	RC主桁鉄筋露出	小僧畑線 (砂防 寺ノ沢川)	3.0 5.0	53
5	坂 北	38	菖蒲沢1号橋	Ⅲ	B-	橋台洗掘	菖蒲沢線 (菖蒲沢)	7.0 3.5	51

※ 優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価
となる。

別紙より、各橋梁における比較表を添付する。この比較表における補修工法ライフサイクルコストが各橋梁における長寿命化計画となる。

地 区	坂北
橋梁番号	57
橋梁名称	日影2号橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B+
最厳劣化、必要対策概要	PC主桁ひびわれ、 遊離石灰
架設年次	1971
経過年数	52
橋長	8.0
幅員	3.5
径間数	1
路線名称	刈谷沢日影線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単径間単純PC床板橋
橋材	PC橋
下部工	重力式橋台
河川名	普通・砂防河川 刈谷沢(久保田川)

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性和
損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した
総合評価となる。

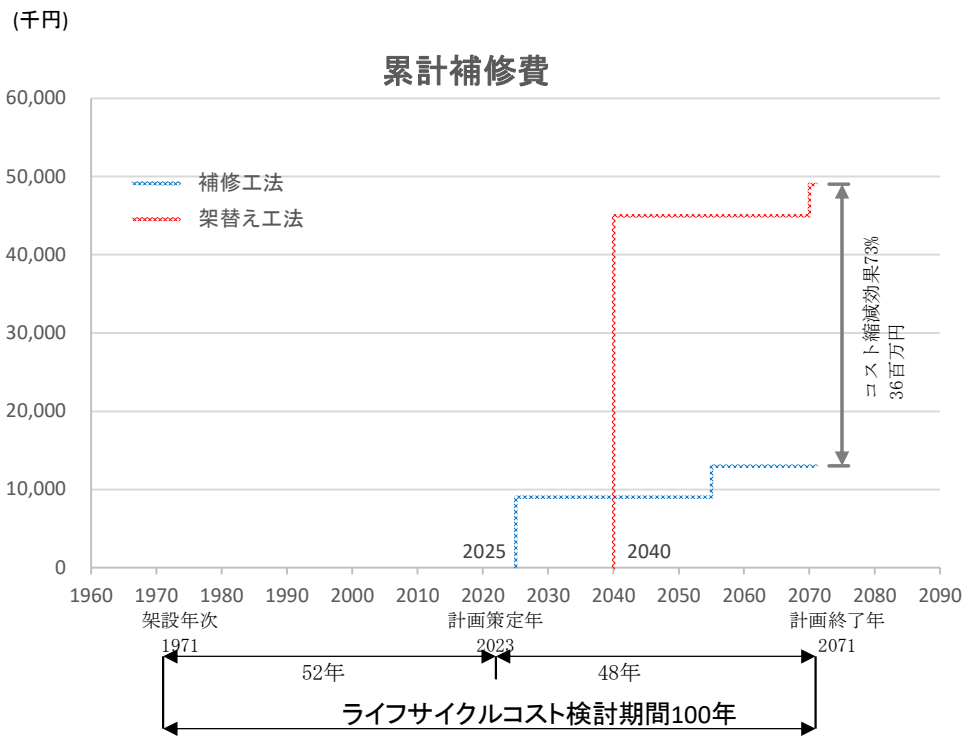
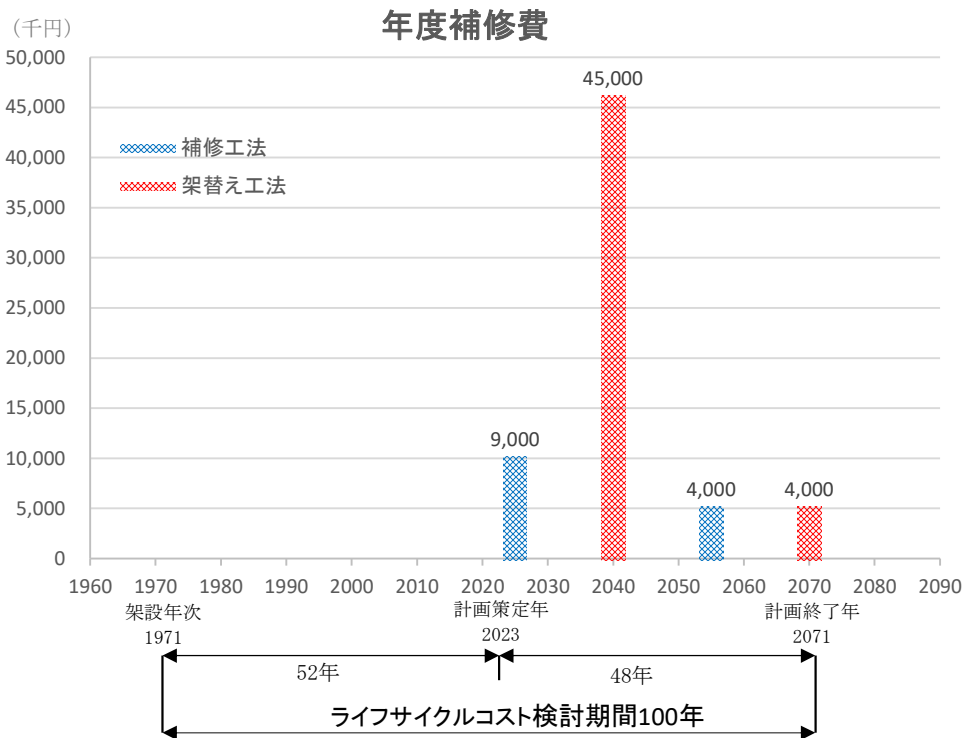
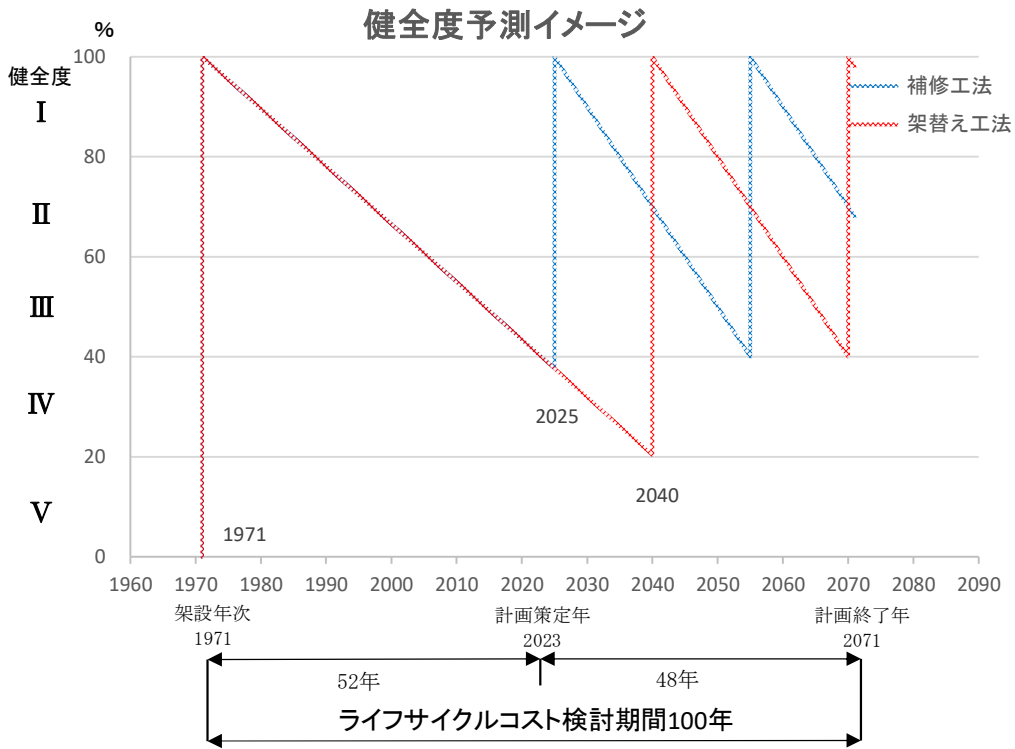
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2025	2055			2071
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	7	490	490			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	28	420	420			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	28	252	252			
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	73	730				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	51	357				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	4	200				
36	足場工	吊足場		11	m2	35	385				
201	直接工事費	合計		1	式	1	3,111	1,162			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	9,000	4,000			13,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023	2040	2070		2071
						数量	架替費	補修費		合 計
101	PCプレテンロー桁(L=5～14m)	A=8.0×4.3	50	200	m2	34	6,800			
111	橋台・橋脚	V=5×4.3×2×2	50	50	m3	86	4,300			
117	既設橋梁取壊し工	V=5×4.3×2×2		30	m3	86	2,580			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	7		490		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	28		420		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	28		252		
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	17,080	1,162		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	45,000	4,000		49,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 73% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂北
橋梁番号	33
橋梁名称	赤松2号橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B+
最厳劣化、必要対策概要	PC主桁ひびわれ、 遊離石灰
架設年次	1975
経過年数	48
橋長	29.0
幅員	3.0
径間数	2
路線名称	赤松線
道路種別	2級村道
上部工構造形式	2径間単純PC床板橋
橋材	PC橋
下部工	重力式橋台、壁式橋脚
河川名	一級河川 麻績川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と
損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した
総合評価となる。

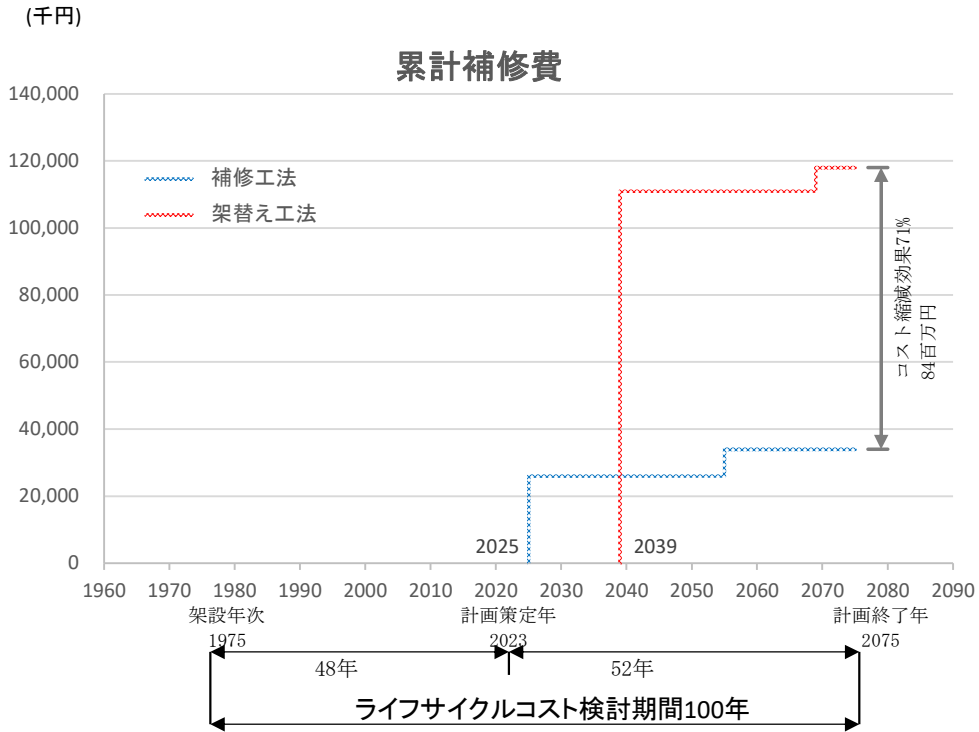
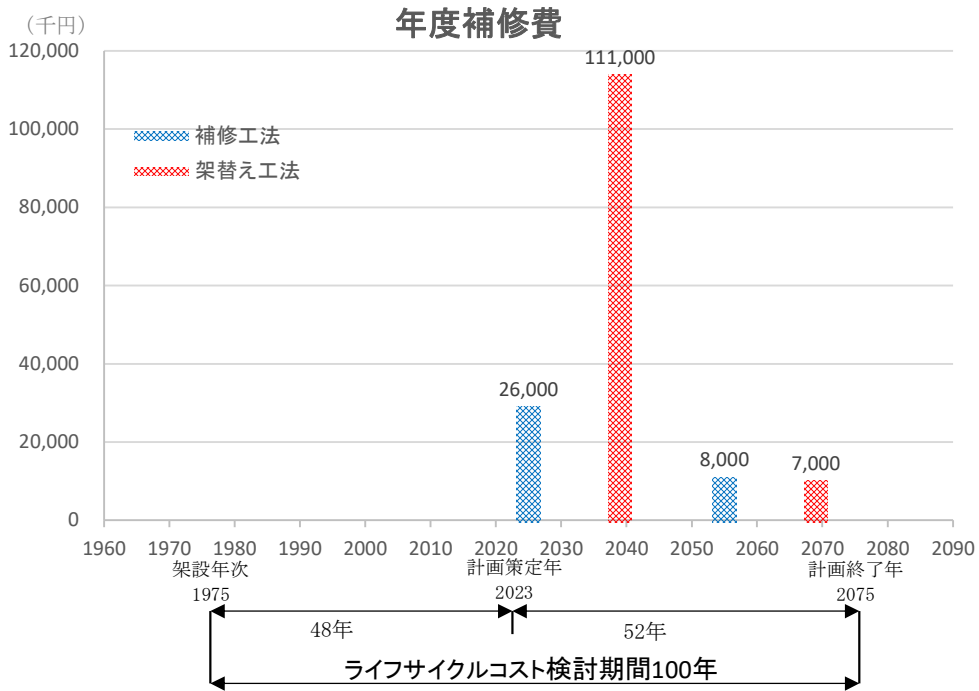
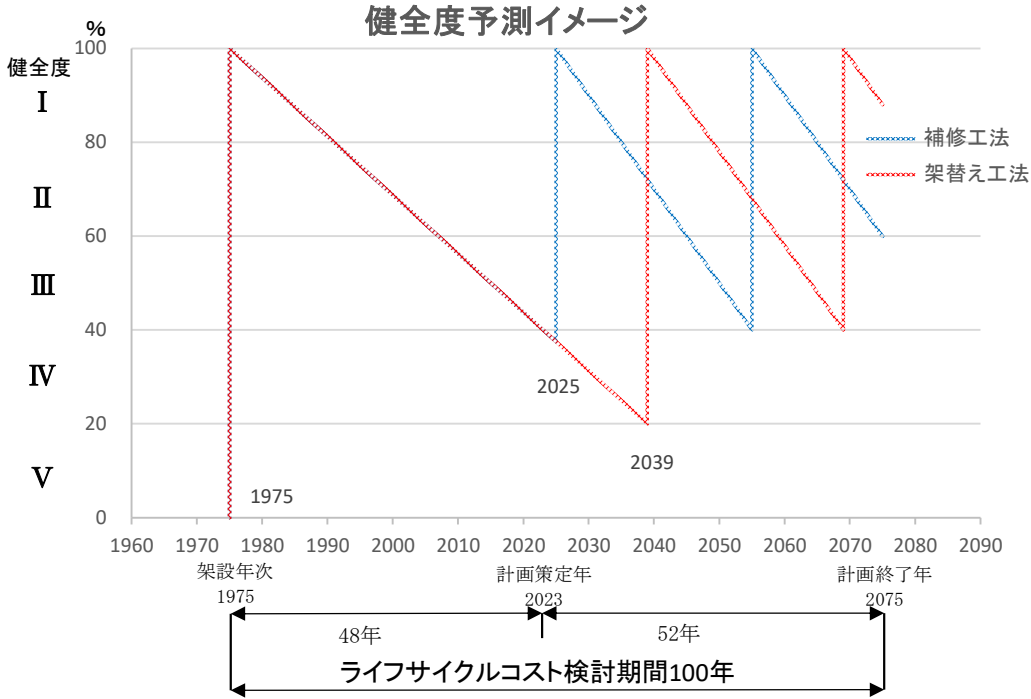
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細 目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2025	2055			2075
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	9	630	630			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	90	1,350	1,350			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	90	810	810			
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	26	260				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	230	1,610				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	8	400				
36	足場工	吊足場		11	m2	110	1,210				
41	護床工	袋詰護床工(3t)	40	30	袋	36	1,080				
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	9,627	2,790			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	26,000	8,000			34,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023	2039	2069		2075
						数量	架替費	補修費		合 計
105	PCボート桁(L=20～30m)	A=29.0×3.8	50	290	m2	111	32,190			
111	橋台・橋脚	V=5×3.8×2×2	50	50	m3	76	3,800			
117	既設橋梁取壊し工	V=5×3.8×2×2		30	m3	76	2,280			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	6		420		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	90		1,350		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	90		810		
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	42,670	2,580		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	111,000	7,000		118,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 71% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	本城
橋梁番号	16
橋梁名称	川山8号橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B+
最厳劣化、必要対策概要	PC主桁ひびわれ、遊離石灰
架設年次	1976
経過年数	47
橋長	11.5
幅員	4.1
径間数	1
路線名称	川山線
道路種別	1級村道
上部工構造形式	単径間単純PC床板橋
橋材	PC橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 別所川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

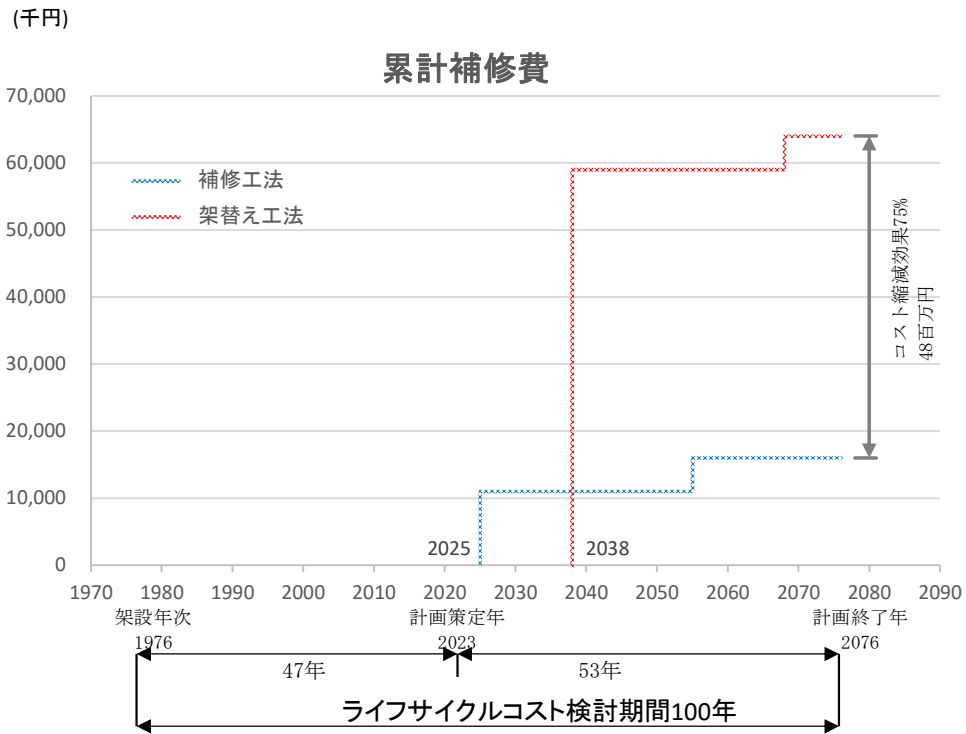
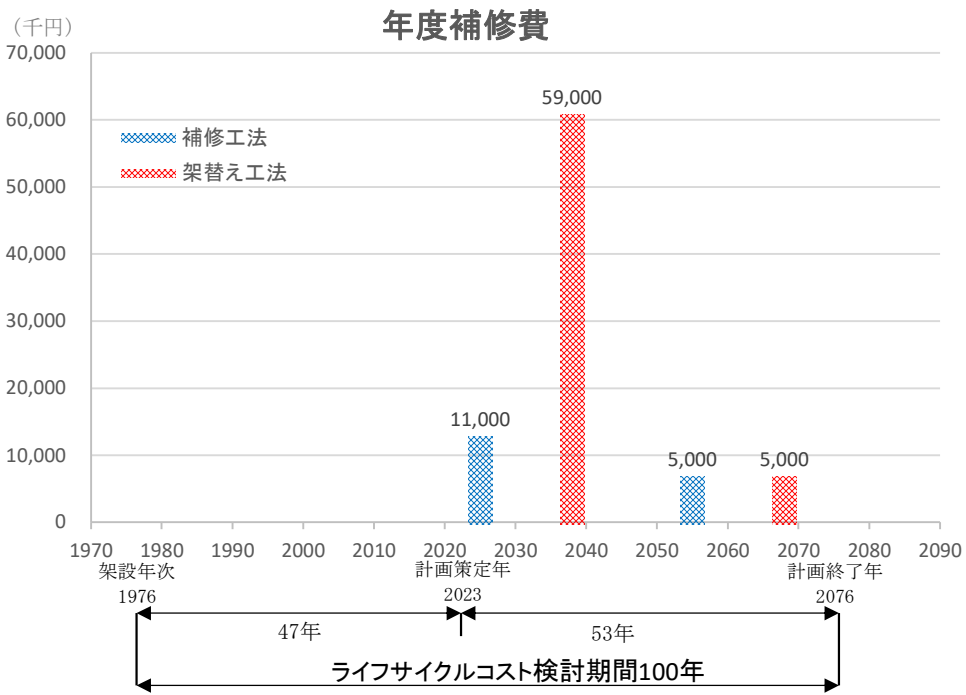
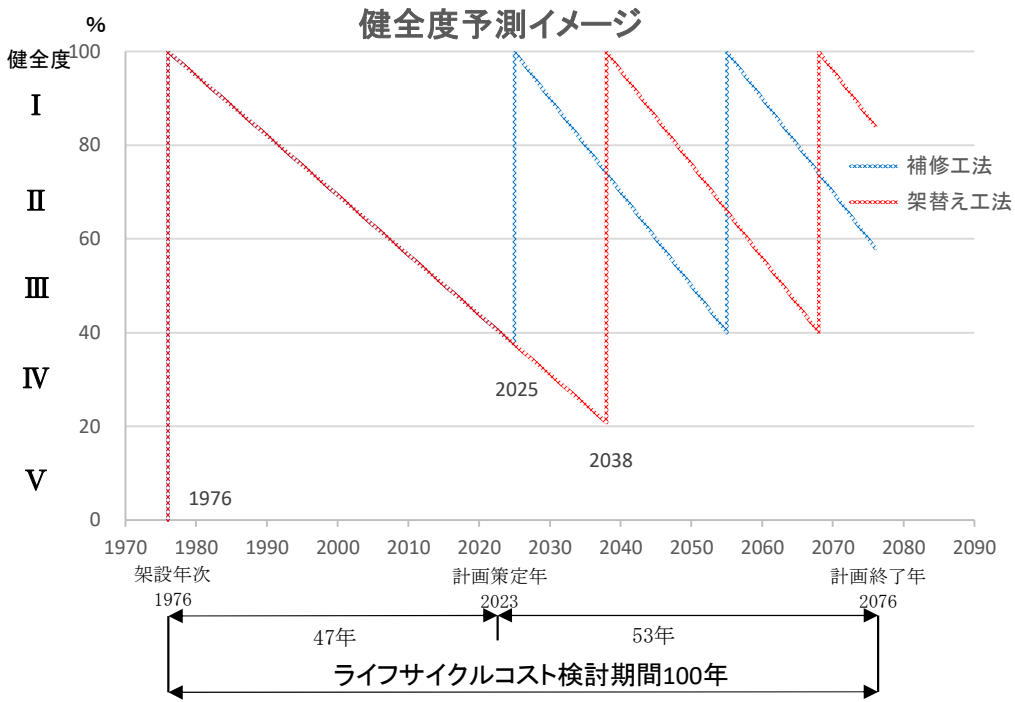
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2025	2055			2076
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	8.2	574	574			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	50	750	750			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	50	450	450			
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	26	260				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	141	987				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	4	200				
36	足場工	吊足場		11	m2	61	671				
201	直接工事費	合計		1	式	1	4,169	1,774			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	11,000	5,000			16,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度			計画終了年
						2023	2038	2068			2076
						数量	架替費	補修費			合 計
101	PCﾌﾟﾚﾂﾎｰﾈｰ桁(L=5～14m)	A=11.5×5.3	50	200	m2	61	12,200				
111	橋台・橋脚	V=4×5.3×2×2	50	50	m3	85	4,250				
117	既設橋梁取壊し工	V=4×5.3×2×2		30	m3	85	2,550				
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400				
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	8.2		574			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	50		750			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	50		450			
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	22,400	1,774			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	59,000	5,000			64,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 75% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	本城
橋梁番号	17
橋梁名称	川山9号橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B+
最厳劣化、必要対策概要	下部工ひびわれ
架設年次	1978
経過年数	45
橋長	12.5
幅員	4.3
径間数	1
路線名称	川山線
道路種別	1級村道
上部工構造形式	単径間単純PC床板橋
橋材	PC橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 別所川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

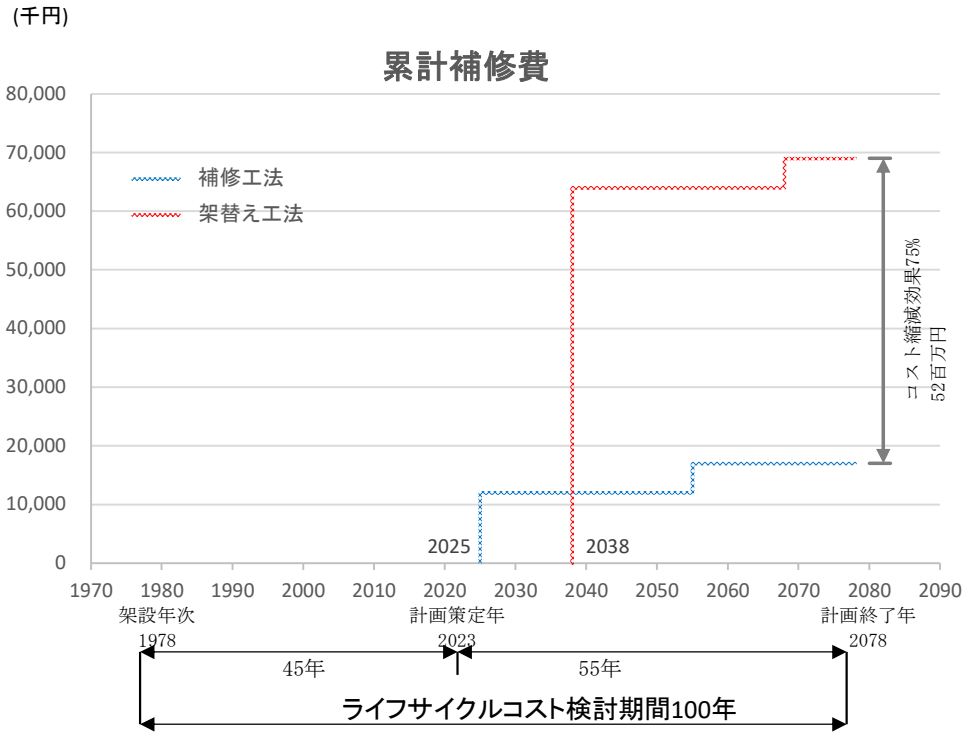
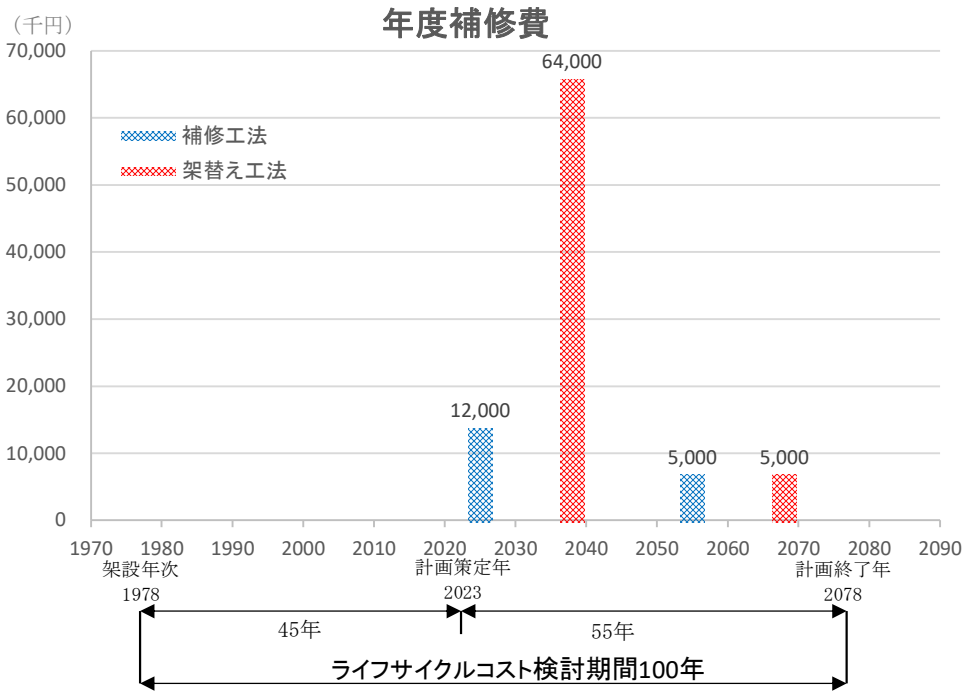
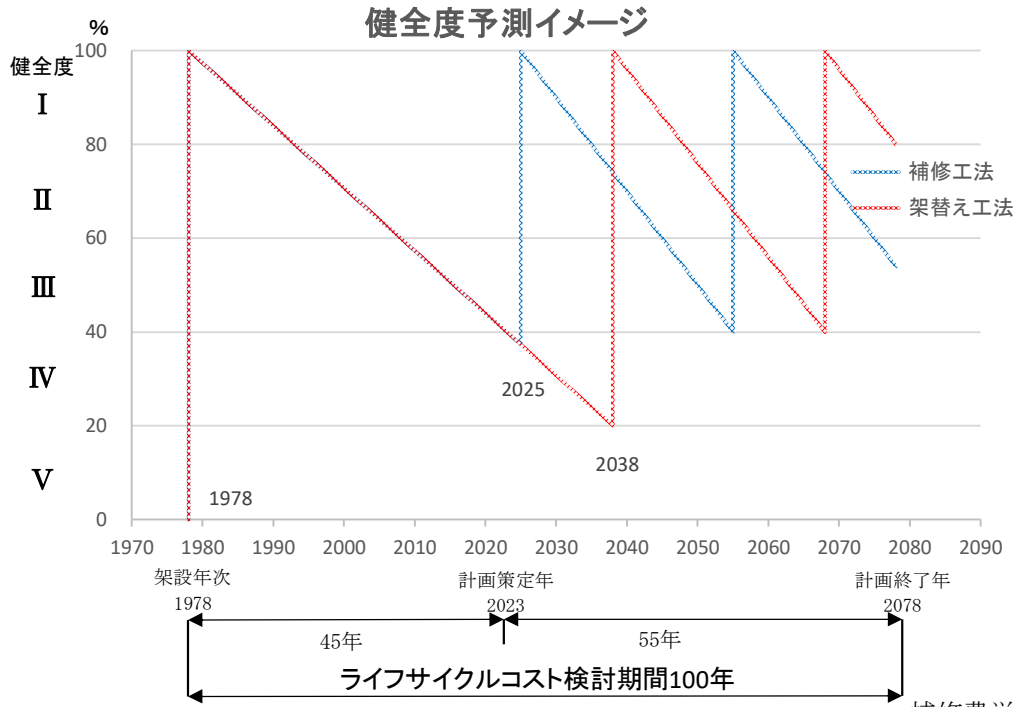
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2025	2055			2078
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	8.6	602	602			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	54	810	810			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	54	486	486			
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	20	200				
8	ひび割れ充填工	エポキシ樹脂充填	40	8	m	3	24				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	155	1,085				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	4	200				
36	足場工	吊足場		11	m2	69	759				
201	直接工事費	合計		1	式	1	4,443	1,898			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	12,000	5,000			17,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023	2038	2068		2078
						数量	架替費	補修費		合 計
101	PCﾌﾟﾚﾃﾝﾎｰﾚｰ桁(L=5～14m)	A=12.5×5.5	50	200	m2	69	13,800			
111	橋台・橋脚	V=4×5.5×2×2	50	50	m3	88	4,400			
117	既設橋梁取壊し工	V=4×5.5×2×2		30	m3	88	2,640			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	8.6		602		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	54		810		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	54		486		
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	24,240	1,898		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	64,000	5,000		69,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 75% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	本城
橋梁番号	55
橋梁名称	中島橋(本)
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度(A,+高～C-低)	B
最厳劣化、必要対策概要	橋台洗堀
架設年次	1970
経過年数	53
橋長	4.5
幅員	3.1
径間数	1
路線名称	中島線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単径間単純RC床板橋
橋材	RC橋
下部工	重力式橋台
河川名	普通・砂防河川 大門川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

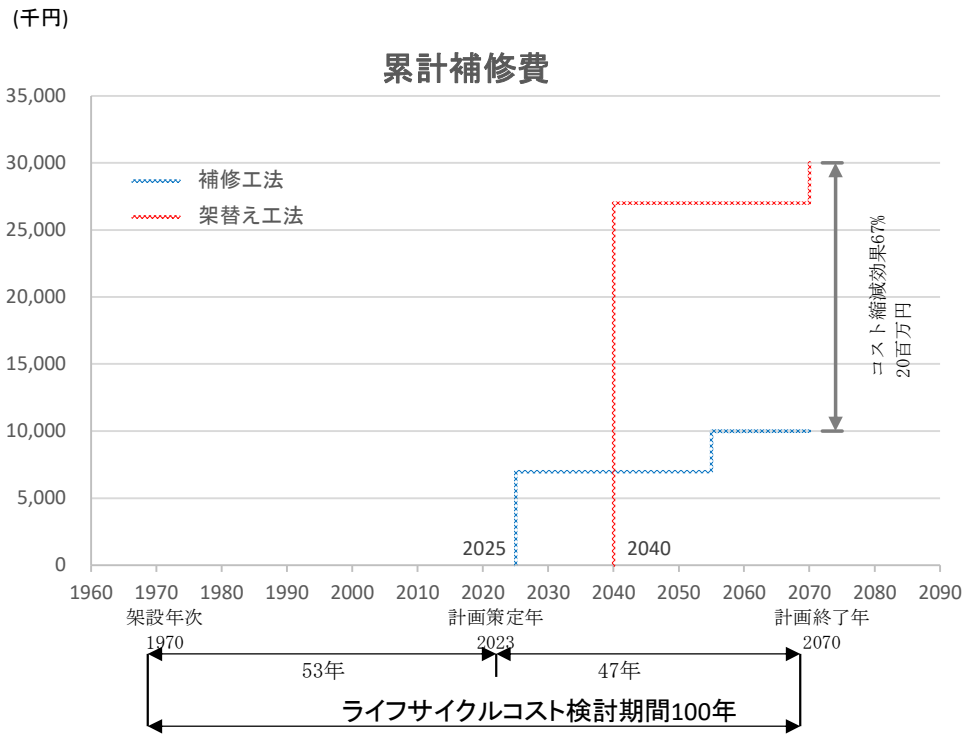
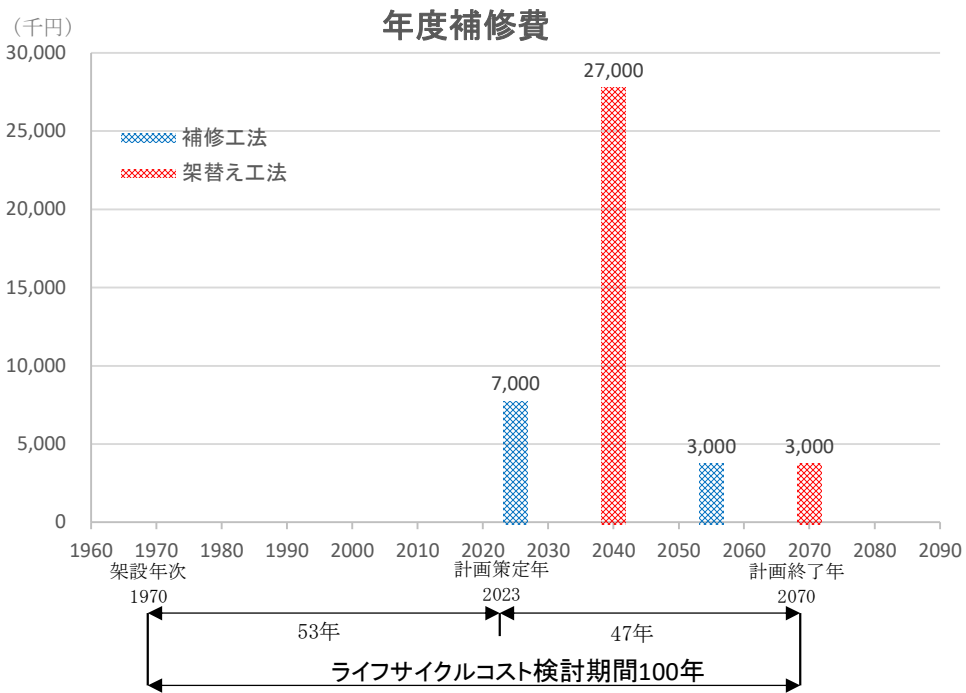
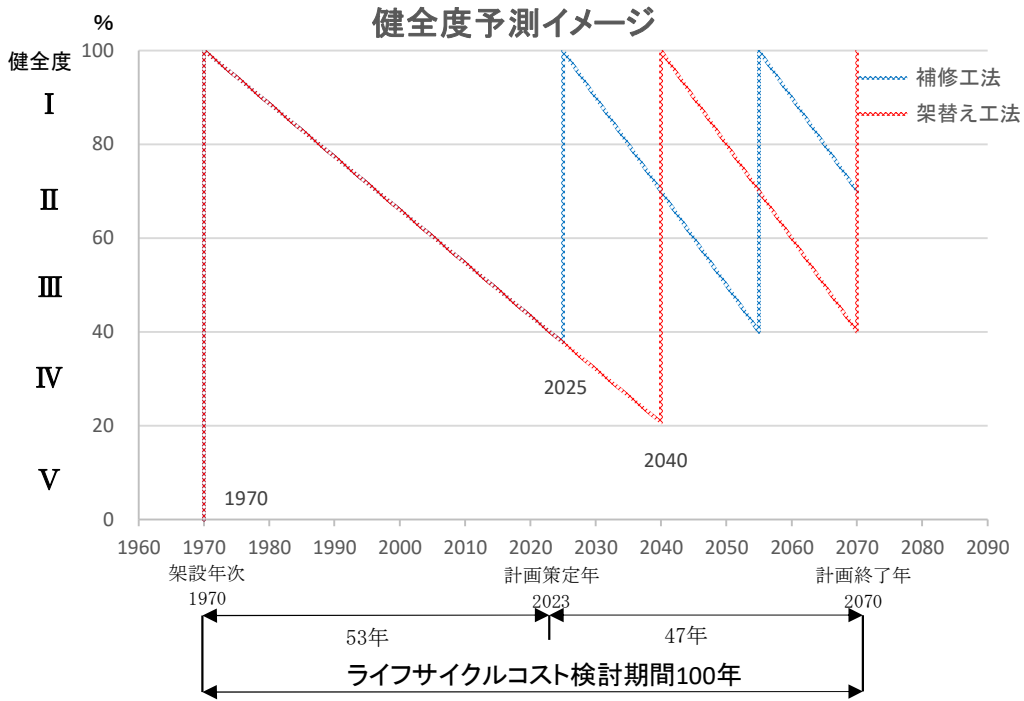
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2025	2055			2070
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	6.2	434	434			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	14	210	210			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	14	126	126			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	20	140				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	4	200				
37	足場工	単管傾斜足場		4	掛m2	14	56				
27	底張工	コンクリート	50	20	m3	3	60				
42	護岸工	コンクリート	50	20	m3	3	60				
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	2,563	770			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	7,000	3,000			10,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023	2040	2070		2070
						数量	架替費	補修費		合 計
104	RC床板橋(L=4～6m)	A=4.5×3.6	50	130	m2	16	2,080			
111	橋台・橋脚	V=4×3.6×2×2	50	50	m3	58	2,900			
117	既設橋梁取壊し工	V=4×3.6×2×2		30	m3	58	1,740			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	6.2		434		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	14		210		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	14		126		
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	10,120	770		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	27,000	3,000		30,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 67% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂井
橋梁番号	32
橋梁名称	横走線1号橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B
最厳劣化、必要対策概要	PC主桁ひびわれ
架設年次	1984
経過年数	39
橋長	11.4
幅員	3.6
径間数	1
路線名称	横走線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単径間単純PC床板橋
橋材	PC橋
下部工	河川護岸
河川名	普通・砂防河川 横走川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

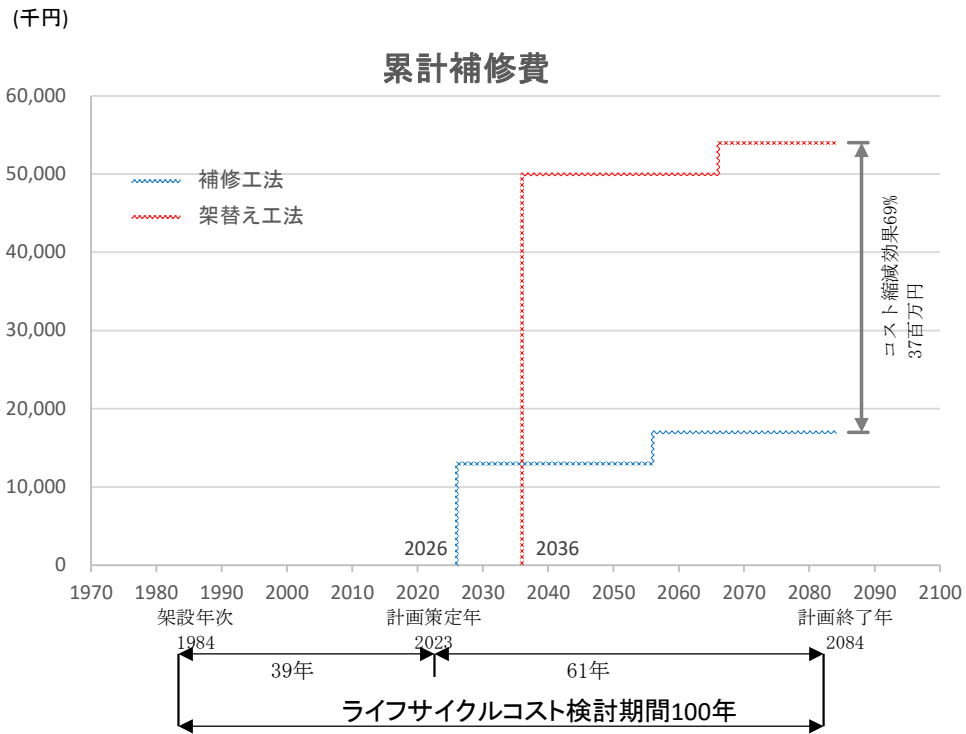
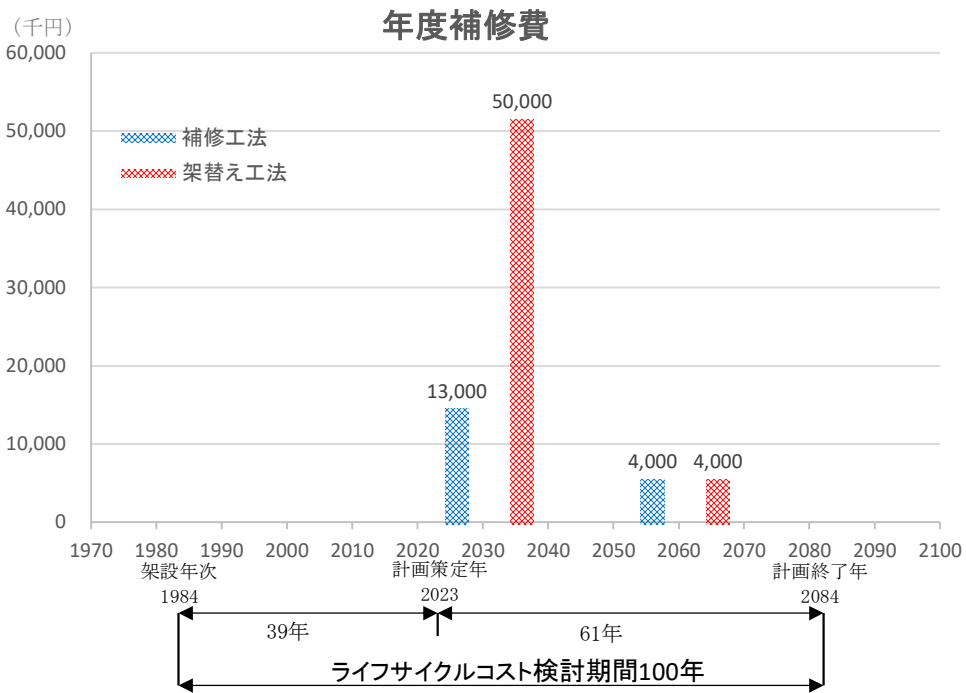
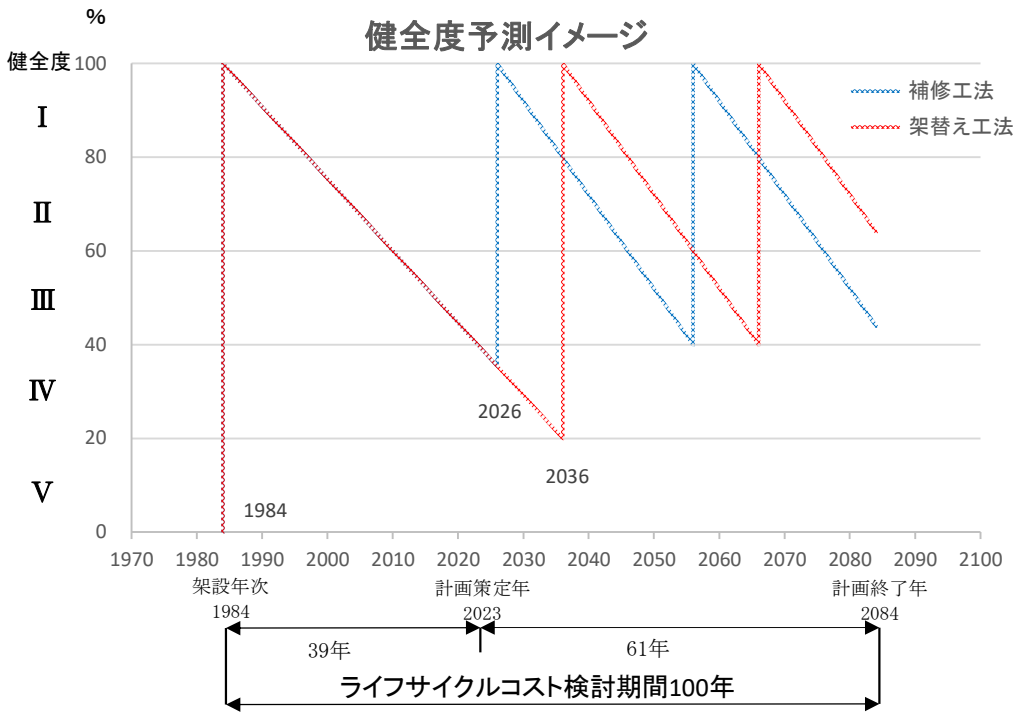
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2026	2056			2084
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	7.2	504	504			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	41	615	615			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	41	369	369			
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	82	820				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	101	707				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	4	200				
37	足場工	単管傾斜足場		4	掛m2	50	200				
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	4,692	1,488			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	13,000	4,000			17,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度			計画終了年
						2023	2036	2066			2084
						数量	架替費	補修費			合 計
101	PCﾌﾟﾚﾃﾝﾎｰﾚｰ桁(L=5～14m)	A=11.4×4.4	50	200	m2	50	10,000				
111	橋台・橋脚	V=4×4.4×2×2	50	50	m3	70	3,500				
117	既設橋梁取壊し工	V=4×4.4×2×2		30	m3	70	2,100				
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400				
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	7.2		504			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	41		615			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	41		369			
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	19,000	1,488			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	50,000	4,000			54,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 69% のコスト縮減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂井
橋梁番号	33
橋梁名称	横走線2号橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B
最厳劣化、必要対策概要	PC主桁ひびわれ、遊離石灰
架設年次	1984
経過年数	39
橋長	11.5
幅員	3.6
径間数	1
路線名称	横走線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単径間単純PC床板橋
橋材	PC橋
下部工	河川護岸
河川名	普通・砂防河川 横走川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

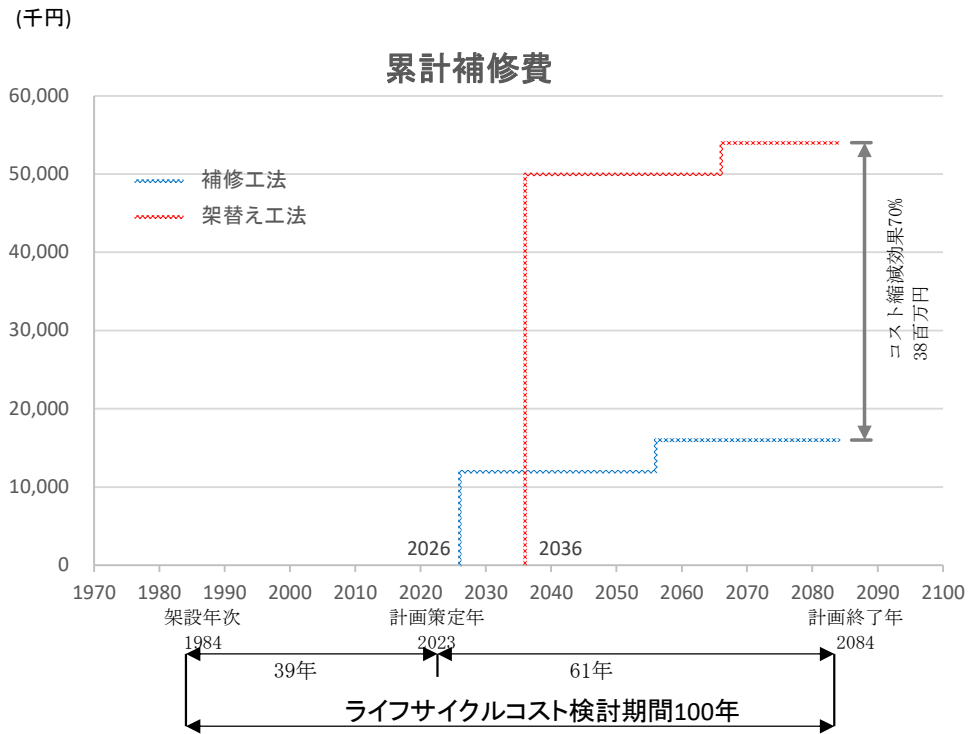
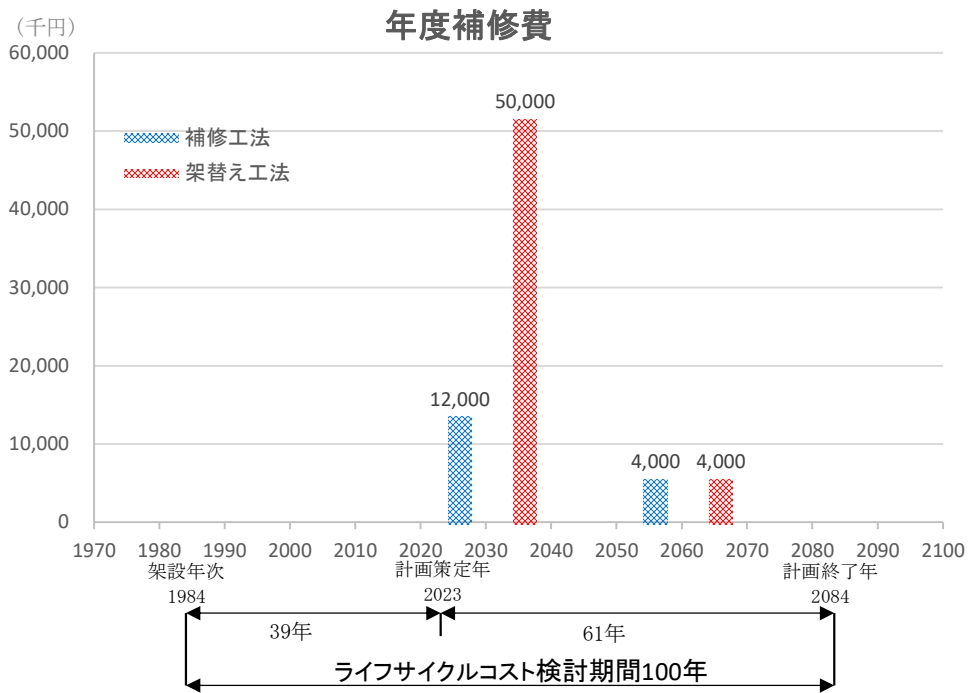
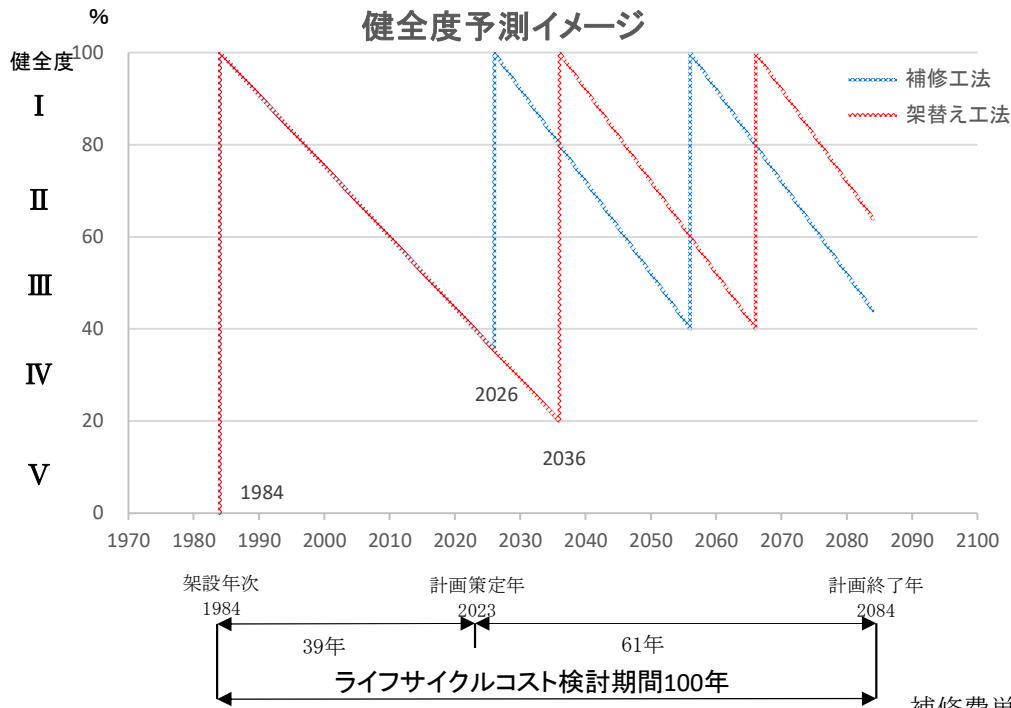
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2026	2056			2084
						数量	補修費	補修費			合 計
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	7.2	504	504			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	42	630	630			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	42	378	378			
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	113	1,130				
8	ひび割れ充填工	エポキシ樹脂充填	40	8	m	1	8				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	86	602				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
23	排水工	新設工(SS)	40	50	箇所	4	200				
36	足場工	吊足場		11	m2	51	561				
201	直接工事費	合計		1	式	1	4,290	1,512			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	12,000	4,000			16,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023	2036	2066		2084
						数量	架替費	補修費		合 計
101	PCﾌﾟﾚﾂﾝﾎｰﾚｰ桁(L=5～14m)	A=11.5×4.4	50	200	m2	51	10,200			
111	橋台・橋脚	V=4×4.4×2×2	50	50	m3	70	3,500			
117	既設橋梁取壊し工	V=4×4.4×2×2		30	m3	70	2,100			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	7.2		504		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	42		630		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	42		378		
35	水替え工	沢河川		1,000	式	1	1,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	19,200	1,512		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	50,000	4,000		54,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 70% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂北
橋梁番号	18
橋梁名称	新六工橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B
最厳劣化、必要対策概要	PCT主桁・横桁ひびわれ
架設年次	1973
経過年数	50
橋長	28.4
幅員	8.5
径間数	1
路線名称	向原線
道路種別	1級村道
上部工構造形式	1径間単純PCT桁+鋼橋
橋材	PC橋+鋼橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 東条川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

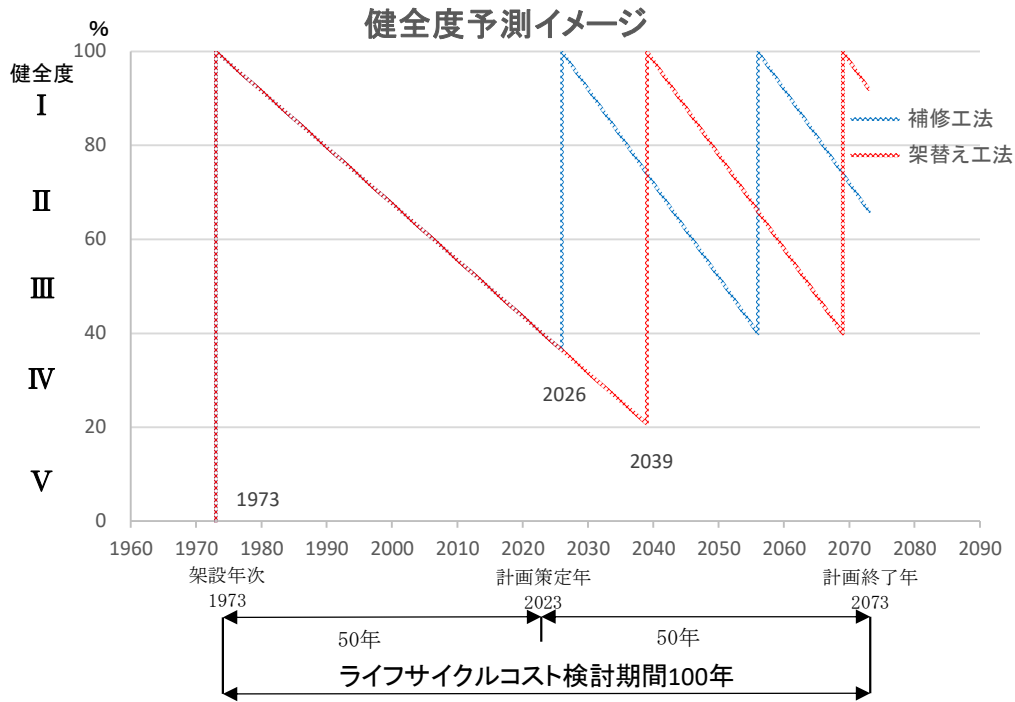
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2026	2056			2073
						数量	補修費	補修費			合 計
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	17		3,400			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	120	1,800				
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	241		3,615			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	120	1,080				
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	241		2,169			
7	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	40	400				
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	510	3,570				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
36	足場工	吊足場		11	m2	300	3,300				
201	直接工事費	合計		1	式	1	10,427	9,184			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	28,000	24,000			52,000

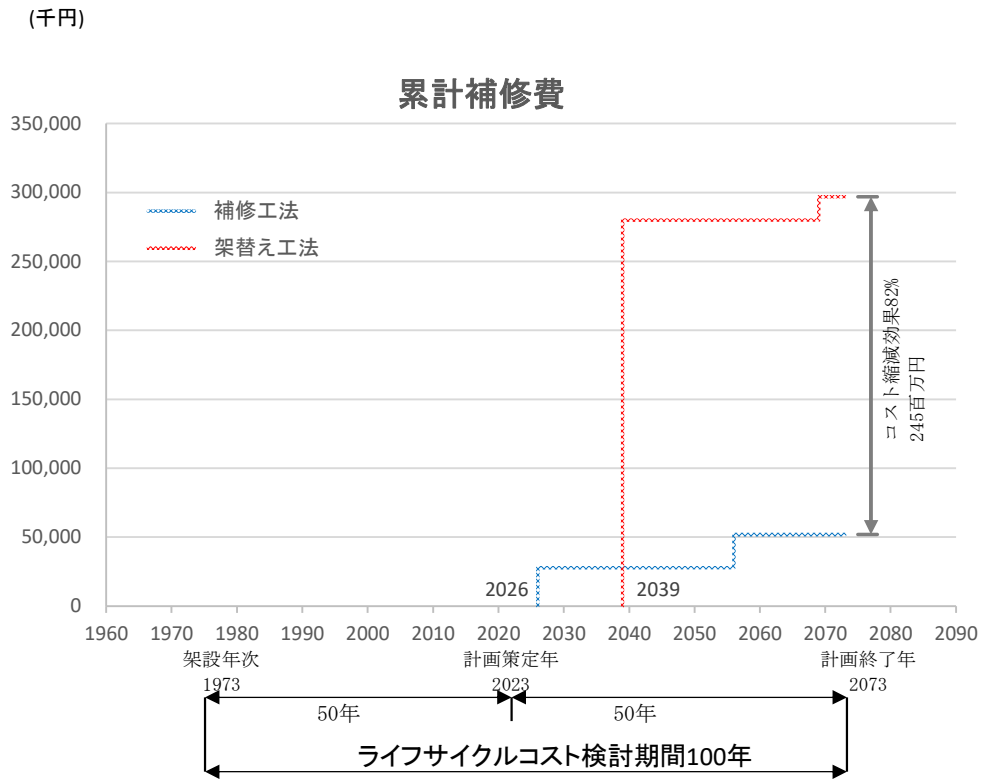
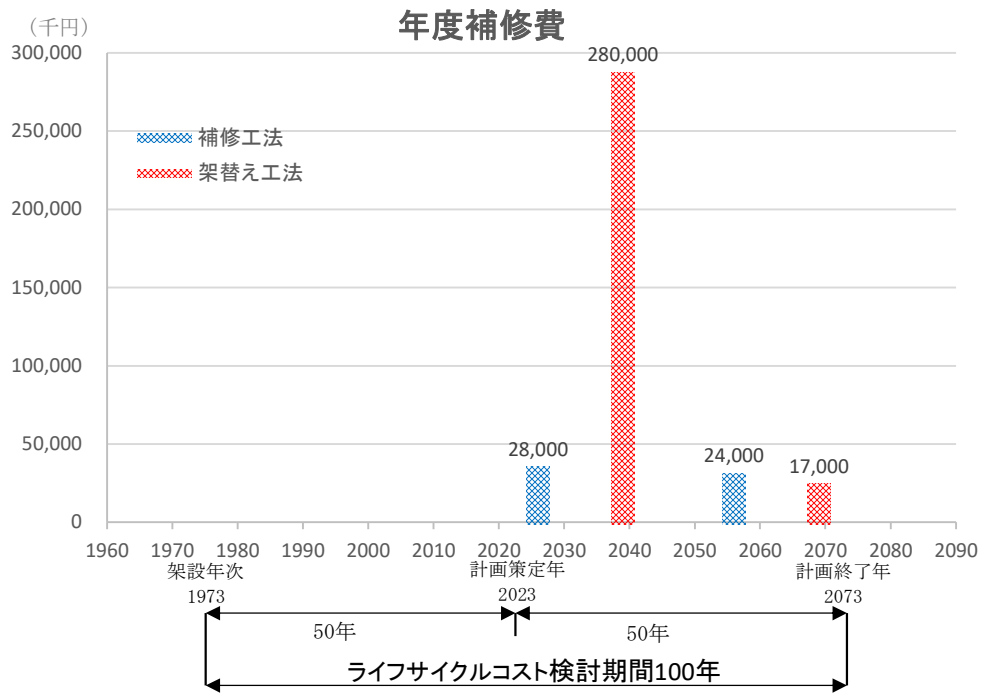
○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度			計画終了年
						2023	2039	2069			2073
						数量	架替費	補修費			合 計
105	PCボート桁(L=20～30m)	A=28.4×10.5	50	290	m2	298	86,420				
111	橋台・橋脚	V=5×10.5×2×2	50	50	m3	210	10,500				
117	既設橋梁取壊し工	V=5×10.5×2×2		30	m3	210	6,300				
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400				
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	17		3,400			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	120		1,800			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	120		1,080			
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	107,620	6,280			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	280,000	17,000			297,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 82% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



補修費単位：千円



地 区	坂北
橋梁番号	1
橋梁名称	須田橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B-
最厳劣化、必要対策概要	横桁・橋台ひび割れ
架設年次	1973
経過年数	50
橋長	30.0
幅員	4.5
径間数	1
路線名称	須田橋線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単径間単純PCT桁橋
橋材	PC橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 麻績川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

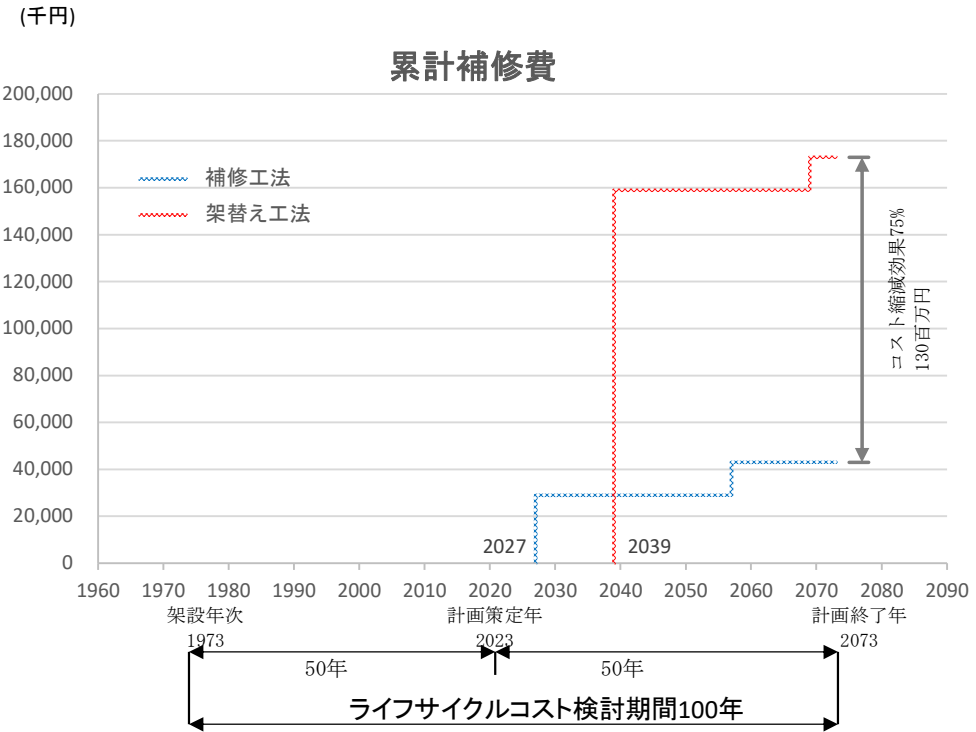
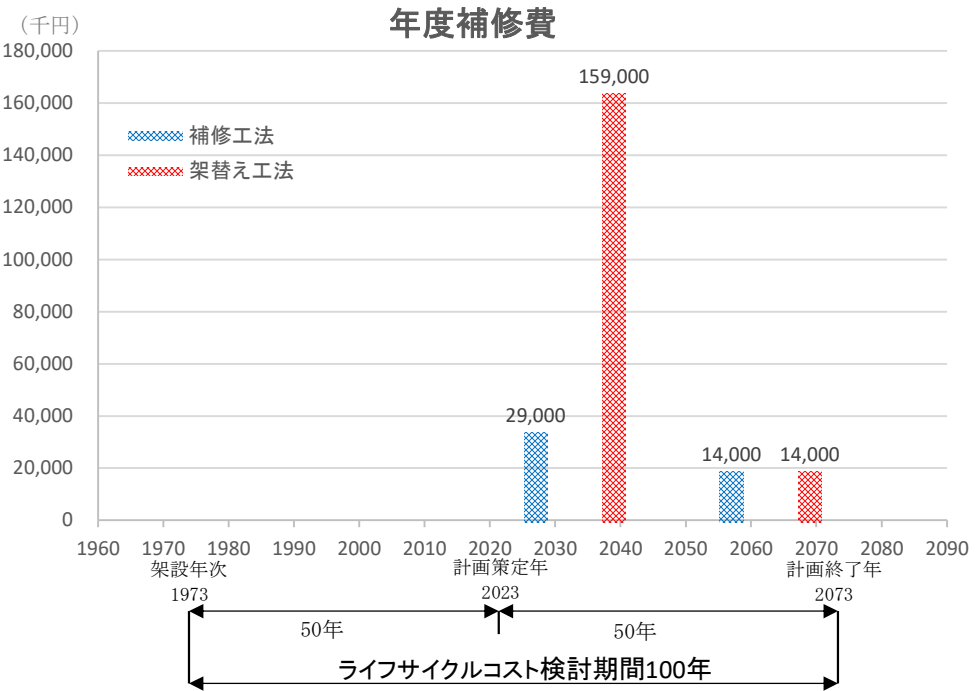
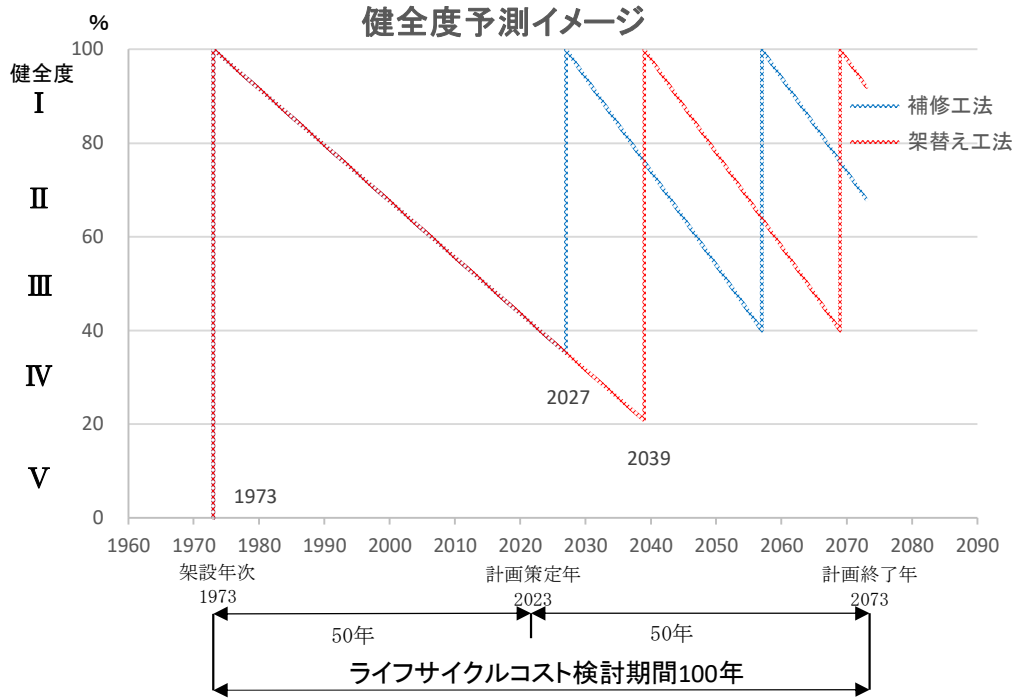
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	補修費単位：千円				
						計画策定年	補修年度			
						2023 数量	2027 補修費	2057 補修費		2073 合 計
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	9	1,800	1,800		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	135	2,025	2,025		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	135	1,215	1,215		
7	ひび割れ注工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	47	470			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	454	3,178			
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277			
36	足場工	吊足場		11	m2	165	1,815			
						1				
201	直接工事費	合計		1	式	1	10,780	5,040		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	29,000	14,000		43,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	補修費単位：千円				
						計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023 数量	2039 架替費	2069 補修費		2073 合 計
105	PCボート桁(L=20～30m)	A=30.0×5.5	50	290	m2	165	47,850			
111	橋台・橋脚	V=5×5.5×2×2	50	50	m3	110	5,500			
117	既設橋梁取壊し工	V=5×5.5×2×2		30	m3	110	3,300			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	9		1,800		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	135		2,025		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	135		1,215		
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	61,050	5,040		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	159,000	14,000		173,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 75% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂北
橋梁番号	73
橋梁名称	鬼熊徳橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B-
最厳劣化、必要対策概要	橋台洗堀
架設年次	1980
経過年数	43
橋長	16.5
幅員	2.5
径間数	1
路線名称	中里4号線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単純鋼鈑桁橋
橋材	鋼橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 別所川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

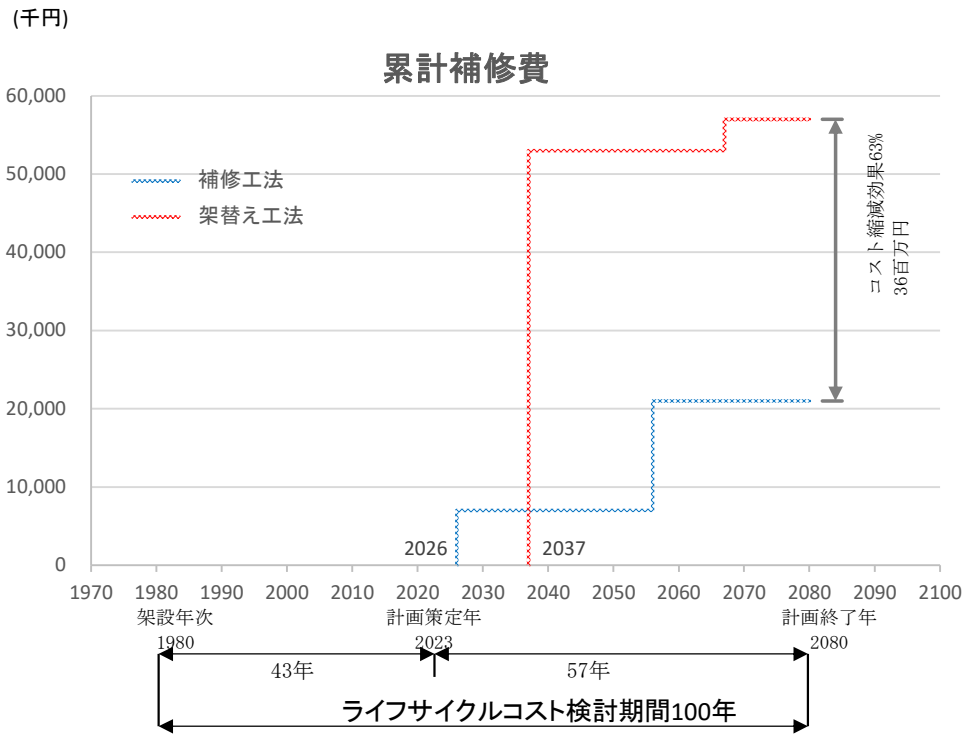
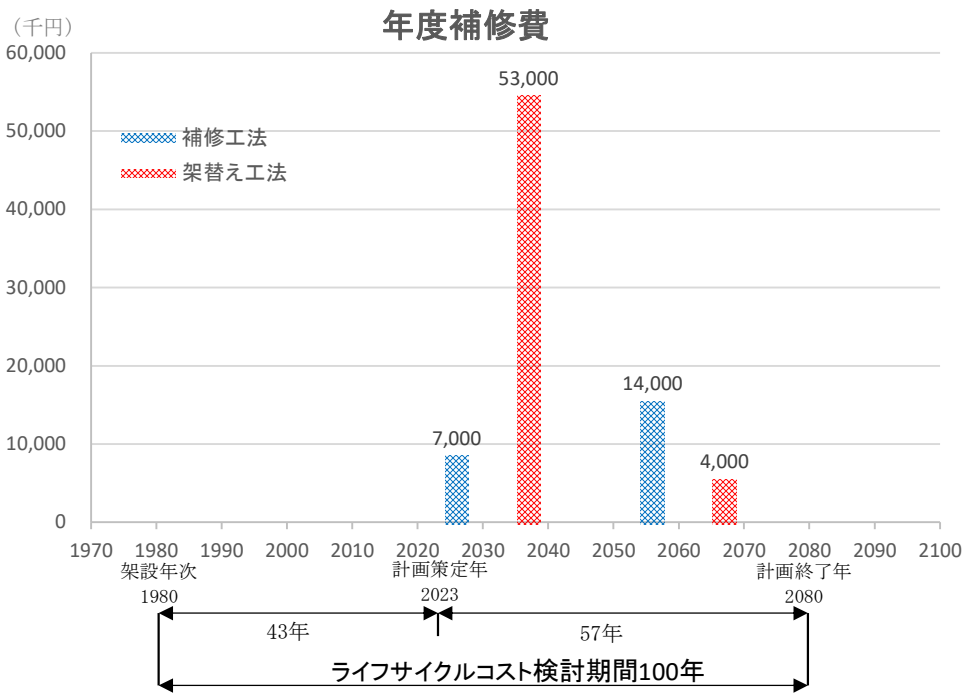
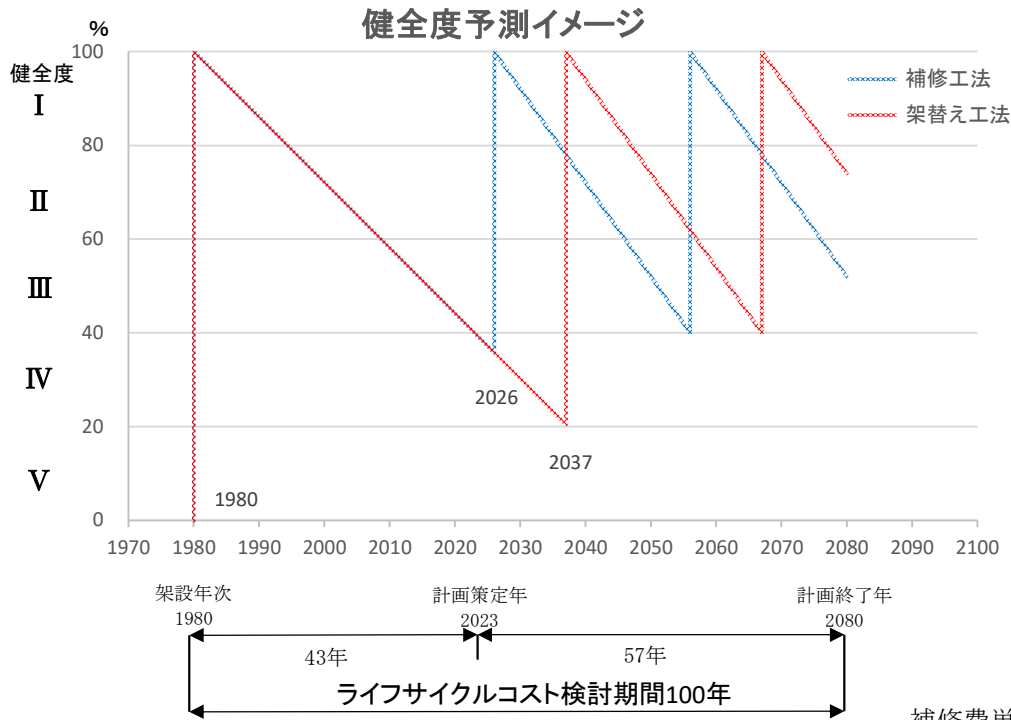
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2026	2056			2080
						数量	補修費	補修費			合 計
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	5	1,000	1,000			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	30	210	210			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	53		371			
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
41	護床工	袋詰護床工(3t)	40	30	袋	36	1,080				
36	足場工	吊足場		11	m2	53		583			
5	塗装工	RC-1	30	20	m2	71		1,420			
39	環境対策費(小)	RC-1防護対策		1,800	式	1		1,800			
						1					
201	直接工事費	合計		1	式	1	2,567	5,384			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	7,000	14,000			21,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度			計画終了年
						2023	2037	2067			2080
						数量	架替費	補修費			合 計
102	PCﾌﾟﾚﾝｽﾎｰﾅｰ桁(L=15～22m)	A=16.5×3.2	50	220	m2	53	11,660				
111	橋台・橋脚	V=4×3.2×2×2	50	50	m3	51	2,550				
117	既設橋梁取壊し工	V=4×3.2×2×2		30	m3	51	1,530				
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400				
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	5		350			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	42		630			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	42		378			
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	20,140	1,358			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	53,000	4,000			57,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 63% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂北
橋梁番号	77
橋梁名称	六工橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B-
最厳劣化、必要対策概要	橋脚(パイルベント)ひびわれ
架設年次	1980
経過年数	43
橋長	25.5
幅員	2.9
径間数	4
路線名称	向六工北線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	4径間単純鋼H桁橋
橋材	鋼橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 東条川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

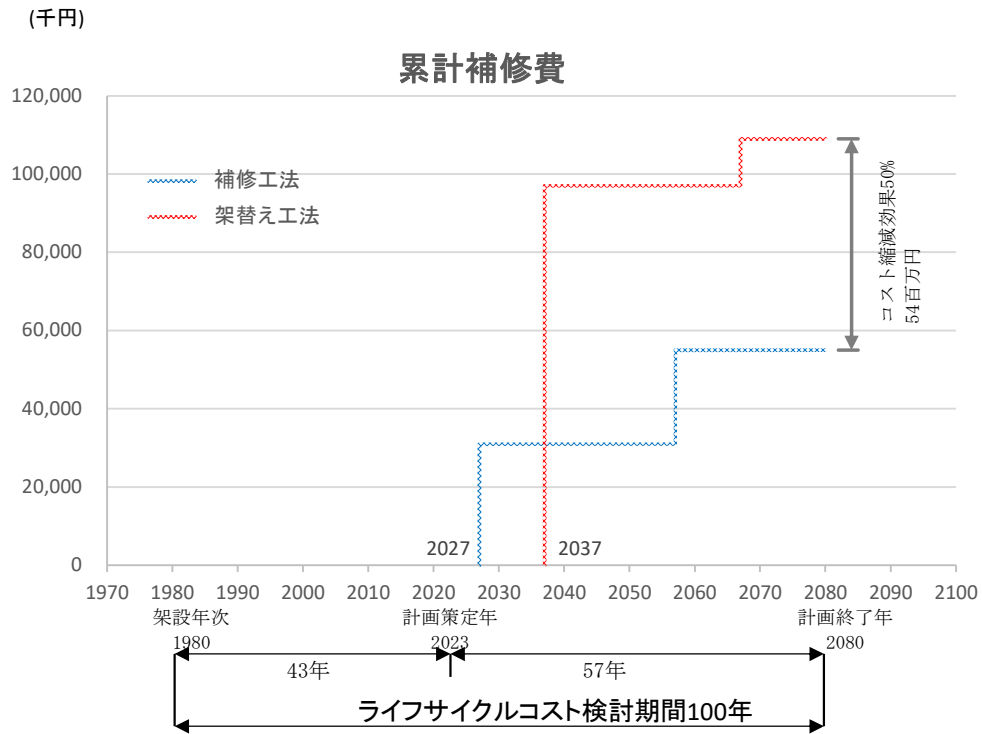
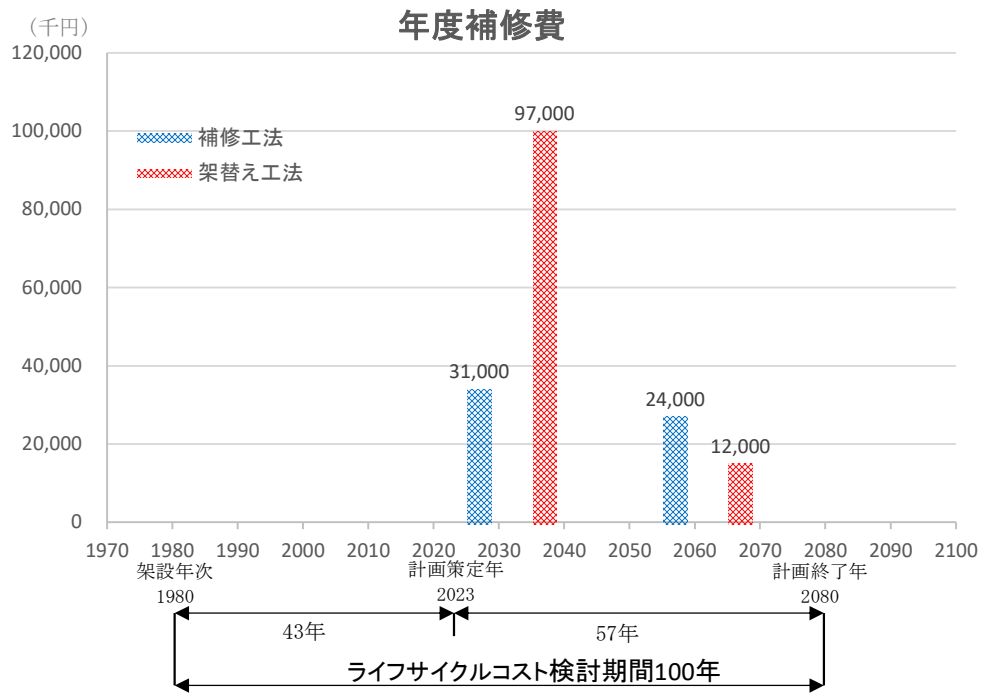
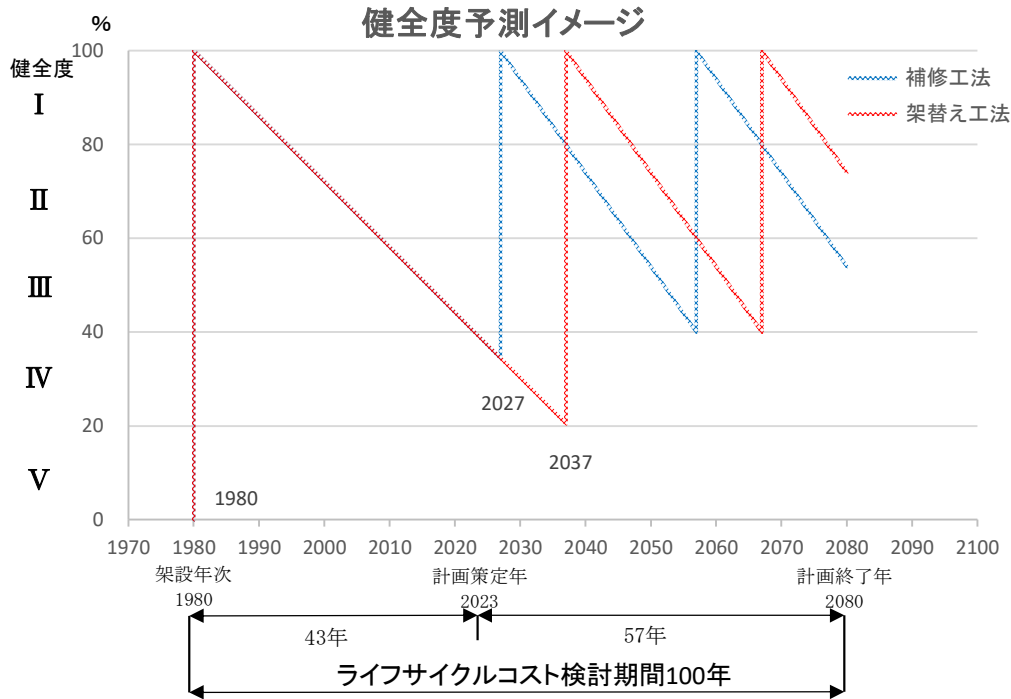
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細 目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2027	2057			2080
						数量	補修費	補修費			合 計
6	塗装工	RC-3	30	5	m2	52	260	260			
5	塗装工	RC-1	30	20	m2	162	3,240	3,240			
5	塗装工	RC-1	30	20	m2	94	1,880	1,880			
5	塗装工	RC-1	30	20	m2	133	2,660	2,660			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	55	385				
7	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂注入	40	10	m	5	50				
8	ひび割れ充填工	エポキシ樹脂充填	40	8	m	2	16				
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1	277				
16	PB橋脚巻き立て工	コンクリート巻き立て	50	50	m3	5	250				
36	足場工	吊足場		11	m2	81	891	891			
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000				
						1					
201	直接工事費	合計		1	式	1	11,909	8,931			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	31,000	24,000			55,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度			計画終了年
						2023	2037	2067			2080
						数量	架替費	補修費			合 計
105	PCボート桁(L=20～30m)	A=25.5×3.7	50	290	m2	94	27,260				
111	橋台・橋脚	V=5×3.7×2×2	50	50	m3	74	3,700				
117	既設橋梁取壊し工	V=5×2.9×2×2		30	m3	58	1,740				
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400				
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	6		1,200			
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	162		2,430			
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	94		846			
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000				
201	直接工事費	合計		1	式	1	37,100	4,476			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	97,000	12,000			109,000

当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 50% のコスト削減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



地 区	坂北
橋梁番号	36
橋梁名称	南沢橋
道路橋毎の健全性の診断	Ⅲ
優先度 (A, +高～C-低)	B-
最厳劣化、必要対策概要	橋台洗堀
架設年次	1979
経過年数	44
橋長	13.0
幅員	1.8
径間数	1
路線名称	南沢線
道路種別	その他村道
上部工構造形式	単純鋼鈑桁橋
橋材	鋼橋
下部工	重力式橋台
河川名	一級河川 別所川

※優先度は橋梁の損傷度、損傷部位の重要性と損傷規模、路線の交通量や重要度を勘案した総合評価となる。

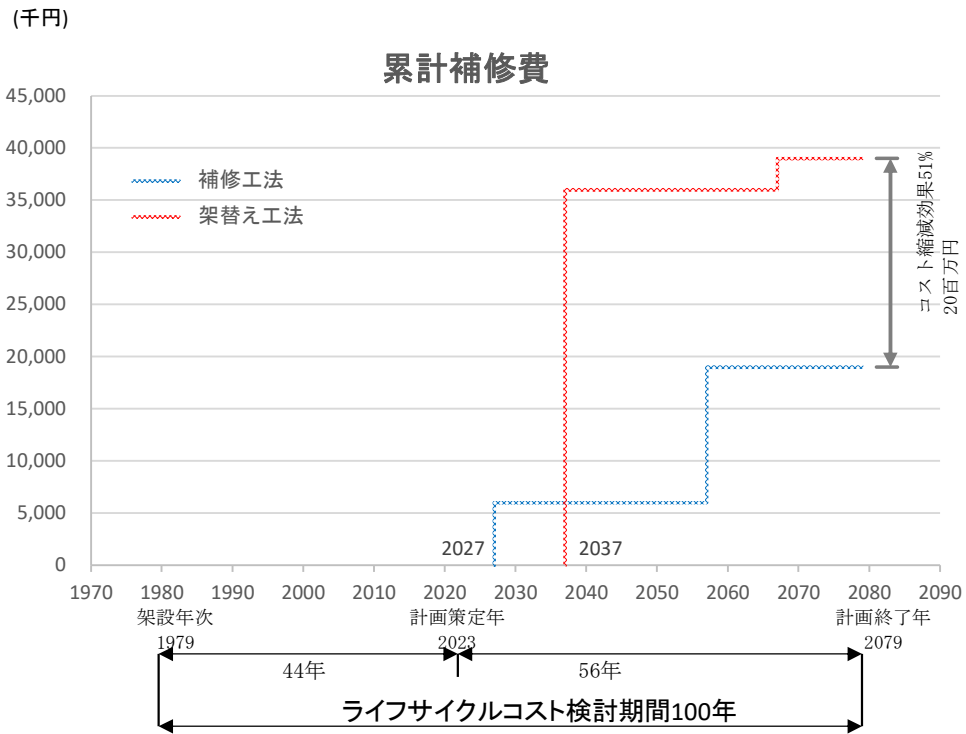
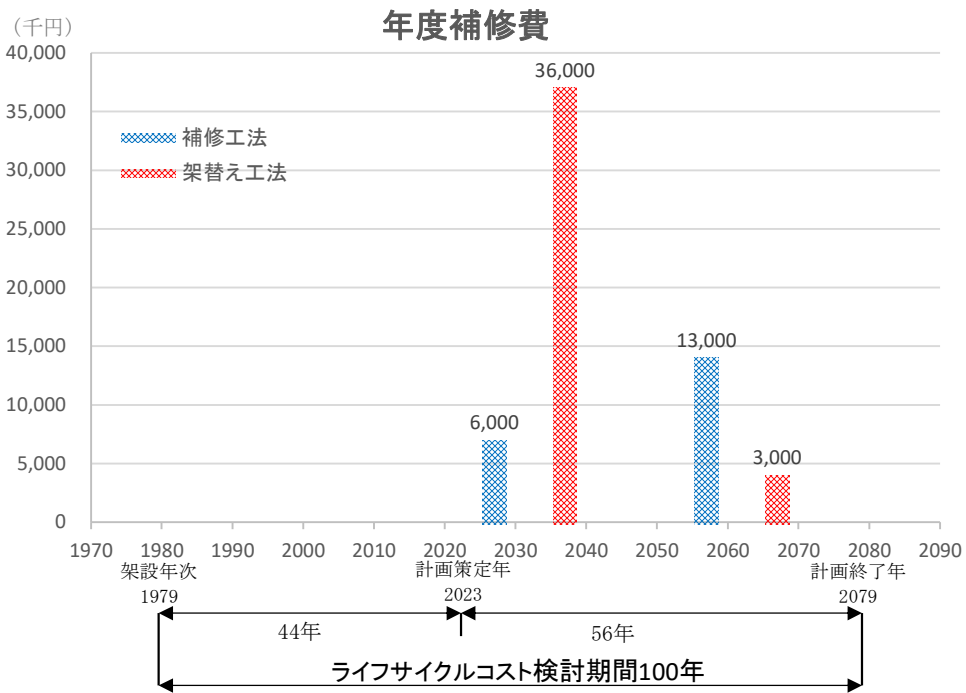
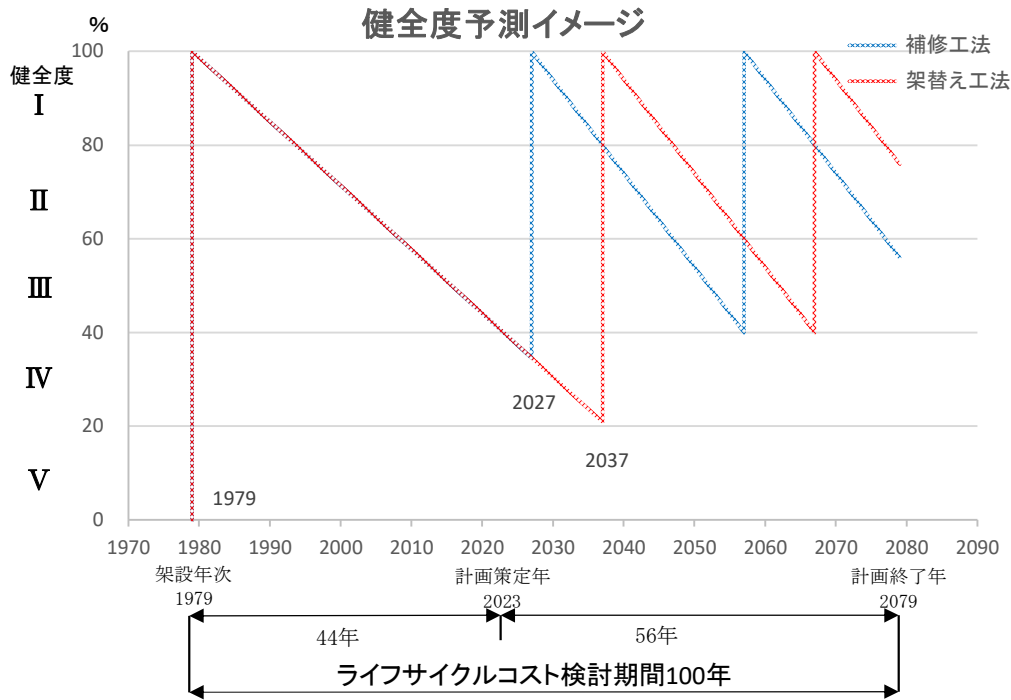
○補修工法ライフサイクルコスト

	補修項目	細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	補修年度				計画終了年
						2023	2027	2057			2079
						数量	補修費	補修費			合 計
1	伸縮装置取替工	撤去・新設	40	200	m	3.6	720	720			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	20	140	140			
9	含浸材塗布工	ケイ酸塩系	30	7	m2	36		252			
19	防護柵取替工	ガードレール	40	10	m	26		260			
12	断面修復工	ポリマーセメント	40	2,770	m3	0.1		277			
41	護床工	袋詰護床工(3t)	40	30	袋	36	1,080				
36	足場工	吊足場		11	m2	24		264			
5	塗装工	RC-1	30	20	m2	53		1,060			
39	環境対策費(小)	RC-1防護対策		1,800	式	1		1,800			
						1					
201	直接工事費	合計		1	式	1	1,940	4,773			
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	6,000	13,000			19,000

○架替え工法ライフサイクルコスト

	架替え工法	概算数量／細目	耐用年数	単価(千円)	/単位	計画策定年	架替年度	補修年度		計画終了年
						2023	2037	2067		2079
						数量	架替費	補修費		合 計
101	PCﾌﾟﾚﾝﾎｰﾚｰ桁(L=5～14m)	A=13.0×2.4	50	200	m2	31	6,200			
111	橋台・橋脚	V=4×2.4×2×2	50	50	m3	38	1,900			
117	既設橋梁取壊し工	V=4×2.4×2×2		30	m3	38	1,140			
112	護岸復旧工	ブロック積護岸	50	30	m2	80	2,400			
2	伸縮装置取替工	埋設型	30	70	m	3.6		252		
3	床版防水工	複合防水・排水管設置	30	15	m2	24		360		
4	舗装打替え工	既設撤去・新設t=8cm	30	9	m2	24		216		
34	水替え工	小規模河川		2,000	式	1	2,000			
201	直接工事費	合計		1	式	1	13,640	828		
202	工事費(諸経費込)	消費税10%込		2.6	式	1	36,000	3,000		39,000

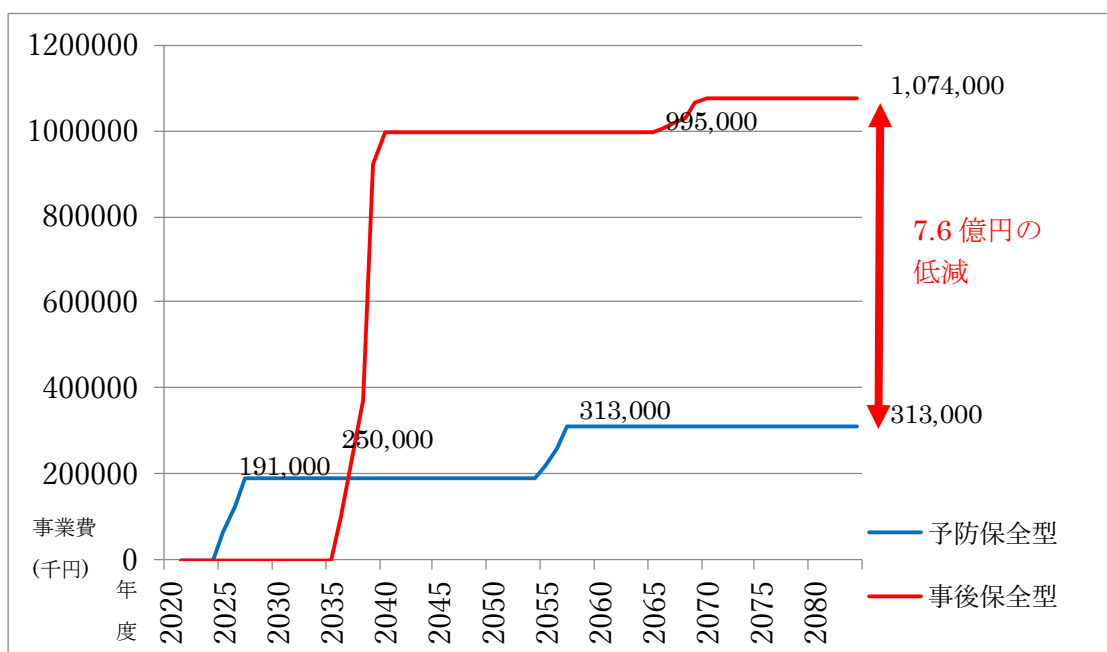
当橋梁は建設後100年間のLCCを比較した場合、架替工法と比べて、補修工法が約 51% のコスト縮減効果があることから、当橋梁は補修工法を採用するものとする。



1.5.2 長寿命化計画の効果

長寿命化修繕計画に基づき、計画的に予防保全対策（補修）を行うことにより橋梁の長寿命化を図ることができ、従来の事後保全対策（架け替え）と比べてライフサイクルコストの削減を図ることができる。

試算シミュレーションによれば、予防保全対策による各橋梁のコスト削減割合は概ね 44～82% となり、2024 年より 2070 年までの橋梁維持費において総額で約 7.6 億円（約 70%）のコスト削減が可能となる試算結果が得られた。



また、事後保全型の場合、2023 年に評価Ⅲとした橋梁が 2036 年～2040 年に集中して評価Ⅳとなり、架け替えの費用がこの 5 年間だけで約 10 億円も必要となる。1 年に必要となる予算は、2039 年に 5 億 5 千万円の費用が必要となり、単年度に必要となる予算も高額となる。

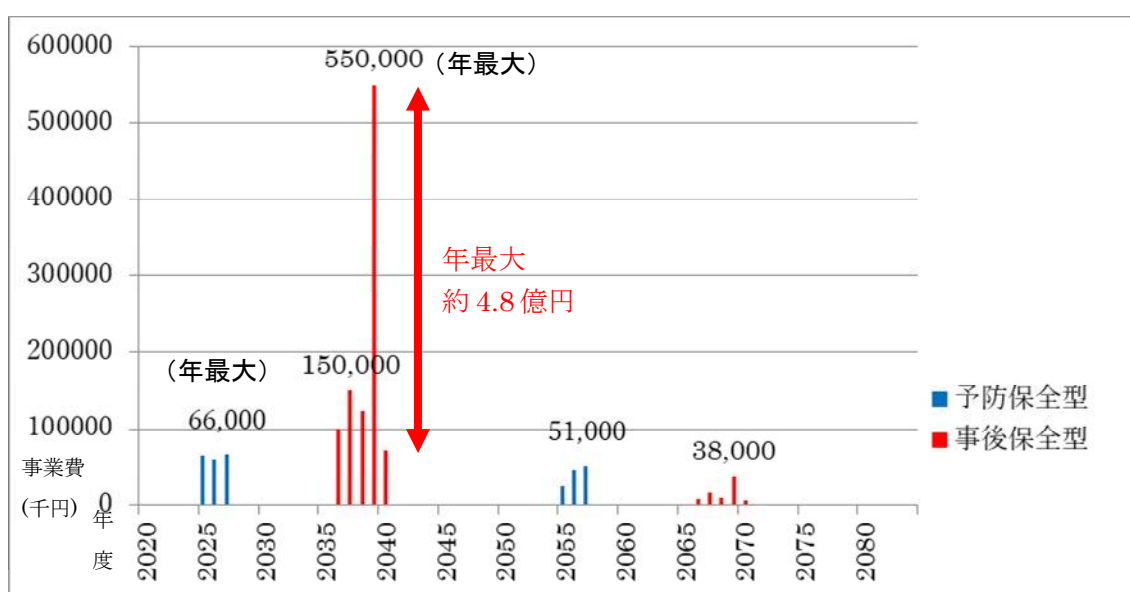
これに対して予防保全型は 12 橋の補修を 2025 年から計画的に行うことにより、2025 年～2027 年にかけて約 1.9 億円の費用で維持を行うことが可能となる。また、単年度の予算は 2027 年の 6 千 6 百万円を最大とし、平均で年に約 6 千 4 百万円の費用が必要となり、現実的な予算確保が可能と思われる。

これらの試算は架設年から評価年 2023 年までの劣化割合を直線とし、2023 年に評価Ⅲと判定された橋梁において、その劣化速度で劣化が進んだ場合を想定している、実際には劣化が判定Ⅲの加速期から判定Ⅳまでの劣化期が速いとされている。しかしながら、当試算では事後保全工法は判定Ⅳで架け替えという考え方としているため、現実的には判定Ⅳの状態でも供用している可能性が高い（リスクは高い）。それらの要素を勘案したとしても、現時点から予防保全型管理手法として補修工事を計画的に実施していかないと、今後 20 年のうちに補修することが難しくなる橋梁が出てくることが予想される。そのため、現時点より計画的に予

算を確保して補修を行うことが、長い目でみたライフサイクルコストを低減させることが必要と思われる。

今後の方針として定期点検の効率化や高度化、修繕等の措置の省力化や費用縮減などを図るために、NETIS(新技術情報提供システム)や点検支援技術性能カタログ等を参考として新技術等の導入を検討し、管理する 212 橋のうち約 5%の橋梁で新技術を活用した点検の実施を目標とする。

また、社会経済情勢や施設の利用状況等の変更に応じた適正な配置のための、施設の集約化・撤去、機能縮小なども視野に入れて、地元の意見を踏まえながら検討を行い、2033 年度までに 1 橋程度、集約・撤去することで今後 10 年間の維持管理に係る修繕等の費用において 50 万円相当の縮減を図ることを目標とする。



※ 参考資料

参考資料として 2 順目橋梁点検結果 (R01～R04)、2023 年時点での 3 順目橋梁点検の予定、及び橋梁定期点検において準拠した要領を添付する。

・ 2 順目橋梁点検結果一覧表 (全橋)

: R01 (2019) ～ R04 (2022)

令和元年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	架設年次		経過 年数	橋長	径間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急 輸送 道路	代替 路の 有無	道路 種別
						西暦	和暦														
1	駒形橋	坂井	3	I	C	1966	昭和41	53	5.1	1	5.0	村道(2級) 駒形線	201	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
2	太野田西橋	坂井	4	Ⅱ	C	1968	昭和43	51	3.9	1	5.1	村道(2級) 太の田西線	202	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
3	山崎線1号橋	坂井	5	Ⅱ	C	1964	昭和39	55	5.5	1	4.0	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
4	山崎線2号橋	坂井	6	I	C	1971	昭和46	48	2.6	1	3.1	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
5	山崎線3号橋	坂井	7	Ⅱ	C	1968	昭和43	51	4.0	1	2.5	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
6	長楽橋	坂井	8	Ⅱ	B	1973	昭和48	46	22.4	1	4.0	村道(2級) 安坂中部線	206	村道 2級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
7	安坂中部線2号橋	坂井	9	I	C	1979	昭和54	40	4.8	1	4.9	村道(2級) 安坂中部線	206	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
8	漸々橋	坂井	10	Ⅱ	B	1972	昭和47	47	18.0	1	4.8	村道(2級) 漸々線	207	村道 2級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
9	湯沢橋	坂井	11	Ⅱ	C	1975	昭和50	44	8.0	1	4.0	村道(2級) 湯沢線	210	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
10	松場永井中村線1号橋	坂井	12	Ⅱ	C	1971	昭和46	48	2.5	1	5.5	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
11	松場永井中村線2号橋	坂井	13	Ⅱ	C	1971	昭和46	48	6.5	1	5.0	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
12	松場永井中村線3号橋	坂井	14	Ⅱ	C	1965	昭和40	54	4.5	1	6.1	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
13	落合橋	坂井	15	Ⅱ	B	1972	昭和47	47	17.3	1	7.4	村道(2級) 杉崎山秋線	215	村道 2級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
14	古司橋	坂井	16	Ⅱ	C	2007	平成19	12	24.5	1	8.8	村道(2級) 古司線	217	村道 2級	河川	PC合成床版橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
15	駒形線1号橋	坂井	17	I	C	2011	平成23	8	12.5	1	6.3	村道 駒形線	3010	村道 その他	河川	RCスラブ(中空床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
16	幸来橋	坂井	18	Ⅱ	C	1991	平成3	28	11.5	1	6.0	村道 氷室桂石線	3022	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
17	氷室桂石線1号橋	坂井	19	Ⅱ	C	1970	昭和45	49	7.3	1	3.0	村道 氷室桂石線	3022	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
18	古司1号橋	坂井	20	Ⅱ	C	1975	昭和50	44	6.0	1	9.4	村道(2級) 古司線	217	村道 2級	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
19	大平橋	坂井	21	Ⅲ	B	1969	昭和44	50	6.3	1	3.0	村道 大平線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
20	松場玉根橋	坂井	22	Ⅱ	B	1981	昭和56	38	7.7	1	3.0	村道 松場玉根線	3029	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
21	本沢橋	坂井	23	I	C	2000	平成12	19	6.8	1	2.9	村道 本沢線	3103	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台、河川護岸	その他	無	一般道
22	入山線1号橋	坂井	24	I	C	1965	昭和40	54	4.3	1	2.6	村道 入山線	3109	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
23	田中田線1号橋	坂井	25	I	C	1999	平成11	20	4.0	1	5.0	村道 田中田線	3111	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
24	田中田線2号橋	坂井	26	I	C	1999	平成11	20	12.4	1	5.0	村道 田中田線	3111	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
25	笹打線1号橋	坂井	27	Ⅱ	C	1965	昭和40	54	8.2	1	3.7	村道 笹打線	3114	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
26	氷室橋	坂井	28	Ⅱ	C	1970	昭和45	49	3.5	1	4.4	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
27	うすぎ橋	坂井	29	Ⅱ	C	1994	平成6	25	7.0	1	5.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
28	熊の川氷室橋	坂井	31	Ⅱ	C	1966	昭和41	53	5.6	1	4.0	村道 熊の川氷室線	3119	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
29	横走線1号橋	坂井	32	Ⅲ	B	1984	昭和59	35	11.4	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道
30	横走線2号橋	坂井	33	Ⅲ	B	1984	昭和59	35	11.5	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道
31	横走線3号橋	坂井	34	Ⅱ	C	1969	昭和44	50	4.0	1	3.3	村道 横走線	3122	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
32	細川橋	坂井	35	Ⅱ	C	1977	昭和52	42	6.3	1	3.0	村道 細川線	3127	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、河川護岸	その他	有	一般道
33	追沢橋	坂井	36	Ⅱ	C	1964	昭和39	55	3.0	1	3.0	村道 追沢線	3137	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
34	牡丹山線1号橋	坂井	37	I	C	1970	昭和45	49	3.8	1	3.2	村道 牡丹山線	3142	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
35	根尾入橋	坂井	38	I	C	1979	昭和54	40	7.0	1	3.0	村道 根尾入線	3143	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
36	山秋橋	坂井	39	Ⅱ	C	1978	昭和53	41	11.5	1	3.6	村道 山秋線	3144	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
37	山秋海道橋	坂井	40	Ⅲ	B	1987	昭和62	32	10.5	1	4.0	村道 山秋海道線	3145	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
38	堀海道橋	坂井	41	I	C	2000	平成12	19	13.0	1	5.6	村道 堀海道線	3146	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
39	須明橋	坂井	42	Ⅱ	B	1967	昭和42	52	8.0	1	3.5	村道 須明線	3148	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
40	生金橋	坂井	43	I	C	2001	平成13	18	4.7	1	5.0	村道 生金線	3149	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
41	太野田熊の入橋	坂井	47	I	C	2010	平成22	9	7.3	1	3.0	村道 太野田熊の入線	3153	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
42	太野田西2号橋	坂井	48	Ⅱ	C	1966	昭和41	53	3.4	1	3.3	村道 太野田西2号線	3154	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
43	寺入線1号橋	坂井	49	Ⅱ	C	1962	昭和37	57	4.7	1	3.0	村道 寺入線	3155	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
44	寺入線2号橋	坂井	50	Ⅱ	C	1971	昭和46	48	3.0	1	4.5	村道 寺入線	3155	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
45	小僧畑線2号橋	坂井	52	Ⅱ	C	1972	昭和47	47	3.3	1	2.5	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋				

令和元年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表(部材単位)

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健全性 の診断	優先 度(A 高〜C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)																健全性の診断 (技術者判断)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
							上部構造						下部構造	支承部	その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
							主桁	横桁	床版	変状の種類	変状の種類	変状の種類																	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
																																														変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類

令和元年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表（部材単位）

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)																健全性の診断 (技術者判断)																							
							上部構造						下部構造	支 承部	その他		その他		その他		その他		上部構造			下 部 構造	支 承 部	その他		その他		その他														
							主 桁	横 桁		床版	変状の種類	変状の種類			変状の種類	変状の種類	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類			主桁	横桁	床版	部材名	部材名	部材名	部材名												
51	矢の口線3号橋	坂井	58	I	C	1	I	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-	-		
52	向方形橋	坂井	59	III	A	1	III	漏水・遊離石灰	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	欠損・腐食	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	III	I	II	伸縮装置	II	舗装	I	排水装置	-	-	-	-
53	市之瀬橋	坂井	60	II	C	1	I	-	-	-	II	ひびわれ・剥離・鉄筋露出・漏水・遊離石灰	III	洗掘	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	II	II	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
54	松場中村橋	坂井	61	II	B	1	I	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	II	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
55	山崎橋	坂井	62	II	C	1	II	ひびわれ・漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	ひびわれ	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	老朽化・非排水機能低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-	-	
						2	II	ひびわれ・漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	ひびわれ	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損・老朽化・非排水機能低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-
56	宮下線1号橋	坂井	63	II	B	1	III	腐食	II	腐食	III	腐食	II	ひびわれ・漏水・剥離・鉄筋露出	II	支承部の機能障害・漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	II	II	II	II	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-	-	-	
57	宮下線2号橋	坂井	64	II	B	1	I	-	-	-	II	剥離・鉄筋露出・漏水・遊離石灰	III	洗掘	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	II	II	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
58	杉崎玉根橋	坂井	65	I	C	1	I	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
59	熊の川1号橋	坂井	66	I	C	1	I	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	II	排水装置	腐食	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-	-	-	-	
60	氷室線1号橋	坂井	67	I	C	1	I	-	-	-	II	ひびわれ・漏水・遊離石灰	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	I	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
61	氷室線2号橋	坂井	68	II	B	1	II	腐食	-	-	II	腐食	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	II	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
62	氷室線3号橋	坂井	69	II	B	1	II	腐食	-	-	I	-	I	-	II	漏水・滯水	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	I	I	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-	-	-	
63	氷室線4号橋	坂井	70	II	B	1	II	腐食	-	-	III	ひびわれ	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	II	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
64	氷室線5号橋	坂井	71	II	B	1	III	腐食	-	-	I	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	I	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
65	中ノ尾橋	坂北	31	II	C	1	III	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	漏水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
66	北林1号橋	坂北	94	I	C	1	II	ひびわれ・漏水・剥離・欠損	-	-	-	-	II	ひびわれ・漏水・剥離・欠損	-	-	II	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	-	I	舗装	-	-	-	-	-	-	-		
67	ヤサキ橋	本城	40	I	C	1	II	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
68	木合橋	本城	56	II	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	支承部の機能障害・漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	II	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

令和2年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A高 ～C 低)	架設年次		経過 年数 (2020)	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急 輸送 道路	代替 路の 有無	道路 種別
						西暦	和暦														
1	高辺橋	坂北	4	Ⅱ	C	1970	昭和45	50	19.3	1	7.5	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
2	川端橋	坂北	5	Ⅱ	C	1970	昭和45	50	20.5	1	7.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
3	中継橋	坂北	6	Ⅱ	C	1970	昭和45	50	16.7	1	7.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
4	沢口橋	坂北	9	I	C	1970	昭和45	50	7.8	1	4.5	村道(1級) 中川里山線	103	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
5	桂2号橋	坂北	15	Ⅱ	C	1971	昭和46	49	5.9	1	5.0	村道(1級) 桂線	106	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
6	みどり町北沢2号橋	坂北	21	Ⅱ	C	1982	昭和57	38	4.3	1	7.3	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
7	みどり町北沢1号橋	坂北	22	Ⅱ	C	1971	昭和46	49	4.5	1	4.4	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
8	日影1号橋	坂北	24	Ⅲ	A	1969	昭和44	51	8.4	1	4.5	村道(2級) 神明社線	201	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
9	七ツ松橋	坂北	27	I	C	1997	平成9	23	23.8	1	7.5	村道(2級) 七ツ松線	203	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
10	赤松1号橋	坂北	32	Ⅱ	B	1968	昭和43	52	7.6	1	4.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
11	寺沢橋	坂北	37	Ⅱ	C	1980	昭和55	40	15.1	2	3.0	村道 寺沢線	3008	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	無	一般道
12	中村神明社橋	坂北	45	I	C	1987	昭和62	33	2.8	1	1.5	村道 中通線	3028	村道 その他	河川	鋼角型桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	有	一般道
13	青柳町裏1号橋	坂北	46	Ⅱ	C	1991	平成3	29	5.9	1	3.5	村道 青柳町裏線	3032	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
14	青柳町裏2号橋	坂北	47	I	C	1989	平成1	31	6.0	1	3.5	村道 青柳町裏線	3032	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
15	上原橋	坂北	53	I	C	1974	昭和49	46	2.0	1	9.0	村道 六工線	3050	村道 その他	河川	ボックスカルバート、RCスラブ(床版)橋	RC橋	ボックスカルバート、河川護岸	その他	有	一般道
16	大畑百瀬橋	坂北	55	Ⅱ	C	1981	昭和56	39	11.7	1	1.2	村道 大畑百瀬線	3059	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道
17	日影2号橋	坂北	57	Ⅲ	A	1971	昭和46	49	8.0	1	3.5	村道 刈谷沢日影線	3062	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
18	中通橋	坂北	59	I	C	1978	昭和53	42	4.9	1	4.4	村道 中通裏線	3074	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
19	入山2号橋	坂北	70	Ⅱ	C	1968	昭和43	52	11.4	2	3.0	村道 入山線	3149	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
20	中里3号橋	坂北	74	Ⅱ	C	1980	昭和55	40	12.5	1	2.5	村道 中里3号線	3161	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
21	六工橋	坂北	77	Ⅲ	B	1980	昭和55	40	25.5	4	2.9	村道 向六工北線	3169	村道 その他	河川	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台、杭式橋脚	その他	有	一般道
22	小滝沢4号橋	坂北	96	Ⅱ	C	1972	昭和47	48	4.5	1	6.1	村道 旧差切トンネル線	3278	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
23	刈谷沢橋	坂北	98	I	C	1985	昭和60	35	8.5	1	4.0	村道 刈ー2号線	3224	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
24	皿吊橋	本城	5	Ⅱ	C	1974	昭和49	46	4.5	1	4.1	村道(1級) 西条乱橋線	107	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
25	砥石沢橋	本城	7	I	C	1968	昭和43	52	3.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
26	川山1号橋	本城	8	I	C	1960	昭和35	60	7.7	1	3.7	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
27	川山2号橋	本城	9	Ⅱ	C	1971	昭和46	49	12.1	1	3.8	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道
28	川山3号橋	本城	10	Ⅱ	C	1966	昭和41	54	3.3	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
29	白坂橋	本城	11	Ⅱ	C	1966	昭和41	54	3.3	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
30	中町西橋	本城	24	Ⅱ	C	1971	昭和46	49	7.6	1	4.0	村道(2級) 西村線	206	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
31	成田橋	本城	31	I	C	1976	昭和51	44	7.6	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
32	栃平橋	本城	34	Ⅱ	C	1962	昭和37	58	9.3	1	4.6	村道 立川本線	3012	村道 その他	河川	RCT桁橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
33	中沢橋	本城	37	I	C	1972	昭和47	48	21.0	2	4.0	村道 竹の下線	3025	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
34	森下橋	本城	39	I	C	1965	昭和40	55	2.5	1	5.0	村道 田屋1号線	3028	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
35	秋葉橋	本城	43	Ⅱ	C	1988	昭和63	32	9.4	1	3.0	村道 秋葉線	3042	村道 その他	道路	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
36	窪田橋	本城	44	I	C	2001	平成13	19	15.3	1	5.0	村道 皿吊線	3043	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
37	由折沢橋	本城	47	I	C	1969	昭和44	51	3.9	1	3.1	村道 北原線	3051	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
38	西条大橋	本城	59	Ⅱ	C	1957	昭和32	63	21.1	2	6.2	村道 西条聖南線	3111	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
39	花川原1号橋	本城	60	Ⅱ	C	1965	昭和40	55	2.5	1	6.5	村道 花川原線	3112	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
40	倉鹿沢橋	本城	66	Ⅱ	C	1992	平成4	28	13.0	1	9.3	村道 滝上線	3138	村道 その他	河川	RCT桁橋、RCスラブ(床版)橋、PCスラブ橋	RC橋・PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
41	坪川2号橋	本城	74	I	C	1999	平成11	21	13.0	1	9.2	村道(2級) 坪川線	203	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和2年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表(部材単位)

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高〜C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)															健全性の診断 (技術者判断)																			
							上部構造						下部構造	支 承 部	その他		その他		その他		上部構造			下部構造	支 承 部	その他		その他		その他		その他									
							主 桁	横 桁		床 版	変状の種類	変状の種類			変状の種類	変状の種類	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類			部材名	変状の種類	主 桁	横 桁	床 版	部材名	部材名	部材名	部材名							
								変状の種類	変状の種類																										変状の種類						
1	高辺橋	坂北	4	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	排水装置	-	-	-	-	-	-	
2	川端橋	坂北	5	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅰ	排水装置	-	-	-	-	-
3	中継橋	坂北	6	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅰ	排水装置	-	-
4	沢口橋	坂北	9	Ⅰ	C	1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-		
5	桂2号橋	坂北	15	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅲ	地覆	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	地覆	-	-	-	-	-	-		
6	みどり町北沢2号橋	坂北	21	Ⅱ	C	1	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	みどり町北沢1号橋	坂北	22	Ⅱ	C	1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
8	日影1号橋	坂北	24	Ⅲ	A	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・剥離・鉄筋 露出・漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	Ⅲ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	舗装	-	-	-	-	-	-		
9	七ツ松橋	坂北	27	Ⅰ	C	1	Ⅰ	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅲ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・ 舗装閉塞・腐食	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	-
10	赤松1号橋	坂北	32	Ⅱ	B	1	Ⅱ	ひびわれ・剥離・鉄筋 露出・漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	舗装	-	-	-	-	-	-		
11	寺沢橋	坂北	37	Ⅱ	C	1	Ⅰ	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅲ	洗掘	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-		
12						2	Ⅰ	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	
13	中村神明社橋	坂北	45	Ⅰ	C	1	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	青柳町裏1号橋	坂北	46	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・剥離・鉄筋 露出・漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-		
15	青柳町裏2号橋	坂北	47	Ⅰ	C	1	Ⅰ	-	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	袖擁壁	ひびわれ	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	Ⅰ	排水装置	Ⅰ	袖擁壁	-	-
15	上原橋(ボックスカルバート)	坂北	53	Ⅰ	C	1	Ⅱ	漏水	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-			
	上原橋						Ⅱ	ひびわれ	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-		
16	大畑百瀬橋	坂北	55	Ⅱ	C	1	Ⅱ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-			
17	日影2号橋	坂北	57	Ⅲ	A	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	Ⅲ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	
18	中通橋	坂北	59	Ⅰ	C	1	Ⅰ	-	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
19	入山2号橋	坂北	70	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅲ	地覆	漏水・遊離石灰	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	地覆	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	
20						2	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	
20	中里3号橋	坂北	74	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	Ⅰ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-
21	六工橋	坂北	77	Ⅲ	B	1	Ⅱ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅲ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-		
						2	Ⅱ	腐食	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅲ	ひびわれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	-	-	-	-	-	-	-	-		
						3	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-	
						4	Ⅰ	-	Ⅱ	腐食	Ⅰ	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-
22	小滝沢4号橋	坂北	96	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・漏水	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	根継工	ひびわれ	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	根継工	Ⅰ	排水装置	-	-	-	-	-	
23	刈谷沢橋	坂北	98	Ⅰ	C	1	Ⅰ	-	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
24	皿吊橋	本城	5	Ⅱ	C	1	Ⅰ	-	-	-	-	-	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅱ	Ⅰ	-	-	-	-	-	-	-	-		
25	砥石沢橋	本城	7	Ⅰ	C	1	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
26	川山1号橋	本城	8	Ⅰ	C	1	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	Ⅰ	-	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	根継工	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	伸縮装置	Ⅰ	舗装	Ⅰ	根継工	-	-
27	川山2号橋	本城	9	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅰ	Ⅰ										

令和3年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	架設年次		経過 年数	橋長	径間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急 輸送 道路	代替 路の 有無	道路 種別
						西暦	和暦														
1	牡丹山線2号橋	坂井	1	I	C	1970	昭和45	51	2.2	1	2.1	村道 牡丹山線	3142	村道 その他	河川	木橋	木橋	河川護岸	その他	有	一般道
2	飯米場橋	坂井	44	I	C	1960	昭和35	61	5.3	1	2.5	村道 飯米場線	3150	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
3	太野田中線1号橋	坂井	45	II	C	1968	昭和43	53	4.0	1	2.5	村道 太野田中線	3151	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
4	太野田中線2号橋	坂井	46	I	C	1973	昭和48	48	4.0	1	3.0	村道 太野田中線	3151	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
5	小僧畑線1号橋	坂井	51	III	B	1970	昭和45	51	3.0	1	5.0	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
6	須田橋	坂北	1	III	B	1973	昭和48	48	30.0	1	4.5	村道 須田橋線	3265	村道 その他	河川	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
7	町1号橋	坂北	2	II	C	1974	昭和49	47	22.0	1	7.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
8	町2号橋	坂北	3	II	C	2008	平成20	13	24.2	1	6.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
9	金堀橋	坂北	7	II	C	1980	昭和55	41	14.9	1	4.5	村道 別所小仁熊ダム線	3263	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
10	中里川山1号橋	坂北	10	I	C	1982	昭和57	39	9.0	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
11	中里川山2号橋	坂北	11	I	C	1983	昭和58	38	13.0	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
12	中里川山3号橋	坂北	12	III	A	1978	昭和53	43	14.9	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
13	桂1号橋	坂北	14	I	C	1988	昭和63	33	4.2	1	5.9	村道(1級) 桂線	106	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
14	新六工橋	坂北	18	III	B	1973	昭和48	48	28.4	1	8.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	河川	鋼钣桁橋、PCT橋	鋼・PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
15	宇洞坂橋	坂北	19	III	B	1977	昭和52	44	28.1	1	4.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
16	東部1号橋	坂北	25	I	C	1977	昭和52	44	3.9	1	5.7	村道(2級) 東部線	202	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
17	中島橋	坂北	28	II	B	1979	昭和54	42	28.8	1	4.0	村道(2級) 中島線	205	村道 2級	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
18	菖蒲田橋	坂北	30	II	B	1974	昭和49	47	27.0	1	4.0	村道(2級) 菖蒲田線	207	村道 2級	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
19	赤松2号橋	坂北	33	III	B	1975	昭和50	46	29.0	2	3.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
20	山寺橋	坂北	34	I	C	1975	昭和50	46	5.6	1	3.8	村道(2級) 山寺線	211	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
21	中込橋	坂北	35	II	C	1978	昭和53	43	40.6	2	3.0	村道 中込1号線	3005	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
22	南沢橋	坂北	36	III	B	1979	昭和54	42	13.0	1	1.8	村道 南沢線	3007	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	無	一般道
23	菖蒲沢1号橋	坂北	38	III	B	1972	昭和47	49	7.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
24	菖蒲沢2号橋	坂北	39	I	C	1972	昭和47	49	4.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
25	御子安橋	坂北	40	I	C	2021	令和03	0	31.0	1	2.5	村道 御子安線	3012	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
26	刈一1号橋	坂北	41	I	C	2000	平成12	21	8.0	1	5.0	村道 刈一線	3025	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
27	刈一2号橋	坂北	42	II	C	1971	昭和46	50	5.0	1	2.7	村道 刈一線	3025	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
28	沢田橋	坂北	44	I	C	1973	昭和48	48	3.3	1	3.1	村道 長上南線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
29	末地入川1号橋	坂北	49	I	C	1967	昭和42	54	2.2	1	1.6	村道 末地入川線	3037	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
30	小滝沢2号橋	坂北	51	II	B	1984	昭和59	37	16.0	1	4.0	村道 小滝線	3039	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
31	深持橋	坂北	54	III	B	1964	昭和39	57	4.9	1	2.0	村道 深持線	3052	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
32	ライスセンター横橋	坂北	56	II	B	1968	昭和43	53	4.2	1	5.5	村道 鳥居線	3061	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
33	風呂屋橋	坂北	63	I	C	1978	昭和53	43	9.5	1	4.0	村道 風呂屋線	3087	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
34	原橋	坂北	64	II	B	1971	昭和46	50	4.8	1	3.0	村道 栲屋矢花線	3090	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
35	東山池橋	坂北	65	I	C	1974	昭和49	47	4.9	1	4.0	村道 東山池線	3095	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	U型水路	その他	無	一般道
36	宇洞坂県住橋	坂北	67	II	C	1975	昭和50	46	6.5	1	5.6	村道 宇洞坂県住線	3102	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
37	入山1号橋	坂北	69	III	A	1968	昭和43	53	11.8	2	3.0	筑北村道 入山線	3149	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
38	堀切橋	坂北	72	II	C	1986	昭和61	35	15.7	2	2.6	村道 堀切線	3154	村道 その他	河川	PCI桁橋、RCスラブ(床版)橋	PC橋	河川護岸、壁式橋脚	その他	有	一般道
39	鬼熊徳橋	坂北	73	III	B	1980	昭和55	41	16.5	1	2.5	村道 中里4号線	3158	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	有	一般道
40	日向橋	坂北	78	III	B	1972	昭和47	49	40.1	2	5.0	村道 日向菖蒲田線	3170	村道 その他	河川	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	有	一般道
41	洪田橋	坂北	79	I	C	1972	昭和47	49	3.4	1	5.0	村道 洪田長畑農構1号線	3194	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
42	大側橋	坂北	80	III	B	1977	昭和52	44	5.6	1	3.5	村道 大側線	3208	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
43	菖蒲沢3号橋	坂北	82	II	B	1970	昭和45	51	4.9	1	3.4	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
44	明久橋	坂北	83	II	C	1981	昭和56	40	2.0	1	7.0	村道 明久線	3010	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
45	長畑橋	坂北	85	II	B	1978	昭和53	43	5.6	1	8.5	村道 長畑聖南中学線	3231	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
46	スポーツ橋	坂北	86	II	B	1989	平成1	32	27.4	1	4.0	村道 宇洞坂2号線	3232	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
47	横吹橋	坂北	87	II	C	1992	平成4	29	30.8	1	3.0	村道 横吹橋線	3249	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
48	飯綱山橋	坂北	88	II	B	1977	昭和52	44	8.4	1	3.0	村道 飯綱山線	3086	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
49	中里橋	坂北	89	I	C	1998	平成10	23	21.0	1	8.1	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
50	新須田橋	坂北	93	II	C	2000	平成12	21	30.7	1	7.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
51	宇洞坂線1号橋	坂北	95	I	C	1985	昭和60	36	2.6	1	8.0	村道(2級) 宇洞坂線	206	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	U型水路	その他	有	一般道
52	久保田川橋	坂北	97	I	C	2004	平成16	17	9.1	1	2.5	村道 ライスセンター裏線	3279	村道 その他	河川	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
53	本町橋	本城	6	II	B	1972	昭和47	49	3.6	1	4.6	村道(1級) 西条乱橋線	107	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
54	中町橋	本城	26	II	B	1968	昭和43	53	8.0	1	3.6	村道(2級) 乱橋立峠線	209	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和3年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表(部材単位)

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)																健全性の診断 (技術者判断)																		
							上部構造						下部構造	支承部	その他		その他		その他		上部構造			下部 構造	支 承 部	その他		その他	その他												
							主桁	横桁	床版	変状の種類	変状の種類	変状の種類			変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	主桁			横桁	床版			部材名	部材名										
1	牡丹山線2号橋	坂井	1	I	C	1	II	腐朽	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-	-			
2	飯米場橋	坂井	44	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-			
3	太野田中線1号橋	坂井	45	II	C	1	I	-	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	II	I	-	-	-	-	-	-				
4	太野田中線2号橋	坂井	46	I	C	1	I	-	-	-	-	-	II	ひびわれ	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-				
5	小僧畑線1号橋	坂井	51	III	B	1	III	剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	III	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-				
6	須田橋	坂北	1	III	B	1	III	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	III	ひびわれ	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	III	ひびわれ	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	II	III	II	III	I	I	舗装	II	伸縮装置	I	排水装置	-	-
7	町1号橋	坂北	2	II	C	1	III	漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	II	I	I	I	I	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-		
8	町2号橋	坂北	3	II	C	1	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	II	-	-	I	I	I	舗装	I	排水装置	-	-	-	-		
9	金堀橋	坂北	7	II	C	1	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	I	II	II	I	II	II	舗装	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-
10	中里川山1号橋	坂北	10	I	C	1	I	-	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	II	排水装置	-	-	-	-	
11	中里川山2号橋	坂北	11	I	C	1	I	-	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	II	排水装置	-	-	-	-	
12	中里川山3号橋	坂北	12	III	A	1	III	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	III	-	-	I	I	I	伸縮装置	II	舗装	I	排水装置	-	-
13	桂1号橋	坂北	14	I	C	1	I	-	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-		
14	新六工橋	坂北	18	III	B	上	I	-	I	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	-	-	-	I	I	II	I	II	II	舗装	I	排水装置	I	伸縮装置	-	-
						下	III	ひびわれ	III	ひびわれ	III	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	排水装置	脱落	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	III	III	II	I	II	II	排水装置	-	-	-	-	-
15	宇洞坂橋	坂北	19	III	B	1	III	ひびわれ	III	ひびわれ	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	III	II	II	I	I	II	伸縮装置	II	舗装	I	排水装置	-	-
16	東部1号橋	坂北	25	I	C	1	II	ひびわれ	-	-	-	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	護岸工	洗堀	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	I	護岸工	-	-	-	-	
17	中島橋	坂北	28	II	B	1	I	-	I	-	II	ひびわれ	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損・老朽化・ 防水機能低下	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	III	親柱	ひびわれ	-	-	-	I	I	II	II	II	II	伸縮装置	II	排水装置	II	親柱	-	-
18	菰蒲田橋	坂北	30	II	B	1	III	腐食	I	-	III	ひびわれ	III	ひびわれ・洗掘	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	II	I	II	II	II	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
19	赤松2号橋	坂北	33	III	B	1	III	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	ひびわれ	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	II	護岸工	洗掘	III	-	-	I	I	II	舗装	I	伸縮装置	I	排水装置	II	護岸工
						2	III	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	III	-	-	I	I	II	舗装	I	伸縮装置	I	排水装置	-
20	山寺橋	坂北	34	I	C	1	I	-	-	-	-	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-	
21	中込橋	坂北	35	II	C	1	I	-	I	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	I	-	II	支承部の機能障害	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	II	I	II	I	排水装置	-	-	-	-	-		
						2	I	-	I	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ	II	支承部の機能障害	II	排水装置	腐食	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	II	I	II	I	排水装置	-	-	-	-	-
22	南沢橋	坂北	36	III	B	1	III	腐食	I	-	III	漏水・遊離石灰	III	洗掘	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	II	I	II	III	I	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
23	菰蒲沢1号橋	坂北	38	III	B	1	I	-	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	III	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
24	菰蒲沢2号橋	坂北	39	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-			
25	御子安橋	坂北	40	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	支承部の機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-			
26	刈一1号橋	坂北	41	I	C	1	II	ひびわれ	-	-	-	-	II	ひびわれ	I	-	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	舗装	I	排水装置	-	-	-	-	
27	刈二2号橋	坂北	42	II	C	1	II	ひびわれ・ 剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	III	地覆	変形・欠損	-	-	-	-	-	-	I	-	-	II	I	I	伸縮装置	I	地覆	-	-	-	-
28	沢田橋	坂北	44	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	舗装	-	-	-	-	-		
29	末地入川1号橋	坂北	49	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-			
30	小滝沢2号橋	坂北	51	II	B	1	I	-	I	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	II	I	II	I	排水装置	I	-	-	-	-		
31	深持橋	坂北	54	III	B	1	III	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	III	ひびわれ・洗掘	II	漏水・滯水	III	地覆	変形・欠損	III	護岸工	目地開き・欠損	-	-	-	-	-	III	-	-	III	I	II	地覆	III	護岸工	-	-	-	-	
32	ライスセンター横橋	坂北	56	II	B	1	I	-	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	II	I	II	舗装	-	-	-	-	-		
33	風呂屋橋	坂北	63	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	II	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
34	原橋	坂北	64	II	B	1	III	剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	II	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-		
35	東山池橋	坂北	65	I	C	1	I	-	-	-	-	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
36	宇洞坂県住橋	坂北	67	II	C	1	III	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置																							

令和3年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表（部材単位）

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)																健全性の診断 (技術者判断)																								
							上部構造						下部構造	支承部	その他		その他		その他		その他		上部構造			下部 構造	支 承 部	その他	その他	その他	その他																
							主桁	横桁	床版	変状の種類	変状の種類	変状の種類			変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類			変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類												
																																				変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類
41	洪田橋	坂北	79	I	C	1	I	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-			
42	大側橋	坂北	80	III	B	1	I	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	III	I	-	-	-	-	-	-	-	-			
43	菰蒲沢3号橋	坂北	82	II	B	1	I	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	II	I	-	-	-	-	-	-	-	-			
44	明久橋	坂北	83	II	C	1	II	剥離・鉄筋露出・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰	-	-	II	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	II	-	I	I	舗装	-	-	-	-	-	-		
45	長畑橋	坂北	85	II	B	1	III	ひびわれ	-	-	-	-	I	-	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	I	I	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	-		
46	スポーツ橋	坂北	86	II	B	1	I	-	I	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	I	I	II	I	II	II	伸縮装置	I	舗装	I	排水装置	-	-	-	-	
47	横吹橋	坂北	87	II	C	1	I	-	I	-	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	II	I	II	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	-		
48	飯綱山橋	坂北	88	II	B	1	I	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰・ 洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	II	I	I	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	-		
49	中里橋	坂北	89	I	C	1	I	-	II	漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・遊離石灰	II	支承部の機能障害 ・漏水・滯水	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	I	I	I	舗装	I	排水装置	I	伸縮装置	-	-	-	-
50	新須田橋	坂北	93	II	C	1	II	ひびわれ	II	漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	II	舗装	舗装の異常	II	排水装置	土砂詰まり	II	袖擁壁	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	I	I	II	I	I	I	I	伸縮装置	II	舗装	I	排水装置	I	袖擁壁	-	-	-	-	
51	宇洞坂線1号橋	坂北	95	I	C	1	II	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	II	漏水・遊離石灰	II	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-			
52	久保田川橋	坂北	97	I	C	1	I	-	I	-	II	漏水・遊離石灰	I	-	I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	I	-	-	-	-	-	-	-	-			
53	本町橋	本城	6	II	B	1	II	剥離・鉄筋露出・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	II	-	-	II	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
54	中町橋	本城	26	II	B	1	III	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	III	洗掘	II	漏水・滯水	II	伸縮装置	欠損	II	舗装	舗装の異常	III	防護柵	変形・欠損	II	排水装置	土砂詰まり・閉塞	II	-	-	II	I	I	I	伸縮装置	I	舗装	III	防護柵	I	排水装置	-	-	-	-	

令和3年度(繰越) 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線 名	路線 コード	道路種別	架設 条件	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急 輸送 道路	代替 路の有無	道路 種別
						西暦	和暦														
1	駅前橋	坂北	23	Ⅱ	B	1974	昭和49	48	3.8	1	3.5	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	水路側壁	その他	有	一般道
2	横道橋	坂北	43	Ⅱ	C	1972	昭和47	50	7.0	1	3.0	村道 粧屋線	3026	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
3	川山4号橋	本城	12	Ⅱ	B	1969	昭和44	53	6.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
4	川山5号橋	本城	13	Ⅲ	A	1972	昭和47	50	10.8	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
5	川山6号橋	本城	14	Ⅱ	B	1974	昭和49	48	13.2	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
6	川山7号橋	本城	15	Ⅲ	B	1976	昭和51	46	12.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
7	川山8号橋	本城	16	Ⅲ	B	1976	昭和51	46	11.5	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
8	川山9号橋	本城	17	Ⅲ	B	1978	昭和53	44	12.5	1	4.3	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
9	川山10号橋	本城	18	Ⅲ	B	1978	昭和53	44	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
10	川山11号橋	本城	19	Ⅱ	B	1978	昭和53	44	13.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
11	川山12号橋	本城	20	Ⅱ	B	1978	昭和53	44	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
12	立川1号橋	本城	30	Ⅱ	B	1976	昭和51	46	14.1	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
13	草塩橋	本城	38	Ⅱ	B	1965	昭和40	57	2.0	1	2.9	村道 田屋草塩線	3027	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
14	草塩2号橋	本城	41	Ⅱ	C	1964	昭和39	58	2.5	1	4.0	村道 田屋2号線	3029	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
15	八木1号橋	本城	42	Ⅱ	C	1969	昭和44	53	5.2	1	3.0	村道 八木西線	3031	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道
16	川山橋	本城	48	Ⅱ	C	1977	昭和52	45	12.7	1	2.0	村道 小仁熊伊切線	3053	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道
17	くご平橋	本城	51	Ⅱ	C	1975	昭和50	47	13.5	1	2.6	村道 くご平線	3071	村道 その他	河川	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
18	中島橋(本)	本城	55	Ⅲ	B	1970	昭和45	52	4.5	1	3.1	村道 中島線	3087	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
19	長野道側道1号橋	本城	62	I	C	1979	昭和54	43	8.1	1	4.0	村道 長野自動車道側道1号線	3118	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	無	一般道

令和3年度(繰越) 筑北村管理橋梁点検結果一覧表(部材単位)

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)																健全性の診断 (技術者判断)																		
							上部構造						下部構造	支承部	その他		その他		その他		その他		上部構造			下部 構造	支 承 部	その他	その他	その他	その他										
							主桁	横桁	床版	変状の種類	変状の種類	変状の種類			部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	主桁	横桁	床版																
																																変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類
1	駅前橋	坂北	23	Ⅱ	B	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	-	-	-	-	-	-	-	-				
2	横道橋	坂北	43	Ⅱ	C	1	I	-	I	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承部の機能障害	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・脱落	-	-	-	-	-	-	-	I	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	-			
3	川山4号橋	本城	12	Ⅱ	B	1	Ⅱ	ひびわれ	-	-	-	-	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	Ⅱ	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
4	川山5号橋	本城	13	Ⅲ	A	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅲ	地覆	漏水・遊離石灰	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅲ	-	-	Ⅲ	I	Ⅱ	舗装	Ⅲ	地覆	Ⅱ	排水装置	I	伸縮装置
5	川山6号橋	本城	14	Ⅱ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	ひびわれ・洗掘	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅲ	護岸工	うき・抜け落ち	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	添架物	破断	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	護岸工	I	伸縮装置	Ⅱ	添架物	-	-
6	川山7号橋	本城	15	Ⅲ	B	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	Ⅲ	-	-	Ⅱ	I	I	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-
7	川山8号橋	本城	16	Ⅲ	B	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	-	Ⅲ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-
8	川山9号橋	本城	17	Ⅲ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅲ	I	I	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-
9	川山10号橋	本城	18	Ⅲ	B	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	Ⅱ	舗装	舗装の異常	-	-	-	Ⅲ	-	-	Ⅱ	I	I	伸縮装置	Ⅱ	排水装置	Ⅱ	舗装	-	-
10	川山11号橋	本城	19	Ⅱ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅲ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	-		
11	川山12号橋	本城	20	Ⅱ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-	-		
12	立川1号橋	本城	30	Ⅱ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-
13	草塩橋	本城	38	Ⅱ	B	1	I	-	-	-	-	-	Ⅱ	その他 (石積のズレ)	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	Ⅱ	I	-	-	-	-	-	-	-		
14	草塩2号橋	本城	41	Ⅱ	C	1	I	-	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	Ⅱ	I	-	-	-	-	-	-	-			
15	八木1号橋	本城	42	Ⅱ	C	1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	根継工	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	Ⅱ	舗装	I	根継工	-	-	-	-	
16	川山橋	本城	48	Ⅱ	C	1	I	-	-	-	Ⅱ	漏水	I	-	Ⅱ	支承部の機能障害・ 漏水・滯水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	Ⅱ	I	I	-	-	-	-	-	-	-			
17	くご平橋	本城	51	Ⅱ	C	1	I	-	I	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	I	-	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	I	I	Ⅱ	I	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-	-		
18	中島橋(本)	本城	55	Ⅲ	B	1	Ⅱ	剥離・鉄筋露出	-	-	-	-	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	漏水・滯水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅲ	I	Ⅱ	舗装	-	-	-	-	-	-		
19	長野道側道1号橋	本城	62	I	C	1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	-	-	Ⅱ	舗装	舗装の異常	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	-	I	舗装	-	-	-	-	-	-		

令和4年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表

番号	橋 梁 名	地 区	橋 梁 番 号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	架 設 年 次		経 過 年 数	橋 長	径 間 数	幅 員	路 線 名	路線 コード	道 路 種 別	架 設 条 件	上 部 工 構 造 形 式	上 部 工 材 料	下 部 工	緊急 輸 送 道 路	代 替 路 の 有 無	道 路 種 別
						西 暦	和 暦														
1	修那羅橋	坂井	30	Ⅱ	B	1994	平成6	28	20.0	1	5.0	村道 氷室線	3118	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
2	小滝沢1号橋	坂北	50	Ⅱ	C	1983	昭和58	39	3.2	1	10.8	村道 小滝線	3039	村道 その他	河川	ボックスカルバート	PC橋	ボックスカルバート	その他	無	一般道
3	粟島1号橋	坂北	90	Ⅱ	B	1994	平成6	28	23.2	1	6.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
4	粟島2号橋	坂北	91	Ⅱ	B	1994	平成6	28	33.0	1	6.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
5	粟島3号橋	坂北	92	Ⅱ	B	1994	平成6	28	70.0	2	5.1	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	河川	鋼鈑桁V脚ラーメン橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
6	落合橋(北)	坂北	101	Ⅱ	B	不明	不明	不明	30.6	2	2.5	村道 南沢線	3007	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
7	人数坂橋	本城	3	Ⅱ	C	1998	平成10	24	15.1	1	5.6	村道 西条小仁熊線	104	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
8	中山橋	本城	4	Ⅱ	C	1997	平成9	25	15.2	1	5.0	村道(1級) 平林線	105	村道 1級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
9	坪川1号橋	本城	22	Ⅱ	C	1997	平成9	25	25.0	1	5.0	村道(2級) 坪川線	203	村道 2級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道
10	田屋橋	本城	23	Ⅱ	C	1980	昭和55	42	21.7	4	3.0	村道(2級) 西条田屋線	204	村道 2級	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸、杭式橋脚	その他	有	一般道
11	古井堂橋	本城	25	Ⅱ	B	1983	昭和58	39	10.4	1	4.0	村道(2級) 西村線	206	村道 2級	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
12	細ヶ谷橋	本城	27	Ⅱ	B	1983	昭和58	39	13.0	1	4.0	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
13	会吉1号橋	本城	28	Ⅱ	B	1976	昭和51	46	5.7	1	4.3	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
14	会吉2号橋	本城	29	Ⅱ	B	1976	昭和51	46	5.5	1	4.2	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道
15	立川3号橋	本城	32	Ⅲ	B	1982	昭和57	40	15.3	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
16	立川2号橋	本城	33	I	C	1980	昭和55	42	15.2	1	4.0	村道 立川線支線1号線	3011	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道
17	楡の木橋	本城	52	I	C	1968	昭和43	54	14.0	3	2.8	村道 楡の木線	3072	村道 その他	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道
18	観音橋	本城	58	Ⅱ	B	2001	平成13	21	89.8	3	4.0	村道 観音堂線支線1号線	3117	村道 その他	河川	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道
19	ブナキ沢橋	本城	64	Ⅱ	C	1982	昭和57	40	7.0	1	4.1	村道 戸川東沢線	3125	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道
20	唐前橋	本城	65	Ⅱ	C	1998	平成10	24	26.7	1	6.0	村道 唐前田屋線	3131	村道 その他	河川	PCスラブ(中空床版)橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
21	富蔵沢3号橋	本城	68	Ⅱ	B	2000	平成12	22	28.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
22	富蔵沢2号橋	本城	69	Ⅱ	B	1999	平成11	23	32.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道
23	富蔵沢1号橋	本城	70	Ⅱ	B	1999	平成11	23	44.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	河川	鋼鈑桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
24	堀の沢橋	本城	71	Ⅱ	C	2004	平成16	18	15.1	1	4.0	村道 番場線	3147	村道 その他	河川	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道
25	西沖橋	本城	72	I	C	2016	平成28	6	6.5	1	5.7	村道 乱橋町裏線	3153	村道 その他	河川	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道
26	皿吊池際橋	本城	73	Ⅱ	C	1974	昭和49	48	10.2	1	3.0	村道 皿吊池際線	3154	村道 その他	河川	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道

令和4年度 筑北村管理橋梁点検結果一覧表 (部材単位)

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	径間 番号	健全性の最悪値 (チェックシート)																健全性の診断 (技術者判断)																			
							上部構造						下部構造	支承部	その他		その他		その他		上部構造			下部 構造	支 承 部	その他	その他	その他	その他													
							主桁	横桁	床版	部材名	変状の種類	部材名			変状の種類	部材名	変状の種類	部材名	変状の種類	主桁	横桁	床版	部材名			部材名	部材名	部材名														
																													変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類	変状の種類						
1	修那羅橋	坂井	30	Ⅱ	B	1	Ⅲ	腐食	I	-	Ⅲ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水・変状	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	袖擁壁	ひびわれ	-	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	舗装	Ⅰ	排水装置	Ⅰ	袖擁壁	-	-	
2	小滝沢1号橋	坂北	50	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	栗島1号橋	坂北	90	Ⅱ	B	1	Ⅲ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅰ	排水装置	-	-	
4	栗島2号橋	坂北	91	Ⅱ	B	1	Ⅲ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	I	-	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	袖擁壁	漏水・遊離石灰	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅰ	排水装置	Ⅱ	袖擁壁	
5	栗島3号橋	坂北	92	Ⅱ	B	1	Ⅲ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	袖擁壁	ひびわれ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅰ	排水装置	Ⅰ	袖擁壁	
						2	Ⅲ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	剝離・鉄筋露出	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	袖擁壁	漏水・遊離石灰	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅰ	排水装置	Ⅱ	袖擁壁	
6	落合橋(北)	坂北	101	Ⅱ	B	1	Ⅲ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅲ	腐食	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	伸縮装置	Ⅰ	排水装置	-	-	-	-	
						2	Ⅱ	腐食	Ⅱ	腐食	Ⅲ	腐食	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・変形	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	伸縮装置	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-
7	人数坂橋	本城	3	Ⅱ	C	1	I	-	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	I	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	I	排水装置	-	-	
8	中山橋	本城	4	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	I	-	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-		
9	坪川1号橋	本城	22	Ⅱ	C	1	Ⅲ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
10	田屋橋	本城	23	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・漏水	Ⅱ	支承部の機能障害	Ⅱ	排水装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	Ⅱ	排水装置	-	-	-	-	-		
						2	Ⅱ	ひびわれ	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承部の機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-		
						3	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	支承部の機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	-	-	-	-	-	-		
						4	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	I	-	Ⅱ	支承部の機能障害	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-
11	古井堂橋	本城	25	Ⅱ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅲ	地覆	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	舗装	Ⅱ	地覆	-	-	-	-	
12	細ヶ谷橋	本城	27	Ⅱ	B	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・ 腐食・欠損	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	I	伸縮装置	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	-	-	
13	会吉1号橋	本城	28	Ⅱ	B	1	Ⅱ	ひびわれ・ 剝離・鉄筋露出	-	-	-	-	Ⅲ	ひびわれ・洗掘	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-		
14	会吉2号橋	本城	29	Ⅱ	B	1	I	-	-	-	-	-	Ⅲ	洗掘	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	Ⅱ	I	I	伸縮装置	-	-	-	-	-		
15	立川3号橋	本城	32	Ⅲ	B	1	Ⅲ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	腐食・欠損	Ⅱ	伸縮装置	欠損	-	-	-	Ⅲ	-	-	I	I	Ⅱ	舗装	Ⅱ	排水装置	I	伸縮装置	-	-	
16	立川2号橋	本城	33	I	C	1	I	-	-	-	-	-	I	-	I	-	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-		
17	榎の木橋	本城	52	I	C	1	I	-	I	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	I	-	I	-	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり・腐食	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-		
						2	I	-	-	-	I	-	I	-	I	-	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	I	I	I	I	排水装置	-	-	-	-	-
						3	I	-	-	-	I	-	I	-	I	-	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	I	I	I	I	排水装置	-	-	-	-
18	観音橋	本城	58	Ⅱ	B	1	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	定着部の異常	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	I	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
						2	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅲ	定着部の異常	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ・ 剝離・鉄筋露出	Ⅱ	漏水・滞水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	-	-	-	-	-	-
						3	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	I	I	I	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	-
19	ブナキ沢橋	本城	64	Ⅱ	C	1	Ⅱ	剝離・鉄筋露出	-	-	-	-	I	-	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	護岸工	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	I	I	I	排水装置	I	護岸工	-	-	-	-	
20	唐前橋	本城	65	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	舗装	舗装の異常	Ⅱ	排水装置	欠損	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	伸縮装置	Ⅱ	舗装	I	排水装置	-	-	
21	富蔵沢3号橋	本城	68	Ⅱ	B	1	Ⅱ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ・ 剝離・鉄筋露出	Ⅱ	支承部の機能障害 ・漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-
22	富蔵沢2号橋	本城	69	Ⅱ	B	1	Ⅱ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-
23	富蔵沢1号橋	本城	70	Ⅱ	B	1	Ⅱ	腐食	I	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	袖擁壁	漏水・遊離石灰	-	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	Ⅱ	袖擁壁	-	-
24	堀の沢橋	本城	71	Ⅱ	C	1	Ⅲ	漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	老朽化・ 非排水機能低下	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	-	-	-	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	Ⅱ	伸縮装置	I	排水装置	-	-	-	-	
25	西沖橋	本城	72	I	C		Ⅱ	ひびわれ	-	-	-	-	Ⅱ	ひびわれ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I	-	-	I	-	-	-	-	-	-	-			
26	皿吊池際橋	本城	73	Ⅱ	C	1	Ⅱ	ひびわれ・ 漏水・遊離石灰	-	-	-	-	Ⅱ	漏水・遊離石灰	Ⅱ	漏水・滞水	Ⅱ	伸縮装置	欠損	Ⅱ	排水装置	土砂詰まり	Ⅱ	護岸工	漏水・遊離石灰	-	-	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	I	I	伸縮装置	I	排水装置	I	護岸工	-	-	

「R04道路メンテナンス事業 跨高速道路橋の点検業務」 報告書より

1. 健全性の評価

橋梁の健全性の評価として、橋梁毎及び部材毎の損傷程度と、健全性の評価結果を表としてまとめたものを、以下に示す。

※5年以内に対応可

橋梁名	路線名	橋長 (m)	全幅員 (m)	上部工形式	交差物件	架設年次	橋梁毎※		主 桁	横 桁	床 版	主 構 (桁)	主 構 (脚)	橋 台	橋 脚	支 承	落 橋 防 止	高 欄	防 護 柵	地 覆	中 央 分 離 帯	伸 縮 装 置	緑 石	舗 装	排水 ます	排水 管	点 検 施 設	添 架 物	そ の 他
							前回	今回																					
富蔵橋	村道観音堂線 支線1号線	31.750	5.000	PC単純中空床版橋	長野自動車道	1992	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	-	Ⅱ	-	-	Ⅱ	-	Ⅱ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	Ⅲ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-
山神橋	-	42.040	3.500	PC斜材付 π型ラーメン橋 (中空床版)	長野自動車道	1992	Ⅰ	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-
入道窪橋	村道 入道窪橋線	31.650	5.000	PC単純中空床版橋	長野自動車道	1992	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	-	Ⅰ	-	-	Ⅱ	-	Ⅱ	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅲ	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	
十二橋	村道十二橋線	46.440	3.500	PC斜材付 変形π型ラーメン橋 (中空床版)	長野自動車道	1992	Ⅰ	Ⅰ	-	-	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	-	-	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	-	Ⅰ	-	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	-	-	-

※橋梁毎の健全性の判定は、主要部材（太枠内）の最大判定区分とする。

健全性区分の凡例と解説		
区 分	状態	判 定 の 内 容
Ⅰ 健 全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。	Ⅰ 損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。 状況に応じて補修を行う必要がある。
Ⅱ 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。	Ⅱ 予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。 維持工事に対応する必要がある。
Ⅲ 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。	Ⅲ 橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
Ⅳ 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が高く、緊急に措置を講ずべき状態。	Ⅳ 橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。 その、他緊急対応の必要がある。
		解 説
		Ⅰ 監視や対策を行う必要のない状態をいう
		Ⅱ 状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう
		Ⅲ 早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう
		Ⅳ 緊急に対策を行う必要がある状態をいう

・ 3 順目橋梁点検予定一覧表（全橋）

: R06 (2024) ～ R09 (2027)

筑北村橋梁点検計画(第3順目 2024[R06]年度～2027[R09]年度)

年度	委託点検		委託点検 NEXCO)	合計
2024年度(R06年度)	坂井	64	0	68
	坂北	2	0	
	本城	2	0	
	合計	68	0	
2025年度(R07年度)	坂井	0	0	41
	坂北	23	0	
	本城	18	0	
	合計	41	0	
2026年度(R08年度)	坂井	5	0	54
	坂北	47	0	
	本城	2	0	
	合計	54	0	
2027年度(R09年度)	坂井	1	0	49
	坂北	7	3	
	本城	37	1	
	合計	45	4	
合計		208	4	212

2024年度(令和6年度) 筑北村 委託橋梁点検予定 一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	架設年次		経過 年数 (2023)	橋長	径間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路 種別	前回 点検	今回 点検	次回 点検
						西暦	和暦																
1	駒形橋	坂井	3	I	C	1966	昭和41	57	5.1	1	5.0	村道(2級) 駒形線	201	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
2	太野田西橋	坂井	4	II	C	1968	昭和43	55	3.9	1	5.1	村道(2級) 太の田西線	202	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
3	山崎線1号橋	坂井	5	II	C	1964	昭和39	59	5.5	1	4.0	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
4	山崎線2号橋	坂井	6	I	C	1971	昭和46	52	2.6	1	3.1	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
5	山崎線3号橋	坂井	7	II	C	1968	昭和43	55	4.0	1	2.5	村道(2級) 山崎線	203	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
6	長楽橋	坂井	8	II	B	1973	昭和48	50	22.4	1	4.0	村道(2級) 安坂中部線	206	村道 2級	鋼板桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
7	安坂中部線2号橋	坂井	9	I	C	1979	昭和54	44	4.8	1	4.9	村道(2級) 安坂中部線	206	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
8	漸々橋	坂井	10	II	B	1972	昭和47	51	18.0	1	4.8	村道(2級) 漸々線	207	村道 2級	鋼板桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
9	湯沢橋	坂井	11	II	C	1975	昭和50	48	8.0	1	4.0	村道(2級) 湯沢線	210	村道 2級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
10	松場永井中村線1号橋	坂井	12	II	C	1971	昭和46	52	2.5	1	5.5	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
11	松場永井中村線2号橋	坂井	13	II	C	1971	昭和46	52	6.5	1	5.0	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
12	松場永井中村線3号橋	坂井	14	II	C	1965	昭和40	58	4.5	1	6.1	村道(2級) 松場永井中村線	214	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
13	落合橋(井)	坂井	15	II	B	1972	昭和47	51	17.3	1	7.4	村道(2級) 杉崎山秋線	215	村道 2級	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
14	古司橋	坂井	16	II	C	2007	平成19	16	24.5	1	8.8	村道(2級) 古司線	217	村道 2級	PC合成床版橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
15	駒形線1号橋	坂井	17	I	C	2011	平成23	12	12.5	1	6.3	村道 駒形線	3010	村道 その他	RCスラブ(中空床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
16	幸来橋	坂井	18	II	C	1991	平成3	32	11.5	1	6.0	村道 氷室桂石線	3022	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
17	氷室桂石線1号橋	坂井	19	II	C	1970	昭和45	53	7.3	1	3.0	村道 氷室桂石線	3022	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
18	古司1号橋	坂井	20	II	C	1975	昭和50	48	6.0	1	9.4	村道(2級) 古司線	217	村道 2級	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2019	2024	2029
19	大平橋	坂井	21	III	B	1969	昭和44	54	6.3	1	3.0	村道 大平線	3027	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
20	松場玉根橋	坂井	22	II	B	1981	昭和56	42	7.7	1	3.0	村道 松場玉根線	3029	村道 その他	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
21	本沢橋	坂井	23	I	C	2000	平成12	23	6.8	1	2.9	村道 本沢線	3103	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台、河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
22	入山線1号橋	坂井	24	I	C	1965	昭和40	58	4.3	1	2.6	村道 入山線	3109	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
23	田中田線1号橋	坂井	25	I	C	1999	平成11	24	4.0	1	5.0	村道 田中田線	3111	村道 その他	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2019	2024	2029
24	田中田線2号橋	坂井	26	I	C	1999	平成11	24	12.4	1	5.0	村道 田中田線	3111	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
25	笹打線1号橋	坂井	27	II	C	1965	昭和40	58	8.2	1	3.7	村道 笹打線	3114	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
26	氷室橋	坂井	28	II	C	1970	昭和45	53	3.5	1	4.4	村道 氷室線	3118	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
27	うすぎ橋	坂井	29	II	C	1994	平成6	29	7.0	1	5.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
28	熊の川氷室橋	坂井	31	II	C	1966	昭和41	57	5.6	1	4.0	村道 熊の川氷室線	3119	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
29	横走線1号橋	坂井	32	III	B	1984	昭和59	39	11.4	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
30	横走線2号橋	坂井	33	III	B	1984	昭和59	39	11.5	1	3.6	村道 横走線	3122	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
31	横走線3号橋	坂井	34	II	C	1969	昭和44	54	4.0	1	3.3	村道 横走線	3122	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
32	細川橋	坂井	35	II	C	1977	昭和52	46	6.3	1	3.0	村道 細川線	3127	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
33	追沢橋	坂井	36	II	C	1964	昭和39	59	3.0	1	3.0	村道 追沢線	3137	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
34	牡丹山線1号橋	坂井	37	I	C	1970	昭和45	53	3.8	1	3.2	村道 牡丹山線	3142	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
35	根尾入橋	坂井	38	I	C	1979	昭和54	44	7.0	1	3.0	村道 根尾入線	3143	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
36	山秋橋	坂井	39	II	C	1978	昭和53	45	11.5	1	3.6	村道 山秋線	3144	村道 その他	鋼板桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
37	山秋海道橋	坂井	40	III	B	1987	昭和62	36	10.5	1	4.0	村道 山秋海道線	3145	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
38	堀海道橋	坂井	41	I	C	2000	平成12	23	13.0	1	5.6	村道 堀海道線	3146	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
39	須明橋	坂井	42	II	B	1967	昭和42	56	8.0	1	3.5	村道 須明線	3148	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
40	生金橋	坂井	43	I	C	2001	平成13	22	4.7	1	5.0	村道 生金線	3149	村道 その他	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2019	2024	2029
41	太野田熊の入橋	坂井	47	I	C	2010	平成22	13	7.3	1	3.0	村道 太野田熊の入線	3153	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
42	太野田西2号橋	坂井	48	II	C	1966	昭和41	57	3.4	1	3.3	村道 太野田西2号線	3154	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
43	寺入線1号橋	坂井	49	II	C	1962	昭和37	61	4.7	1	3.0	村道 寺入線	3155	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
44	寺入線2号橋	坂井	50	II	C	1971	昭和46	52	3.0	1	4.5	村道 寺入線	3155	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
45	小僧畑線2号橋	坂井	52	II	C	1972	昭和47	51	3.3	1	2.5	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
46	裏海道1号橋	坂井	53	III	B	1974	昭和49	49	7.0	1	3.1	村道 裏海道線	3157	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
47	裏海道2号橋	坂井	54	II	B	1974	昭和49	49	7.6	1	3.0	村道 裏海道線	3157	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
48	永井裏田橋	坂井	55	II	C	1971	昭和46	52	5.4	1	2.3	村道 永井裏田線	3158	村道 その他	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
49	矢の口線1号橋	坂井	56	II	B	1972	昭和47	51	5.0	1	3.6	村道 矢の口線	3161	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
50	矢の口線2号橋	坂井	57	II	C	1972	昭和47	51	5.1	1	4.0	村道 矢の口線	3161	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
51	矢の口線3号橋	坂井	58	I	C	1972	昭和47	51	4.8	1	2.4	村道 矢の口線	3161	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
52	向方形橋	坂井	59	III	A	1979	昭和54	44	11.5	1	3.3	村道 大久保線	3165	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
53	市之瀬橋	坂井	60	II	C	1970	昭和45	53	10.5	1	2.0	村道 市之瀬線	3166	村道 その他	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
54	松場中村橋	坂井	61	II	B	1966	昭和41	57	3.3	1	2.0	村道 松場中村線	3169	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
55	山崎橋	坂井	62	II	C	1988	昭和63	35	28.4	2	4.0	村道 下川原線	3178	村道 その他	RCスラブ(中空床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道	2019	2024	2029

筑北村 第3巡回橋梁点検予定一覧表 全橋(委託点検) [令和6年(2024年)度～令和9年(2027年)度]

56	宮下線1号橋	坂井	63	Ⅱ	B	1983	昭和58	40	15.0	1	3.2	村道 宮下線	3180	村道 その他	鋼飯桁橋	鋼橋	河川護岸, 重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
57	宮下線2号橋	坂井	64	Ⅱ	B	1972	昭和47	51	10.5	1	2.0	村道 宮下線	3180	村道 その他	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2019	2024	2029
58	杉崎玉根橋	坂井	65	I	C	1988	昭和63	35	7.4	1	5.0	村道 杉崎玉根線	3181	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
59	熊の川1号橋	坂井	66	I	C	1977	昭和52	46	6.4	1	4.0	村道 熊の川1号線	3191	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
60	氷室線1号橋	坂井	67	I	C	1978	昭和53	45	6.1	1	2.5	村道 氷室線	3118	村道 その他	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2019	2024	2029
61	氷室線2号橋	坂井	68	Ⅱ	B	1971	昭和46	52	4.0	1	1.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	鋼H桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
62	氷室線3号橋	坂井	69	Ⅱ	B	1961	昭和36	62	5.6	1	1.8	村道 氷室線	3118	村道 その他	合成床版橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
63	氷室線4号橋	坂井	70	Ⅱ	B	1961	昭和36	62	5.1	1	2.2	村道 氷室線	3118	村道 その他	合成床版橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
64	氷室線5号橋	坂井	71	Ⅱ	B	1961	昭和36	62	4.0	1	1.8	村道 氷室線	3118	村道 その他	合成床版橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道	2019	2024	2029
65	中ノ尾橋	坂北	31	Ⅱ	C	1969	昭和44	54	2.2	1	5.3	村道(2級) 中ノ尾線	208	村道 2級	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2019	2024	2029
66	北林1号橋	坂北	94	I	C	1988	昭和63	35	2.6	1	5.2	村道 北林1号線	3267	村道 その他	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2019	2024	2029
67	ヤサキ橋	本城	40	I	C	1965	昭和40	58	2.0	1	5.0	村道 田屋1号線	3028	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029
68	木合橋	本城	56	Ⅱ	C	1970	昭和45	53	3.1	1	4.0	村道 上手山線	3046	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2019	2024	2029

2025年度(令和7年度) 筑北村 委託橋梁点検予定 一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A 高～C 低)	架設年次		経過 年数	橋長	径間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路 種別	前回 点検	今回 点検	次回 点検
						西暦	和暦																
1	高辺橋	坂北	4	Ⅱ	C	1970	昭和45	53	19.3	1	7.5	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
2	川端橋	坂北	5	Ⅱ	C	1970	昭和45	53	20.5	1	7.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
3	中継橋	坂北	6	Ⅱ	C	1970	昭和45	53	16.7	1	7.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
4	沢口橋	坂北	9	I	C	1970	昭和45	53	7.8	1	4.5	村道(1級) 中川里山線	103	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
5	桂2号橋	坂北	15	Ⅱ	C	1971	昭和46	52	5.9	1	5.0	村道(1級) 桂線	106	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
6	みどり町北沢2号橋	坂北	21	Ⅱ	C	1982	昭和57	41	4.3	1	7.3	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
7	みどり町北沢1号橋	坂北	22	Ⅱ	C	1971	昭和46	52	4.5	1	4.4	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
8	日影1号橋	坂北	24	Ⅲ	A	1969	昭和44	54	8.4	1	4.5	村道(2級) 神明社線	201	村道 2級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
9	七ツ松橋	坂北	27	I	C	1997	平成9	26	23.8	1	7.5	村道(2級) 七ツ松線	203	村道 2級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
10	赤松1号橋	坂北	32	Ⅱ	B	1968	昭和43	55	7.6	1	4.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
11	寺沢橋	坂北	37	Ⅱ	C	1980	昭和55	43	15.1	2	3.0	村道 寺沢線	3008	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	無	一般道	2020	2025	2030
12	中村神明社橋	坂北	45	I	C	1987	昭和62	36	2.8	1	1.5	村道 中通線	3028	村道 その他	鋼角型桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
13	青柳町裏1号橋	坂北	46	Ⅱ	C	1991	平成3	32	5.9	1	3.5	村道 青柳町裏線	3032	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
14	青柳町裏2号橋	坂北	47	I	C	1989	平成1	34	6.0	1	3.5	村道 青柳町裏線	3032	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
15	上原橋	坂北	53	I	C	1974	昭和49	49	2.0	1	9.0	村道 六工線	3050	村道 その他	ボックスカルバート、RCスラブ(床版)橋	RC橋	ボックスカルバート、河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
16	大畑百瀬橋	坂北	55	Ⅱ	C	1981	昭和56	42	11.7	1	1.2	村道 大畑百瀬線	3059	村道 その他	鋼H桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道	2020	2025	2030
17	日影2号橋	坂北	57	Ⅲ	A	1971	昭和46	52	8.0	1	3.5	村道 刈谷沢日影線	3062	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
18	中通橋	坂北	59	I	C	1978	昭和53	45	4.9	1	4.4	村道 中通裏線	3074	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
19	入山2号橋	坂北	70	Ⅱ	C	1968	昭和43	55	11.4	2	3.0	村道 入山線	3149	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道	2020	2025	2030
20	中里3号橋	坂北	74	Ⅱ	C	1980	昭和55	43	12.5	1	2.5	村道 中里3号線	3161	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2020	2025	2030
21	六工橋	坂北	77	Ⅲ	B	1980	昭和55	43	25.5	4	2.9	村道 向六工北線	3169	村道 その他	鋼H桁橋	鋼橋	重力式橋台、杭式橋脚	その他	有	一般道	2020	2025	2030
22	小滝沢4号橋	坂北	96	Ⅱ	C	1972	昭和47	51	4.5	1	6.1	村道 旧差切トンネル線	3278	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
23	刈谷沢橋	坂北	98	I	C	1985	昭和60	38	8.5	1	4.0	村道 刈－2号線	3224	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
24	皿吊橋	本城	5	Ⅱ	C	1974	昭和49	49	4.5	1	4.1	村道(1級) 西条乱橋線	107	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
25	砥石沢橋	本城	7	I	C	1968	昭和43	55	3.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
26	川山1号橋	本城	8	I	C	1960	昭和35	63	7.7	1	3.7	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
27	川山2号橋	本城	9	Ⅱ	C	1971	昭和46	52	12.1	1	3.8	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
28	川山3号橋	本城	10	Ⅱ	C	1966	昭和41	57	3.3	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
29	白坂橋	本城	11	Ⅱ	C	1966	昭和41	57	3.3	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
30	中町西橋	本城	24	Ⅱ	C	1971	昭和46	52	7.6	1	4.0	村道(2級) 西村線	206	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2020	2025	2030
31	成田橋	本城	31	I	C	1976	昭和51	47	7.6	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
32	栃平橋	本城	34	Ⅱ	C	1962	昭和37	61	9.3	1	4.6	村道 立川本線	3012	村道 その他	RCT桁橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
33	中沢橋	本城	37	I	C	1972	昭和47	51	21.0	2	4.0	村道 竹の下線	3025	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道	2020	2025	2030
34	森下橋	本城	39	I	C	1965	昭和40	58	2.5	1	5.0	村道 田屋1号線	3028	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
35	秋葉橋	本城	43	Ⅱ	C	1988	昭和63	35	9.4	1	3.0	村道 秋葉線	3042	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
36	窪田橋	本城	44	I	C	2001	平成13	22	15.3	1	5.0	村道 皿吊線	3043	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
37	由折沢橋	本城	47	I	C	1969	昭和44	54	3.9	1	3.1	村道 北原線	3051	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030
38	西条大橋	本城	59	Ⅱ	C	1957	昭和32	66	21.1	2	6.2	村道 西条聖南線	3111	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道	2020	2025	2030
39	花川原1号橋	本城	60	Ⅱ	C	1965	昭和40	58	2.5	1	6.5	村道 花川原線	3112	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2020	2025	2030
40	倉鹿沢橋	本城	66	Ⅱ	C	1992	平成4	31	13.0	1	9.3	村道 滝上線	3138	村道 その他	RCT桁橋、RCスラブ(床版)橋、PCスラブ橋	RC橋・PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2020	2025	2030
41	坪川2号橋	本城	74	I	C	1999	平成11	24	13.0	1	9.2	村道(2級) 坪川線	203	村道 2級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2020	2025	2030

2026年度(令和8年度) 筑北村 委託橋梁点検予定 一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A+ 高～ C-低)	架設年次		経過 年数	橋長	径間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路 種別	前回 点検	今回 点検	次回 点検
						西暦	和暦	(2023)															
1	牡丹山線2号橋	坂井	1	I	C	1970	昭和45	53	2.2	1	2.1	村道 牡丹山線	3142	村道 その他	木橋	木橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
2	飯米場橋	坂井	44	I	C	1960	昭和35	63	5.3	1	2.5	村道 飯米場線	3150	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
3	太野田中線1号橋	坂井	45	II	C	1968	昭和43	55	4.0	1	2.5	村道 太野田中線	3151	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
4	太野田中線2号橋	坂井	46	I	C	1973	昭和48	50	4.0	1	3.0	村道 太野田中線	3151	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
5	小僧畑線1号橋	坂井	51	III	B	1970	昭和45	53	3.0	1	5.0	村道 小僧畑線	3156	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
6	須田橋	坂北	1	III	B	1973	昭和48	50	30.0	1	4.5	村道 須田橋線	3265	村道 その他	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
7	町1号橋	坂北	2	II	C	1974	昭和49	49	22.0	1	7.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
8	町2号橋	坂北	3	II	C	2008	平成20	15	24.2	1	6.2	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
9	金堀橋	坂北	7	II	C	1980	昭和55	43	14.9	1	4.5	村道 別所小仁熊ダム線	3263	村道 その他	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
10	中里川山1号橋	坂北	10	I	C	1982	昭和57	41	9.0	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
11	中里川山2号橋	坂北	11	I	C	1983	昭和58	40	13.0	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
12	中里川山3号橋	坂北	12	III	A	1978	昭和53	45	14.9	1	4.0	村道(1級) 中里川山線	103	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
13	桂1号橋	坂北	14	I	C	1988	昭和63	35	4.2	1	5.9	村道(1級) 桂線	106	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
14	新六工橋	坂北	18	III	B	1973	昭和48	50	28.4	1	8.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	鋼钣桁橋、PCT橋	鋼・PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
15	宇洞坂橋	坂北	19	III	B	1977	昭和52	46	28.1	1	4.5	村道(1級) 向原線	107	村道 1級	PCT桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
16	東部1号橋	坂北	25	I	C	1977	昭和52	46	3.9	1	5.7	村道(2級) 東部線	202	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
17	中島橋(北)	坂北	28	II	B	1979	昭和54	44	28.8	1	4.0	村道(2級) 中島線	205	村道 2級	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
18	菖蒲田橋	坂北	30	II	B	1974	昭和49	49	27.0	1	4.0	村道(2級) 菖蒲田線	207	村道 2級	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
19	赤松2号橋	坂北	33	III	B	1975	昭和50	48	29.0	2	3.0	村道(2級) 赤松線	209	村道 2級	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道	2021	2026	2031
20	山寺橋	坂北	34	I	C	1975	昭和50	48	5.6	1	3.8	村道(2級) 山寺線	211	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
21	中込橋	坂北	35	II	C	1978	昭和53	45	40.6	2	3.0	村道 中込1号線	3005	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道	2021	2026	2031
22	南沢橋	坂北	36	III	B	1979	昭和54	44	13.0	1	1.8	村道 南沢線	3007	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
23	菖蒲沢1号橋	坂北	38	III	B	1972	昭和47	51	7.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
24	菖蒲沢2号橋	坂北	39	I	C	1972	昭和47	51	4.0	1	3.5	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
25	御子安橋	坂北	40	I	C	2021	令和03	2	31.0	1	2.5	村道 御子安線	3012	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
26	刈一1号橋	坂北	41	I	C	2000	平成12	23	8.0	1	5.0	村道 刈一線	3025	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
27	刈一2号橋	坂北	42	II	C	1971	昭和46	52	5.0	1	2.7	村道 刈一線	3025	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
28	沢田橋	坂北	44	I	C	1973	昭和48	50	3.3	1	3.1	村道 長上南線	3027	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
29	末地入川1号橋	坂北	49	I	C	1967	昭和42	56	2.2	1	1.6	村道 末地入川線	3037	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
30	小滝沢2号橋	坂北	51	II	B	1984	昭和59	39	16.0	1	4.0	村道 小滝線	3039	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
31	深持橋	坂北	54	III	B	1964	昭和39	59	4.9	1	2.0	村道 深持線	3052	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2021	2026	2031
32	ライスセンター横橋	坂北	56	II	B	1968	昭和43	55	4.2	1	5.5	村道 鳥居線	3061	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
33	風呂屋橋	坂北	63	I	C	1978	昭和53	45	9.5	1	4.0	村道 風呂屋線	3087	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
34	原橋	坂北	64	II	B	1971	昭和46	52	4.8	1	3.0	村道 糺屋矢花線	3090	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
35	東山池橋	坂北	65	I	C	1974	昭和49	49	4.9	1	4.0	村道 東山池線	3095	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	U型水路	その他	無	一般道	2021	2026	2031
36	宇洞坂県住橋	坂北	67	II	C	1975	昭和50	48	6.5	1	5.6	村道 宇洞坂県住線	3102	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
37	入山1号橋	坂北	69	III	A	1968	昭和43	55	11.8	2	3.0	筑北村道 入山線	3149	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道	2021	2026	2031
38	堀切橋	坂北	72	II	C	1986	昭和61	37	15.7	2	2.6	村道 堀切線	3154	村道 その他	PCI桁橋、RCスラブ(床版)橋	PC橋	河川護岸、壁式橋脚	その他	有	一般道	2021	2026	2031
39	鬼熊徳橋	坂北	73	III	B	1980	昭和55	43	16.5	1	2.5	村道 中里4号線	3158	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	河川護岸	その他	無	一般道	2021	2026	2031
40	日向橋	坂北	78	III	B	1972	昭和47	51	40.1	2	5.0	村道 日向菖蒲田線	3170	村道 その他	PCI桁橋、PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台、T型橋脚	その他	有	一般道	2021	2026	2031
41	洪田橋	坂北	79	I	C	1972	昭和47	51	3.4	1	5.0	村道 洪田長畑農構1号線	3194	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
42	大側橋	坂北	80	III	B	1977	昭和52	46	5.6	1	3.5	村道 大側線	3208	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
43	菖蒲沢3号橋	坂北	82	II	B	1970	昭和45	53	4.9	1	3.4	村道 菖蒲沢線	3009	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2021	2026	2031
44	明久橋	坂北	83	II	C	1981	昭和56	42	2.0	1	4.2	村道 明久線	3010	村道 その他	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2021	2026	2031
45	長畑橋	坂北	85	II	B	1978	昭和53	45	5.6	1	8.5	村道 長畑聖南中学線	3231	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
46	スポーツ橋	坂北	86	II	B	1989	平成1	34	27.4	1	4.0	村道 宇洞坂2号線	3232	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
47	横吹橋	坂北	87	II	C	1992	平成4	31	30.8	1	3.0	村道 横吹橋線	3249	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
48	飯綱山橋	坂北	88	II	B	1977	昭和52	46	8.4	1	3.0	村道 飯綱山線	3086	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
49	中里橋	坂北	89	I	C	1998	平成10	25	21.0	1	8.1	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
50	新須田橋	坂北	93	II	C	2000	平成12	23	30.7	1	7.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
51	宇洞坂線1号橋	坂北	95	I	C	1985	昭和60	38	2.6	1	8.0	村道(2級) 宇洞坂線	206	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	U型水路	その他	有	一般道	2021	2026	2031
52	久保田川橋	坂北	97	I	C	2004	平成16	19	9.1	1	2.5	村道 ライスセンター裏線	3279	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031
53	本町橋	本城	6	II	B	1972	昭和47	51	3.6	1	4.6	村道(1級) 西条乱橋線	107	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2021	2026	2031
54	中町橋	本城	26	II	B	1968	昭和43	55	8.0	1	3.6	村道(2級) 乱橋立峠線	209	村道 2級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2021	2026	2031

2027年度(令和9年度) 筑北村 委託橋梁点検予定 一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A+ 高～ C-低)	架設年次		経過 年数 (2023)	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路 種別	前回 点検	今回 点検	次回 点検
						西暦	和暦																
1	修那羅橋	坂井	30	Ⅱ	B	1994	平成6	29	20.0	1	5.0	村道 氷室線	3118	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道	2022	2027	2032
2	駅前橋	坂北	23	Ⅱ	B	1974	昭和49	49	3.8	1	3.5	村道(1級) みどり町北沢線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	水路側壁	その他	有	一般道	2022	2027	2032
3	横道橋	坂北	43	Ⅱ	C	1972	昭和47	51	7.0	1	3.0	村道 粧屋線	3026	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
4	小滝沢1号橋	坂北	50	Ⅱ	C	1983	昭和58	40	3.2	1	10.8	村道 小滝線	3039	村道 その他	ボックスカルバート	PC橋	ボックスカルバート	その他	無	一般道	2022	2027	2032
5	粟島1号橋	坂北	90	Ⅱ	B	1994	平成6	29	23.2	1	6.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
6	粟島2号橋	坂北	91	Ⅱ	B	1994	平成6	29	33.0	1	6.0	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
7	粟島3号橋	坂北	92	Ⅱ	B	1994	平成6	29	70.0	2	5.1	村道(1級) 別所線	102	村道 1級	鋼钣桁V脚ラーメン橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
8	落合橋(北)	坂北	101	Ⅱ	B	不明	不明	不明	30.6	2	2.5	村道 南沢線	3007	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道	2022	2027	2032
9	人数坂橋	本城	3	Ⅱ	C	1998	平成10	25	15.1	1	5.6	村道 西条小仁熊線	104	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
10	中山橋	本城	4	Ⅱ	C	1997	平成9	26	15.2	1	5.0	村道(1級) 平林線	105	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
11	川山4号橋	本城	12	Ⅱ	B	1969	昭和44	54	6.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
12	川山5号橋	本城	13	Ⅲ	A	1972	昭和47	51	10.8	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
13	川山6号橋	本城	14	Ⅱ	B	1974	昭和49	49	13.2	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
14	川山7号橋	本城	15	Ⅲ	B	1976	昭和51	47	12.0	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
15	川山8号橋	本城	16	Ⅲ	B	1976	昭和51	47	11.5	1	4.1	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
16	川山9号橋	本城	17	Ⅲ	B	1978	昭和53	45	12.5	1	4.3	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
17	川山10号橋	本城	18	Ⅲ	B	1978	昭和53	45	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
18	川山11号橋	本城	19	Ⅱ	B	1978	昭和53	45	13.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
19	川山12号橋	本城	20	Ⅱ	B	1978	昭和53	45	12.5	1	4.0	村道(1級) 川山線	108	村道 1級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
20	坪川1号橋	本城	22	Ⅱ	C	1997	平成9	26	25.0	1	5.0	村道(2級) 坪川線	203	村道 2級	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	無	一般道	2022	2027	2032
21	田屋橋	本城	23	Ⅱ	C	1980	昭和55	43	21.7	4	3.0	村道(2級) 西条田屋線	204	村道 2級	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸、杭式橋脚	その他	有	一般道	2022	2027	2032
22	古井堂橋	本城	25	Ⅱ	B	1983	昭和58	40	10.4	1	4.0	村道(2級) 西村線	206	村道 2級	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
23	細ヶ谷橋	本城	27	Ⅱ	B	1983	昭和58	40	13.0	1	4.0	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2022	2027	2032
24	会吉1号橋	本城	28	Ⅱ	B	1976	昭和51	47	5.7	1	4.3	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2022	2027	2032
25	会吉2号橋	本城	29	Ⅱ	B	1976	昭和51	47	5.5	1	4.2	村道 大沢会吉線	3007	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2022	2027	2032
26	立川1号橋	本城	30	Ⅱ	B	1976	昭和51	47	14.1	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
27	立川3号橋	本城	32	Ⅲ	B	1982	昭和57	41	15.3	1	4.0	村道 立川線	3010	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
28	立川2号橋	本城	33	I	C	1980	昭和55	43	15.2	1	4.0	村道 立川線支線1号線	3011	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
29	草塩橋	本城	38	Ⅱ	B	1965	昭和40	58	2.0	1	2.9	村道 田屋草塩線	3027	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	無	一般道	2022	2027	2032
30	草塩2号橋	本城	41	Ⅱ	C	1964	昭和39	59	2.5	1	4.0	村道 田屋2号線	3029	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
31	八木1号橋	本城	42	Ⅱ	C	1969	昭和44	54	5.2	1	3.0	村道 八木西線	3031	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2022	2027	2032
32	川山橋	本城	48	Ⅱ	C	1977	昭和52	46	12.7	1	2.0	村道 小仁熊伊切線	3053	村道 その他	PCI桁橋	PC橋	河川護岸	その他	有	一般道	2022	2027	2032
33	くご平橋	本城	51	Ⅱ	C	1975	昭和50	48	13.5	1	2.6	村道 くご平線	3071	村道 その他	PCI桁橋	PC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
34	楡の木橋	本城	52	I	C	1968	昭和43	55	14.0	3	2.8	村道 楡の木線	3072	村道 その他	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台、壁式橋脚	その他	無	一般道	2022	2027	2032
35	中島橋(本)	本城	55	Ⅲ	B	1970	昭和45	53	4.5	1	3.1	村道 中島線	3087	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
36	観音橋	本城	58	Ⅱ	B	2001	平成13	22	89.8	3	4.0	村道 観音堂線支線1号線	3117	村道 その他	PCT桁橋	PC橋	逆T式橋台、壁式橋脚	その他	有	一般道	2022	2027	2032
37	長野道側道1号橋	本城	62	I	C	1979	昭和54	44	8.1	1	4.0	村道 長野自動車道側道1号線	3118	村道 その他	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	無	一般道	2022	2027	2032
38	ブナキ沢橋	本城	64	Ⅱ	C	1982	昭和57	41	7.0	1	4.1	村道 戸川東沢線	3125	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	無	一般道	2022	2027	2032
39	唐前橋	本城	65	Ⅱ	C	1998	平成10	25	26.7	1	6.0	村道 唐前田屋線	3131	村道 その他	PCスラブ(中空床版)橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
40	富蔵沢3号橋	本城	68	Ⅱ	B	2000	平成12	23	28.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
41	富蔵沢2号橋	本城	69	Ⅱ	B	1999	平成11	24	32.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	鋼钣桁橋	鋼橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
42	富蔵沢1号橋	本城	70	Ⅱ	B	1999	平成11	24	44.0	1	5.0	村道(1級) 西条別所線	103	村道 1級	鋼钣桁橋	鋼橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
43	堀の沢橋	本城	71	Ⅱ	C	2004	平成16	19	15.1	1	4.0	村道 番場線	3147	村道 その他	PCスラブ橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032
44	西沖橋	本城	72	I	C	2016	平成28	7	6.5	1	5.7	村道 乱橋町裏線	3153	村道 その他	ボックスカルバート	RC橋	ボックスカルバート	その他	有	一般道	2022	2027	2032
45	皿吊池際橋	本城	73	Ⅱ	C	1974	昭和49	49	10.2	1	3.0	村道 皿吊池際線	3154	村道 その他	RCスラブ(床版)橋	RC橋	重力式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032

2022年度(平成34年度) 筑北村 委託橋梁点検(NEXCO)予定 一覧表

番号	橋梁名	地区	橋梁 番号	道路橋 毎の健 全性の 診断	優先 度(A+ 高～ C-低)	架設年次		経過 年数	橋長	径 間 数	幅員	路線名	路線 コード	道路種別	上部工構造形式	上部工 材料	下部工	緊急輸 送道路	代替 路の有無	道路 種別	前回 点検	今回 点検	次回 点検
						西暦	和暦																
1	入道窪橋	坂北	99	Ⅱ		1992	平成4	31	31.6	1	4.0	村道 入道窪橋線	3281	村道 その他	PC単純中空床版橋	PC橋	逆T式橋台				2022	2027	2032
2	十二橋	坂北	100	I		1992	平成4	31	46.4	3	2.5	村道 十二橋線	3283	村道 その他	PC斜材付き変形π型ラーメン橋(中空床版)	PC橋	逆T式橋台				2022	2027	2032
3	山神橋	坂北	101	I		1992	平成4	31	42.0	3	2.5				PC斜材付き変形π型ラーメン橋(中空床版)	PC橋	逆T式橋台				2022	2027	2032
4	富蔵橋	本城	61	Ⅱ		1992	平成4	31	31.8	1	4.0	村道 観音堂線支線1号線	3117	村道 その他	PC単純中空床版橋	PC橋	逆T式橋台	その他	有	一般道	2022	2027	2032

・「長野県道路橋定期点検要領」

(令和元年 1 0 月：長野県建設部道路管理課)

長野県
道路橋定期点検要領

令和元年 10 月
長野県 建設部 道路管理課

目 次

1. 適用範囲 1

2. 定期点検の頻度 2

3. 定期点検の体制 2

4. 状態の把握 3

5. 健全性の診断 4

6. 記録 8

7. 措置 9

別紙 1 用語の説明 10

別紙 2 橋梁定期点検手順 11

別紙 3 点検項目（変状の種類）の標準（判定の単位） 12

別紙 4 部材番号図の作成 14

別紙 5 損傷図の作成 30

別紙 6 点検表記録様式 31

付録 1：橋梁点検シートの判断基準

付録 2：補修・補強工法事例

1. 適用範囲

本要領は、道路法（昭和 27 年法律第 180 号）第 2 条第 1 項に規定する道路における橋長 2.0m 以上の橋、高架の道路等（以下「道路橋」という）の定期点検に適用する。

【法令運用上の留意事項】

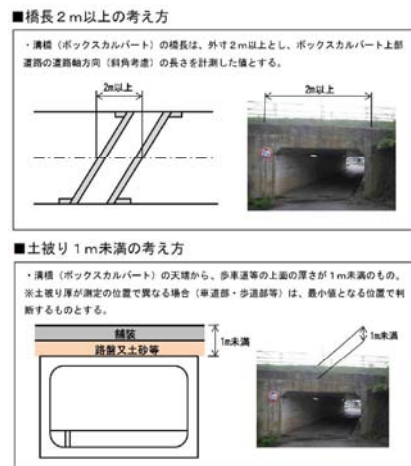
本要領は、「道路橋」に対して省令及び告示（以下、「法令」という）に従う定期点検を行うにあたって、参考となる技術情報を主にとりまとめたものである。法令の要点を示した上で、各部材の状態の把握と措置の必要性の検討を適切に行い、また、将来の維持管理に有益となる記録を効率的・効果的に残すために留意することをまとめている。

道路統計年報では、道路の施設として橋長 2.0m 以上の橋を道路橋として分類していることからこの要領の適用の範囲もこれに併せている。また、道路本体として、何らかの障害物等を跨ぎ、活荷重を支持する構造体は、この要領でいうところの橋として扱うこととする。なお、橋長 2.0m 未満の橋であっても道路の安全や第三者被害に懸念を与える劣化や損傷が生じることがあることに留意が必要である。

なお、法令を満足する定期点検を行うにあたっての技術的留意事項や考え方については、「道路橋定期点検要領」（平成 31 年 2 月 国土交通省 道路局）の付録を参考にすることができる。

道路の下を横断する道路や水路等の空間を確保するために盛土あるいは地盤内に設けられる構造物で、橋長 2.0m 以上かつ土被り 1m 未満の溝橋（ボックスカルバート）は道路橋として取り扱う。

【溝橋（ボックスカルバート）の概要】



2. 定期点検の頻度

定期点検は、5 年に 1 回の頻度で実施することを基本とする。

【法令運用上の留意事項】

定期点検では、次の定期点検までの期間に想定される道路橋の状態の変化も考慮して健全性の診断を行うことになる。

道路橋の架設状況と状態によっては 5 年より短い間隔でも状態が変化したり危険な状態になる場合も想定される。法令は、5 年以内に定期点検することを妨げるものではない。

また、法令に規定されるとおり、施設の機能を良好に保つため、定期点検に加え、日常的な施設の状態の把握や、事故や災害等による施設の変状の把握等については適宜実施するものとする。

3. 定期点検の体制

道路橋の定期点検を適正に行うために必要な知識及び技能を有する者がこれを行う。

【法令運用上の留意事項】

道路橋は、様々な材料や構造が用いられ、また、様々な地盤条件、交通及びその他周辺条件におかれること、また、これらによって、変状が道路橋に与える影響、変状の原因や進行も異なることから、道路橋の状態と措置の必要性の関係を定型化し難い。また、記録に残す情報なども、想定される活用方法に応じて適宜取捨選択する必要がある。そこで、法令に規定されるとおり、必要な知識と技能を有する者（以下、定期点検を行う者という）が道路橋の定期点検を行うこととする。

当面は以下のいずれかの要件に該当する者が行うこととする。

- ・道路橋に関する相応の資格または相当の実務経験を有すること
- ・道路橋の設計、施工、管理に関する相当の専門知識を有すること
- ・道路橋の点検に関する相当の技術と実務経験を有すること

【補足】

長野県においては、管理者協議が不要で、高所作業車や橋梁点検車等を必要とせず梯子による点検が可能な道路橋も多数存在する。このような比較的容易に点検可能な小規模橋梁については、県土木技術職員が定期点検を行うことも可能である。

※小規模橋梁とは、例えば以下の条件を満たす道路橋などが挙げられる。

- ・橋長が 10m 未満、径間数が 1 径間、上部工材料種別が RC 橋・PC 橋などのコンクリート橋、溝橋（ボックスカルバート）、構造が単純な橋梁
- ・関係機関協議が不要：道路又は鉄道と交差していない橋梁
- ・梯子の利用により近接目視が可能：河川と交差していない橋梁

4. 状態の把握

健全性の診断の根拠となる状態の把握は、近接目視により行うことを基本とする。

【法令運用上の留意事項】

定期点検を行う者は、健全性の診断の根拠となる道路橋の現在の状態を、近接目視により把握するか、または、自らの近接目視によるときと同等の健全性の診断を行うことができる情報が得られると判断した方法により把握しなければならない。

道路橋の健全性の診断を適切に行うために、法令では、定期点検を行う者が、道路橋の外観性状を十分に把握できる距離まで近接し、目視することが基本とされている。これに限らず、道路橋の健全性の診断を適切に行うために、または、定期点検の目的に照らして必要があれば、打音や触診等の手段を併用することが求められる。

一方で、健全性の診断のために必要とされる近接の程度や打音や触診などのその他の方法を併用する必要性については、構造物の特性、周辺部材の状態、想定される変状の要因や現象、環境条件、周辺条件などによっても異なる。したがって、一概にこれを定めることはできず、定期点検を行う者が橋毎に判断することとなる。

5. 健全性の診断

定期点検では、部材単位の健全性の診断と道路橋毎の健全性の診断を行う。

(1) 部材単位の健全性の診断

(判定区分)

部材単位の健全性の診断は、表 5.1 の判定区分により行うことを基本とする。

表 5.1 判定区分

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態。

【補足】

点検時に、うき・はく離や腐食片・塗膜片等があった場合は、道路利用者及び第三者被害予防の観点から応急的に措置を実施した上で上記 I ～IV の判定を行うこととする。

調査を行わなければ、I ～IV の判定が適切に行えない状態と判断された場合には、その旨を記録するとともに、速やかに調査を行い、その結果を踏まえて I ～IV の判定を行うこととなる。（その場合、記録表には、要調査の旨を記録しておくこと。）

判定区分の I ～IV に分類する場合の措置の基本的な考え方は以下のとおりとする。

- I：監視や対策を行う必要のない状態をいう
- II：状況に応じて、監視や対策を行うことが望ましい状態をいう
- III：早期に監視や対策を行う必要がある状態をいう
- IV：緊急に対策を行う必要がある状態をいう

溝橋（ボックスカルバート）のうち、内空において人が侵入する恐れを通常考慮する必要がなく、内空側へのコンクリート片の剥落等による第三者被害防止の観点からについては措置が不要とできるのは以下のとおりとする。

- ・鉄筋コンクリートからなる剛体ボックス構造で、かつ、ボックス構造内に支承や継手がなく、かつ、全面が土に囲われているという構造の特性を有する。
- ・第三者がその内空に入る恐れがないとみなせる供用環境を有する

(供用の条件例)

- ・内空が水路等に活用されているなど、人が侵入する恐れが極めて小さい状況である。
- ・立入防止柵やゲート等により、内空への立ち入りが物理的に規制されている状況である。

（判定の単位）

部材単位の健全性の診断は、少なくとも表 5.2 に示す評価単位毎に区別して行う。

表 5.2 判定の評価単位の標準

部位	部材
路面・路上	舗装
	伸縮装置
	高欄・防護柵
	地覆・中央分離帯
	排水装置
上部構造	主桁
	横桁
	縦桁
	床版
	対傾構
	横構
	P C 定着部
下部構造	橋脚
	橋台
	基礎
支承部	支承本体
	沓座モルタル
その他	補修・補強材
	落橋防止装置
	遮音施設
	照明、標識装置
	点検施設
	添架物
	袖擁壁

【補足】

道路橋は機能や役割の異なる多くの部材が複雑に組み合わせられた構造体であり、部材の変状や機能障害が道路橋全体の性能に及ぼす影響は、橋梁形式等によって大きく異なる。また、一般的には補修・補強等の措置は必要な機能や耐久性を回復するために部材単位で行われるため、健全性の診断を部材単位で行うこととした。（別紙3 点検項目（変状の種類）の標準（判定の単位）参照）

なお、表 5.2 に示す部材が複数ある場合、それぞれの部材について橋全体への影響を考慮して「表 5.1 判定区分」に従って判定を行う。

表 5.2 でその他に分類される部材について、直轄国道において適用される「橋梁定期点検要領」（平成 31 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課）、また、附属物については、「附属物（標識、照明施設等）点検要領」（平成 31 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課）を参考にすることができる。

（変状の種類）

部材単位の健全性の診断は、少なくとも表 5.3 に示す変状の種類毎に行う。

表 5.3 変状の種類の標準

材料の種類	変状の種類
鋼部材	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断、その他
コンクリート部材	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、抜け落ち、床版ひびわれ、うき、その他
その他	遊間の異常、路面の凹凸、舗装の異常、支承部の機能障害、その他
共通	補修、補強材の損傷、定着部の異常、漏水・滞水、異常な音・振動、異常なたわみ、変形・欠損、土砂詰まり、沈下・移動・傾斜、洗掘

【補足】

定期点検の結果を受けて実施する措置の内容は、原因や特性の違う変状の種類に応じて異なってくるのが一般的である。同じ部材に複数の変状がある場合には、それぞれの変状の種類毎に判定を行う。（別紙3 点検項目（変状の種類）の標準（判定の単位）参照）

なお、その他や共通の変状について、直轄国道において適用される「橋梁定期点検要領」（平成 31 年 3 月 国土交通省道路局国道・技術課）を参考にすることができる。

(2) 道路橋毎の健全性の診断

道路橋毎の健全性の診断は表 5.4 の判定区分により行うことを基本とする。

表 5.4 判定区分

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く緊急に措置を講ずべき状態。

【法令運用上の留意事項】

定期点検を行う者が、道路橋の健全性の診断の一連として、道路橋の状態の把握と次回定期点検までの間の措置の必要性について総合的な診断を行う。そして、診断の内容を、法令で求められる 4 つの区分に分類する。

「道路橋毎の健全性の診断」の単位は以下を基本とする。

(「道路施設現況調査要項(国土交通省道路局企画課)」を参考にすることができる。)

①道路橋種別毎に 1 橋単位とする。

②道路橋が 1 箇所において上下線等分離している場合は、分離している道路橋毎に 1 橋として取り扱う。

③行政境界に架設されている場合で、当該道路橋の道路管理者が行政境界で各々異なる場合も管理者毎ではなく、1 つの道路橋として 1 橋と取り扱う（高架橋も同じ）。

道路橋毎の健全性の診断にあたっては、以下の点に注意する。

- ・部材等の変状が道路橋全体の健全性に及ぼす影響は、構造特性、変状の原因並びに変状の進行性、架橋条件などによっても異なること。
- ・複数の部材の複数の変状を総合的に評価するのがよいこと。
- ・健全性の診断では、変状の原因の推定に努め、措置の範囲や方法の検討に必要な所見を残すとよいこと。一方で、この健全性の診断は、定期点検で得られた範囲の情報に基づく対策の必要性に関する所見であり、具体的な措置方法について検討することはこの要領の定期点検の範囲では想定していないこと。（「7. 措置」を参照のこと）

【補足】

部材単位で健全性の診断を行っているとき、橋の健全性の診断において、構造物の安全性や定期点検の目的に照らして橋の性能に直接的に影響を与える部材（以下、主要な部材という）に着目して、最も厳しい健全性の診断結果で代表することもできる。ただし、それが橋の健全性の区分として代表し得るものかどうかを適切に判断する必要がある。主要な部材になり得る部材として主桁、横桁、床版、下部構造、支承などが例としてあげられるが、たとえば、支承については、橋の性能に与える影響は、橋や支承の構造、支承に期待する機能によっても異なる。その他の部材についても、たとえばそれに含まれる周辺地盤の安定が大きく橋の安定に影響を及ぼすこともある。したがって、定期点検を行う者が橋毎に主要な部材を判断することになり、画一的に部材種別を当てはめないことが必要である。

6. 記録

定期点検の結果を記録し、当該道路橋が利用されている期間中は、これを保存する。

【法令運用上の留意事項】

定期点検の結果は、維持・修繕等の計画を立案する上で参考とする基礎的な情報であり、適切な方法で記録し、蓄積しておかなければならない。

なお、維持管理に係わる法令（道路法施行規則第 4 条の 5 の 6）に規定されているとおり、措置を講じたときはその内容を記録しなければならない。措置の結果も、維持・修繕等の計画を立案する上で参考となる基礎的な情報であり、措置の内容や結果も適切な方法で記録し、蓄積しておかなければならない。

（別紙 4 部材番号図の作成、別紙 5 損傷図の作成、別紙 6 点検表記録様式 参照）

7. 措置

道路の効果的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を講ずる。

【法令運用上の留意事項】

措置には、補修や補強などの道路橋の機能や耐久性等を維持又は回復するための対策のほか、撤去、定期的あるいは常時の監視、緊急に措置を講じることができない場合などの対応として、通行規制・通行止めがある。

措置にあたっては、最適な方法を道路橋の道路管理者が総合的に検討する。定期点検は近接目視を基本とした限定された情報で健全性の診断を行っていることに留意が必要である。たとえば、対策方法の検討のために追加で実施した調査の結果を踏まえれば、橋の措置方針が変わることも想定される。その場合には、橋の健全性の診断区分も適切に見直すことができる。

監視は、対策を実施するまでの期間、その適切性を確認した上で、変状の挙動を追跡的に把握し、以て道路橋の管理に反映するために行われるものであり、これも措置の一つであると位置づけられる。たとえば道路橋の機能や耐久性を維持するなどの対策と監視を組み合わせることで措置を行うことも考えられ、監視を行うときも道路管理者は適切な措置となるように検討する必要がある。

主な対策の例

変状の種類	措置（例）
腐食 亀裂 破断 その他	グラインダー処理 ストップホール 溶接板補強 等
ひびわれ 床版ひびわれ その他	ひび割れ補修工法 断面修復工法 鋼板接着工法 床版増厚工法 等

※上記は例であり、実際の対策に際しては状況に応じて適切な措置を行うこと。

- 本点検要領の著作権は長野県が有しています。「私的使用のための複製」や「引用」など、著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。
- 長野県内の市町村が本点検要領を利用することを承認します。

別紙 1 用語の説明

(1) 定期点検

定期点検は、定期点検を行う者が、近接目視を基本として状態の把握（点検※1）を行い、かつ、道路橋毎での健全性※2を診断することの一連を言い、予め定める頻度で、道路橋の最新の状態を把握するとともに、次回の定期点検までの措置の必要性の判断を行う上で必要な情報を得るために行うものである。

※1 点検

道路橋の変状、道路橋にある附属物の変状や取付状態の異常について近接目視を基本として状態の把握を行うことをいう。必要に応じて実施する、近接目視に加えた打音、触診、その他の非破壊検査等による状態の把握や、応急措置※3を含む。

※2 健全性の診断

次回定期点検までの措置の必要性についての所見を示す。また、点検または調査結果により把握された変状・異常の程度を判定区分に応じて分類し、定期点検では、部材単位の健全性の診断と、道路橋毎の健全性の診断を行うことをいう。

※3 応急措置

道路橋の状態の把握を行うときに、第三者被害の可能性のあるうき・剥離部や腐食片などを除去したり、附属物の取付状態の改善等を行うことをいう。

(2) 措置

定期点検結果や必要に応じて措置の検討のために追加で実施する各種の調査結果に基づいて、道路管理者が、道路橋の機能や耐久性等の維持や回復を目的に、監視、対策を行うことをいう。具体的には、定期的あるいは常時の監視、対策（補修・補強）、撤去などが例として挙げられる。また、緊急に対策を講じることができない場合などの対応として、通行規制・通行止めなどがある。

(3) 監視

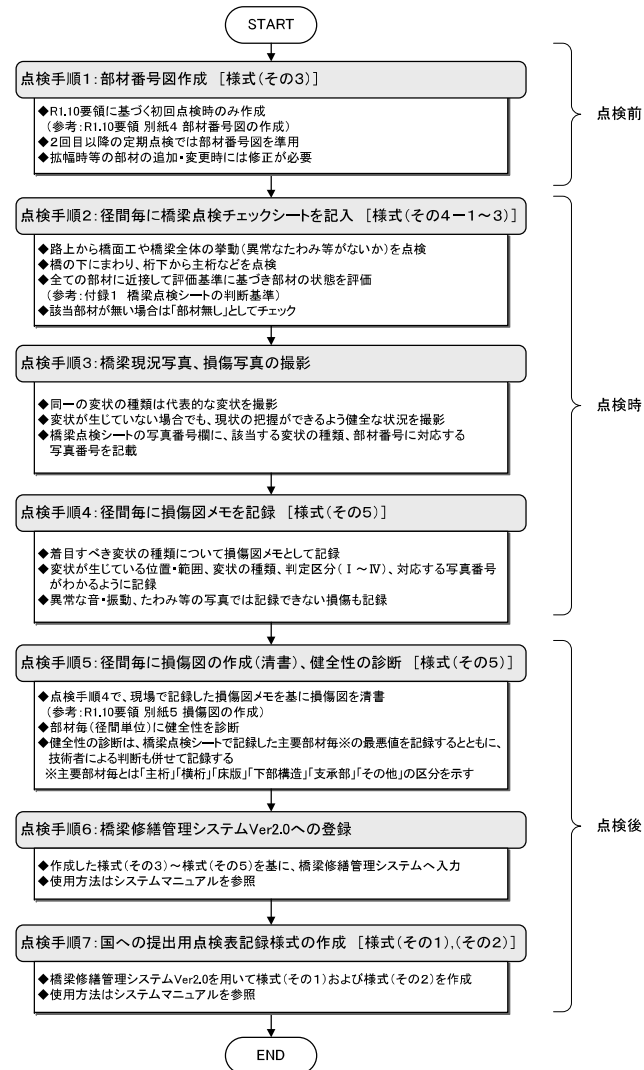
監視は、対策を実施するまでの期間、道路橋の管理への活用を予定し、予め決めた箇所の挙動等を追跡的に把握することをいう。

(4) 記録

定期点検、措置の検討などのために追加で行った各種調査の結果、措置の結果について、以後の維持管理のために記録することをいう。

別紙2 橋梁定期点検手順

道路橋の定期点検における標準的な手順を以下に示す。



付図-1 道路橋定期点検における手順

別紙3 点検項目(変状の種類)の標準(判定の単位)

付表-1 点検項目(変状の種類)の標準(上部構造、下部構造)

部位	部材	鋼	コンクリート	その他
上部構造	主桁	腐食 亀裂 ゆるみ・脱落 破断	ひびわれ 剥離・鉄筋露出 漏水・遊離石灰	—
	横桁			
	縦桁			
	床版		剥離・鉄筋露出 漏水・遊離石灰 抜け落ち 床版ひびわれ	
	対傾構		—	
	横構			
	P C定着部	定着部の異常	定着部の異常	
下部構造	橋脚	腐食 亀裂 ゆるみ・脱落 破断	ひびわれ 剥離・鉄筋露出 漏水・遊離石灰	—
	橋台			
	基礎	沈下・移動・傾斜 洗掘	沈下・移動・傾斜 洗掘	

付表-2 点検項目(変状の種類)の標準(支承部、路面・路上、全体)

部位	部材	鋼	コンクリート	その他
支承部	支承本体	支承部の機能障害 漏水・滞水	—	支承部の機能障害 漏水・滞水
	沓座モルタル	—	変形・欠損 漏水・滞水	—
路面・路上	舗装	—	舗装の異常	舗装の異常
	伸縮装置	遊間の異常 路面の凹凸	—	遊間の異常 路面の凹凸
	高欄・防護柵	腐食 変形・欠損	変形・欠損	—
	地覆・中央分離帯	腐食 変形・欠損	変形・欠損	—
	排水装置	土砂詰まり	—	土砂詰まり
全体		異常な音・振動 異常なたわみ	異常な音・振動 異常なたわみ	異常な音・振動 異常なたわみ

付表-3 点検項目（変状の種類）の標準（その他）

部位	部材	鋼	コンクリート	その他
その他	補修・補強材	補修・補強材の損傷	補修・補強材の損傷	補修・補強材の損傷
	落橋防止装置	腐食 亀裂 ゆるみ・脱落 破断 遊間の異常 異常な音・振動 異常なたわみ 変形・欠損	ひびわれ 剥離・鉄筋露出 漏水・遊離石灰 うき 遊間の異常 変形・欠損 土砂詰まり	—
	遮音施設	腐食 亀裂	—	ゆるみ・脱落 変形・欠損
	照明、標識装置	ゆるみ・脱落 破断 変形・欠損		
	点検施設	腐食 亀裂 ゆるみ・脱落 破断	—	腐食 亀裂 ゆるみ・脱落 破断 異常な音・振動 異常なたわみ 変形・欠損
	添架物	異常な音・振動 異常なたわみ 変形・欠損		
	袖擁壁	—	ひびわれ 剥離・鉄筋露出 漏水・遊離石灰 変形・欠損 沈下・移動・傾斜	—

別紙4 部材番号図の作成

部材番号図は、記録の下地となる部材番号を設定し、径間毎に作成する。また、部材番号図は、原則として橋梁を真上から見た図※として作成し、図の左側を起点側、右側を終点側とした上で、それぞれの起終点に方面を記載する。

部材番号は、表 5.2 に示す部材毎に2桁（支承部や落橋防止施設等、一部の部材は4桁）の番号をつけるものであり、各部材の名称を組み合わせることで部材を特定することができる。

部材番号の2桁の数字は、主桁等各1本単位で評価する部材および、橋台等の下部構造にあっては、橋軸方向の並び（行）または、橋軸直角方向の並び（列）を示す。

数字は図の左側（＝起点側）から右側（＝終点側）または、上側から下側に向けて順に増加するようにふりつける。また、箱桁内部の点検を行った場合は、部材番号2桁の数字のうち、左端の桁を9の値とする。

なお、部材番号図は判定区分の経年変化を知るために、初期入力されたものを更新してはならない。

補強、拡幅等により、部材の追加、変更が生じた場合は、既存の部材番号図の振り直しは行わず、新規の番号を追加するものとする。

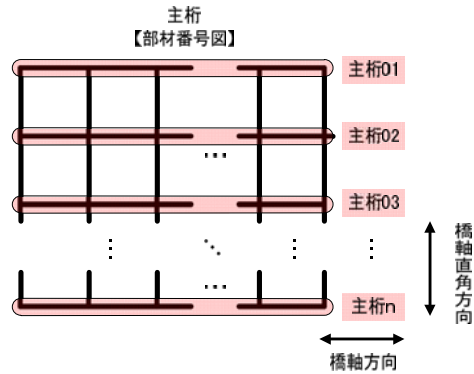
次頁以降に部位・部材単位における部材番号の付け方を示す。

※ トラス橋、アーチ橋、ラーメン橋、斜張橋等については、対象部材に応じて側面から見た図を作成する

① 主桁、縦桁

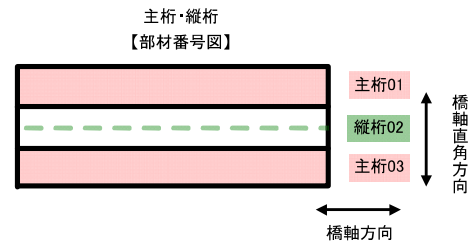
原則として、主桁1本ごとに区分する。

A. 鋼鈑桁橋、コンクリートT桁橋等



付図-2 鋼鈑桁橋、コンクリートT桁橋等の部材番号

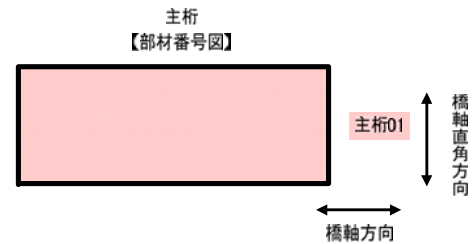
B. 箱桁橋等



付図-3 箱桁橋等の部材番号

C. 床版橋等

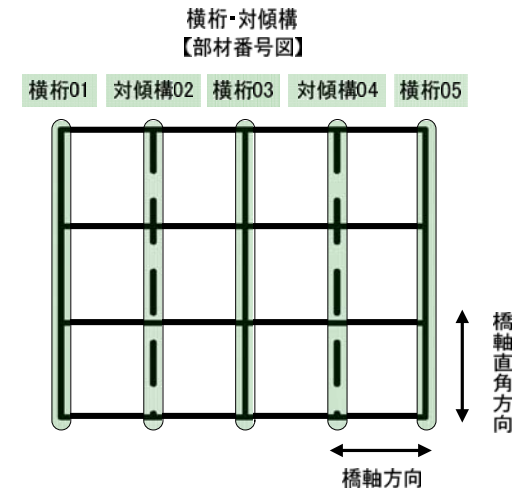
床版橋等で1主桁ごとに区分ができないものは、全体で「主桁01」として評価する。



付図-4 床版橋等の部材番号

② 横桁、対傾構

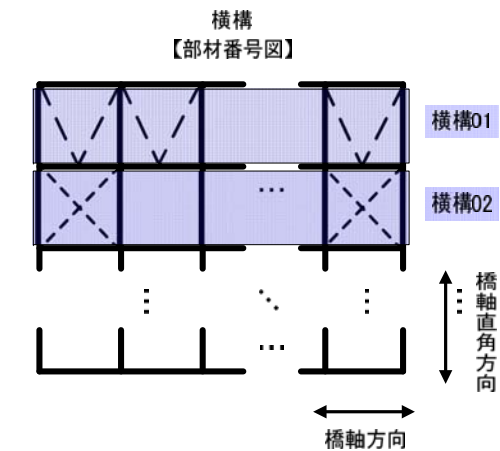
外桁同士を結ぶ部材1本ごとに区分する。



付図-5 横桁、対傾構の部材番号

③ 横構

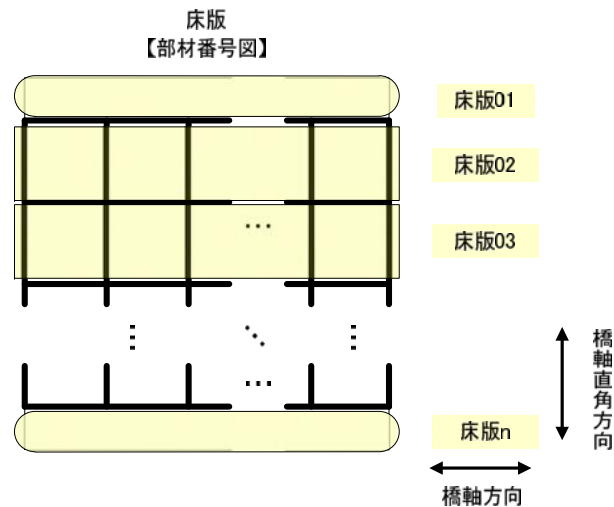
主桁によって区切られた部材ごとに区分する。



付図-6 横構の部材番号

④ 床版

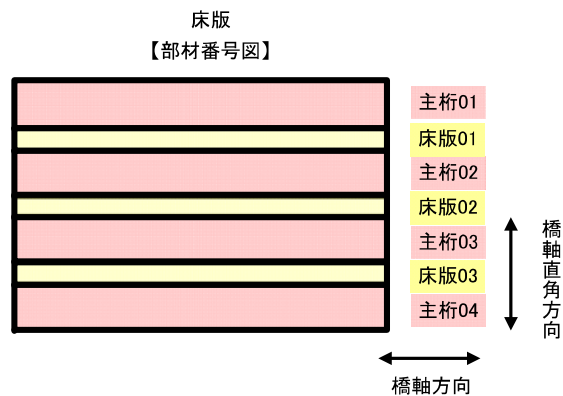
主桁によって区切られた部材ごとに区分する。



付図-7 床版の部材番号

PCプレキャスト桁等については、間詰め部を床版として評価する。

床版橋等で1主桁ごとに区分ができないものは、全体で「主桁01」として評価する（付図-4参照）。

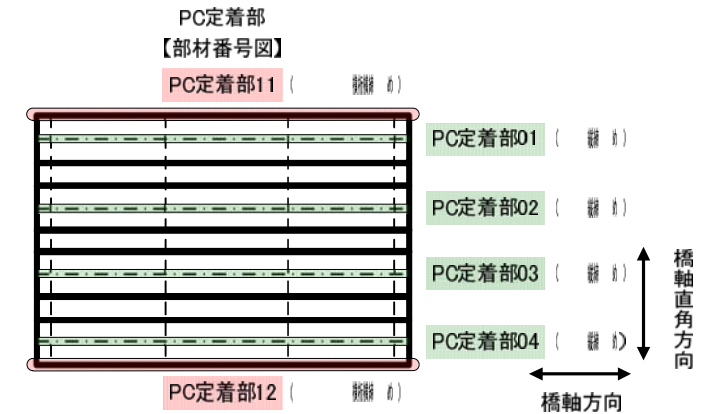


付図-8 PCプレキャスト桁等の部材番号

⑤ PC定着部

PC定着部は、縦締め、横桁横締め、床版横締めの順で付与する。

部材位置が異なる場合の部材番号は10番単位で切り上げる。

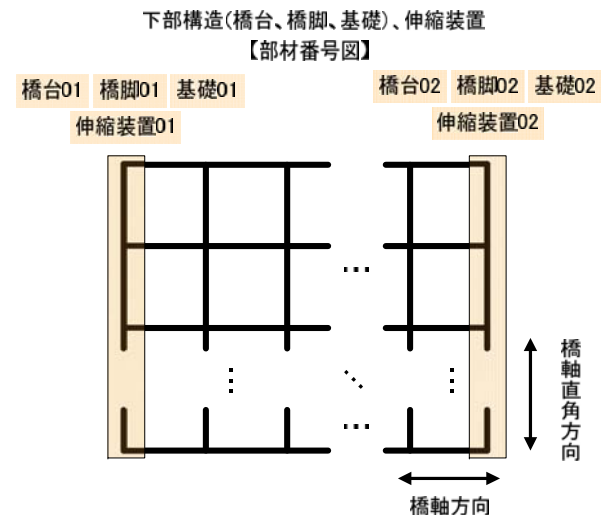


※さらに床版横締めがある場合は「PC定着部21,22」を横桁

付図-9 PC定着部の部材番号

⑥ 下部構造（橋台、橋脚、基礎）、伸縮装置

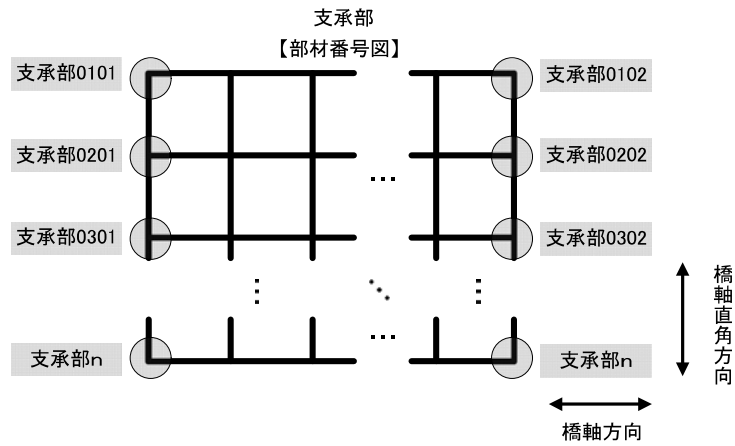
それぞれ1基ごとに区分する。



付図-10 下部構造（橋台、橋脚、基礎）、伸縮装置の部材番号

⑦ 支承部

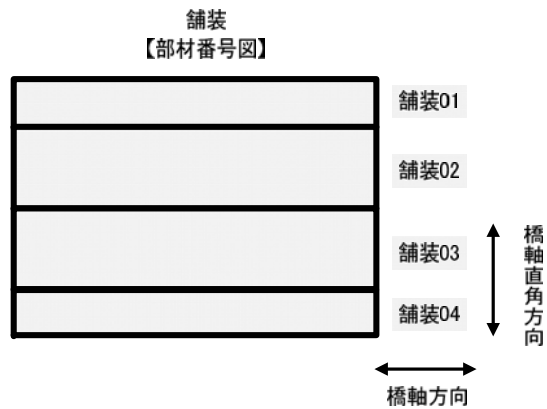
それぞれ1基ごとに区分する。



付図- 11 支承部の部材番号

⑧ 舗装

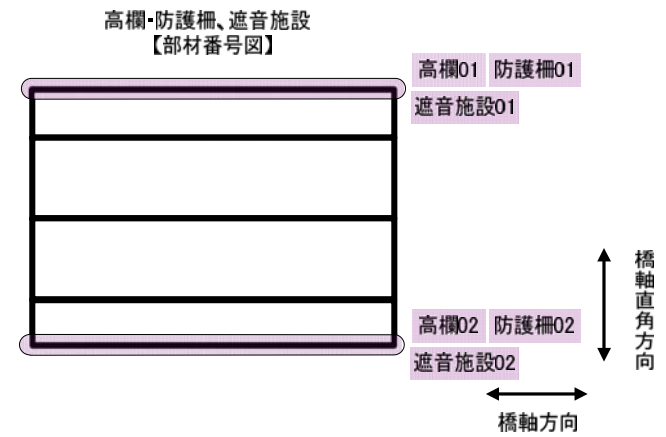
歩車道別、上下線別に区分する。



付図- 12 舗装の部材番号

⑨ 高欄・防護柵、遮音施設

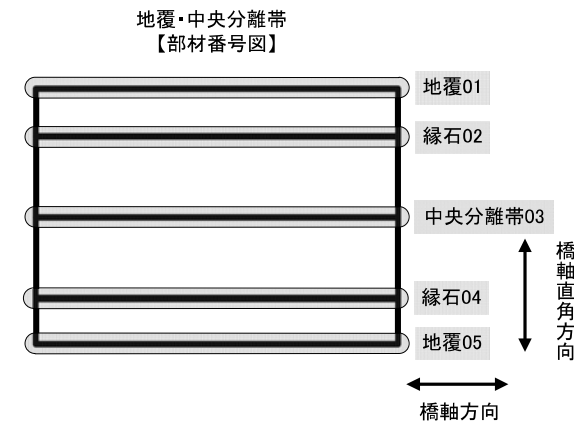
桁端同士を結ぶ部材ごとに区分する。



付図- 13 高欄・防護柵、遮音施設の部材番号

⑩ 地覆・中央分離帯

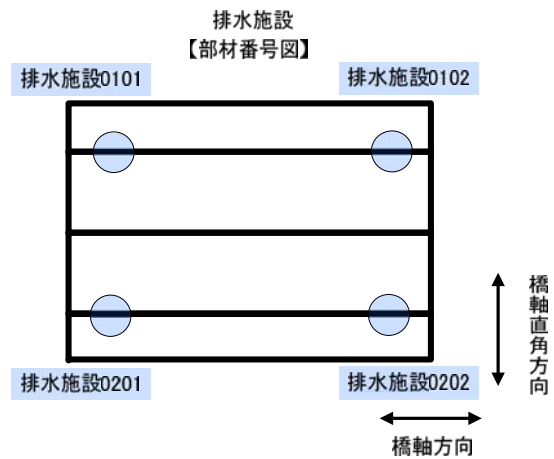
桁端同士を結ぶ部材ごとに区分する。



付図- 14 地覆・中央分離帯の部材番号

⑪ 排水装置

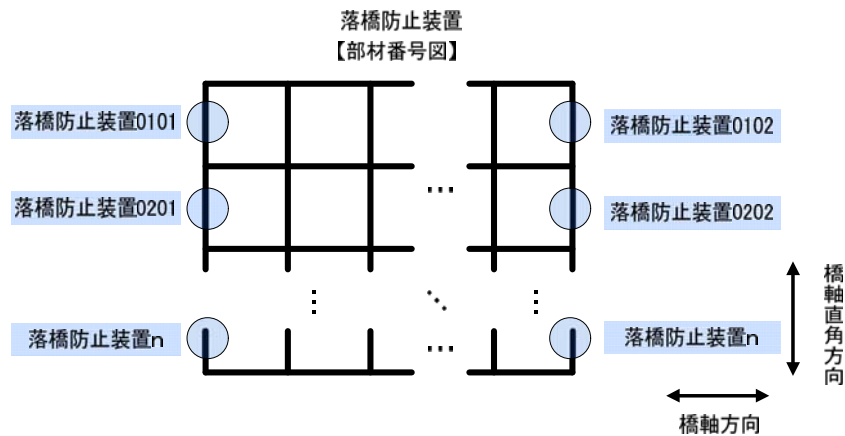
それぞれ1箇所ごとに区分する。



付図- 15 排水施設の部材番号

⑫ 落橋防止装置

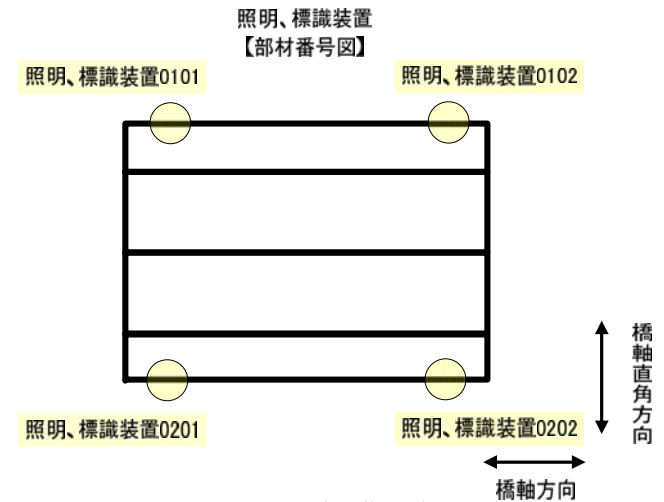
それぞれ1基ごとに区分する。



付図- 16 落橋防止装置の部材番号

⑬ 照明、標識装置

それぞれ1基ごとに区分する。

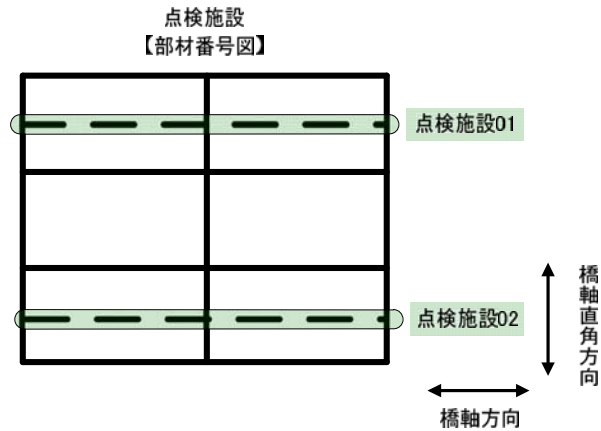


付図- 17 照明、標識装置の部材番号

⑭ 点検施設

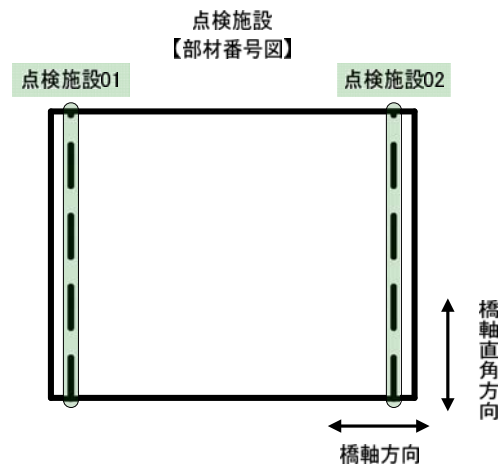
上下部工それぞれ1基ごとに区分する。

A. 上部工用点検施設



付図-18 上部工用点検施設の部材番号

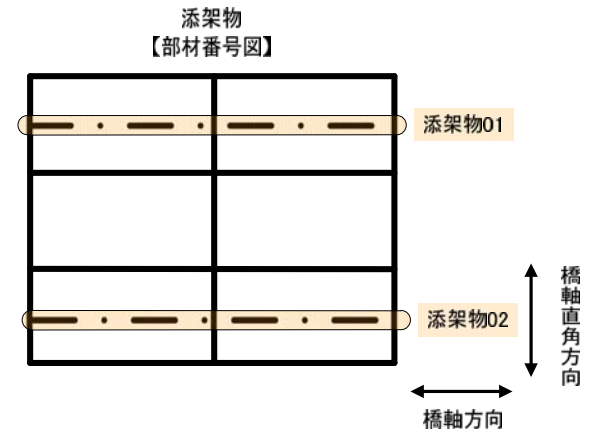
B. 下部工用点検施設



付図-19 下部工用点検施設の部材番号

⑮ 添架物

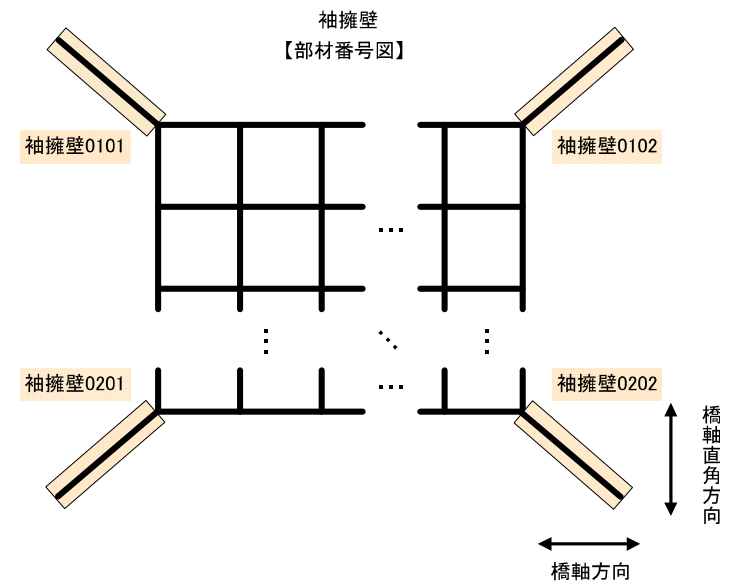
それぞれ1施設ごとに区分する。



付図-20 添架物の部材番号

⑯ 袖擁壁

それぞれ1基ごとに区分する。

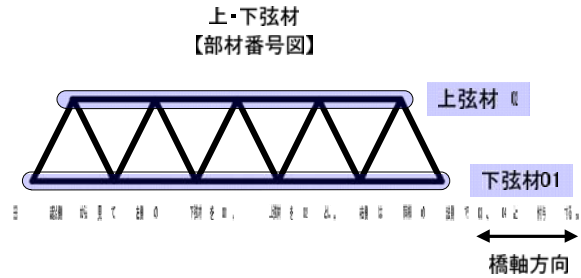


付図-21 袖擁壁の部材番号

⑪ トラス橋

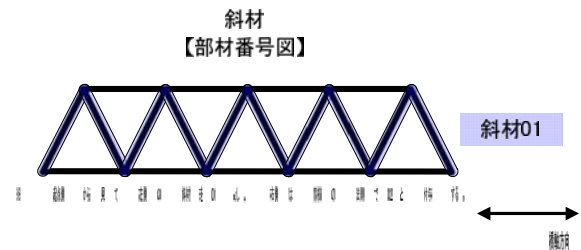
原則として、起点側から見て左側、右側の主構造ごとに区分する。

A. 上・下弦材



付図-22 トラス橋 上・下弦材の部材番号

B. 斜材

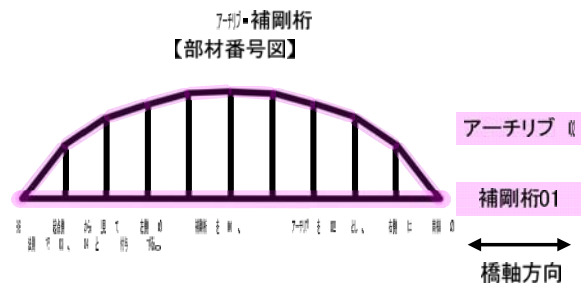


付図-23 トラス橋 斜材の部材番号

⑫ アーチ橋

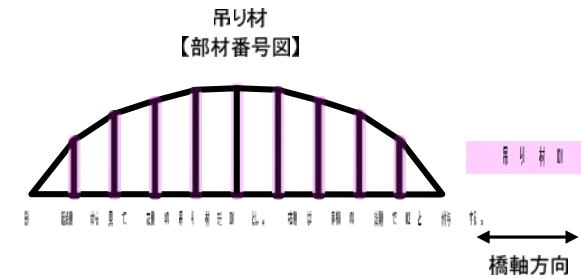
原則として、起点側から見て左側、右側の主構造ごとに区分する。

A. アーチリブ・補剛桁（下路式アーチ橋）



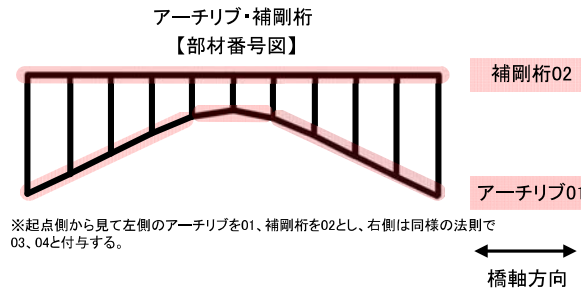
付図-24 アーチ橋（下路式） アーチリブ・補剛桁の部材番号

B. 吊り材



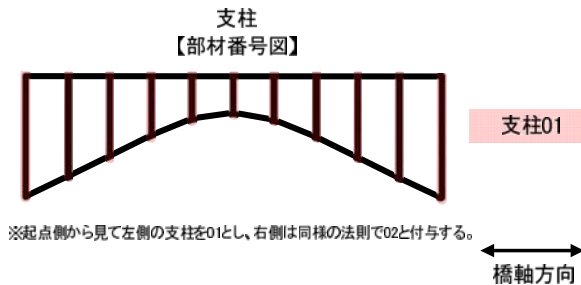
付図-25 アーチ橋（下路式） 吊り材の部材番号

C. アーチリブ・補剛桁（上路式アーチ橋）



付図-26 アーチ橋（上路式） アーチリブ・補剛桁の部材番号

D. 支柱

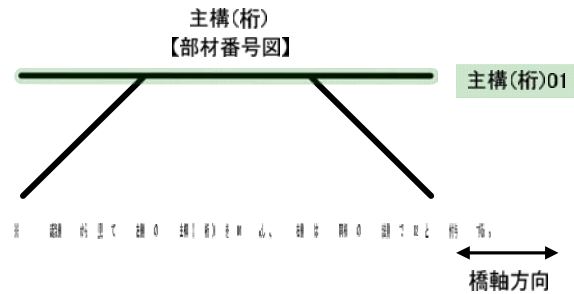


付図-27 アーチ橋（上路式） 支柱の部材番号

⑲ ラーメン橋

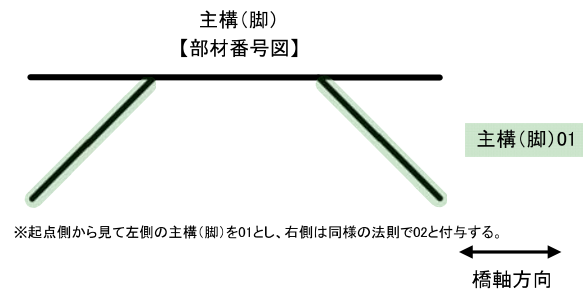
原則として、起点側から見て左側、右側の主構造ごとに区分する。

A. 主構（桁）



付図-28 ラーメン橋 主構（桁）の部材番号

B. 主構（脚）



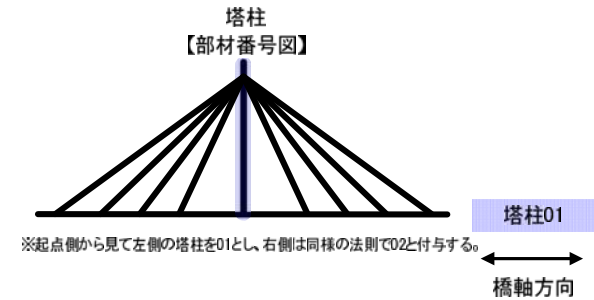
※起点側から見て左側の主構(脚)を01とし、右側は同様の法則で02と付与する。

付図-29 ラーメン橋 主構（脚）の部材番号

⑳ 斜張橋

原則として、起点側から見て左側、右側の主構造ごとに区分する。

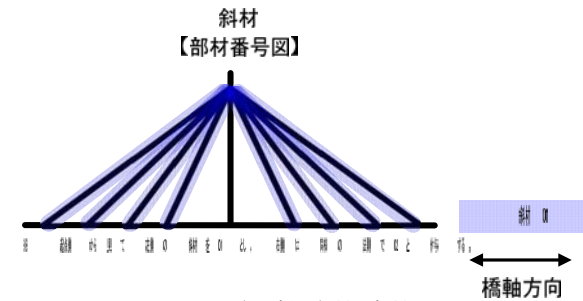
A. 塔柱



※起点側から見て左側の塔柱を01とし、右側は同様の法則で02と付与する。

付図-30 斜張橋 塔柱の部材番号

B. 斜材

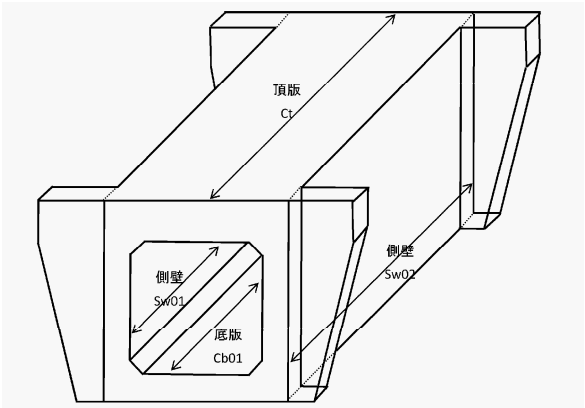


付図-31 斜張橋 斜材の部材番号

21 溝橋（ボックスカルパート）

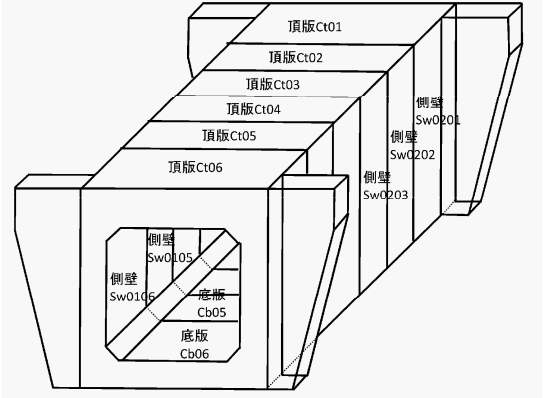
原則として、起点側から見て左側、右側の主構造ごとに区分する。

A. 分割がない場合



付図- 32 溝橋（ボックスカルパート） 分割がない場合

B. 分割がある場合

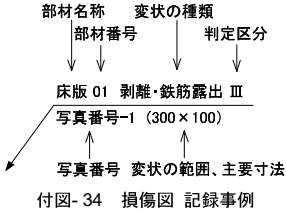


付図- 33 溝橋（ボックスカルパート） 分割がある場合

※【参考】頂版は主桁、側壁・底版は下部工として評価する。

別紙5 損傷図の作成

「様式（その5）：健全性の診断」において作成する損傷図は、径間別一般図に、表 5.2 に示す「部材名称」、「部材番号」、表 5.3 に示す「変状の種類」、表 5.1 に示す「判定区分」の順序で記入し、各変状箇所に対応した写真の番号を記入する。また、変状の範囲や主要な寸法も併記する。



記入にあたっては、次の凡例の内容を損傷図に添付する。

付表- 4 損傷図の凡例

変状の種類	表 示	変状の種類	表 示	変状の種類	表 示
ひびわれ		遊離石灰		うき	
剥離		漏水			
鉄筋露出		その他			

点検の結果は、単に変状の大小という情報だけではなく、効率的な維持管理を行うための基礎的な情報として様々な形で利用される。例えば、ひびわれ状況をもとにアルカリ骨材反応を検討したり、亀裂の発生箇所周辺の変状状況をもとに変状の原因を考察したりする場合には、損傷図が重要な情報源となる。

したがって、変状の程度を適切な方法で詳細に記録しなければならない。変状状況を示す情報のうち、判定区分を用いて変状の程度を表せない情報については、本点検調査上で、損傷図や文章等を用いて記録することとする。

以下に、判定で変状の程度を表せない情報に対する記録方法例を示す。

- ・ コンクリート部材におけるひびわれの状況のスケッチ（スケッチには、主要な寸法も併記する）
- ・ コンクリート部材におけるうき、剥離、変色等の変状箇所及び範囲のスケッチ
- ・ 鋼製部材の亀裂発生位置、進展の状況のスケッチ
- ・ 鋼製部材の変形の位置や状況のスケッチ
- ・ 漏水箇所など変状の発生位置
- ・ 異常音や振動など写真では記録できない変状の記述

別紙 6 点検表記録様式

点検内容を記録するための記録様式として、下表に示す点検表記録様式を次頁以降に示す。

付表-5 点検表記録様式

記録様式	点検表記録様式
様式（その１）	橋梁名・所在地・管理者名等
様式（その２）	状況写真（損傷状況）
様式（その３）	部材番号図
様式（その４－１～３）	橋梁点検チェックシート
様式（その５）	健全性の診断

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名		路線名	所在地		起点側	緯度	〇° 〇′ 〇″	橋梁ID
						経度	〇° 〇′ 〇″	〇° 〇′ 〇″ 〇° 〇′ 〇″
〇〇橋 (フリガナ) マルマルバシ		県道〇号	〇〇県△△市□□地先					
管理者名		定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
〇〇県 □□建設事務所		2013.5.〇	市道	有	一般道	二次	水道管	
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)					定期点検者		(株)〇〇 △△ □□	
定期点検時に記録					応急措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日	
上部構造	主桁	Ⅲ	腐食	写真7、主桁04	Ⅰ		2015.8.〇	
	横桁	Ⅱ	腐食	写真11、横桁04	Ⅰ		2015.8.〇	
	床版	Ⅲ	ひびわれ	写真18、床版02	Ⅰ		2015.8.〇	
下部構造		Ⅰ	—	—	—			
支承部		Ⅰ	—	—	—			
その他		Ⅰ	—	—	—			
道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)								
定期点検時に記録								
(判定区分)		(所見等)						
Ⅲ		部分的に床版の打ち替えが必要						
全景写真(起点側、終点側を記載すること)								
架設年次	橋長	幅員						
〇〇年	〇〇m	〇〇m						
橋梁形式								
〇径間連続鋼〇桁橋、〇式橋台2基、〇式橋脚2基								

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

様式(その2)

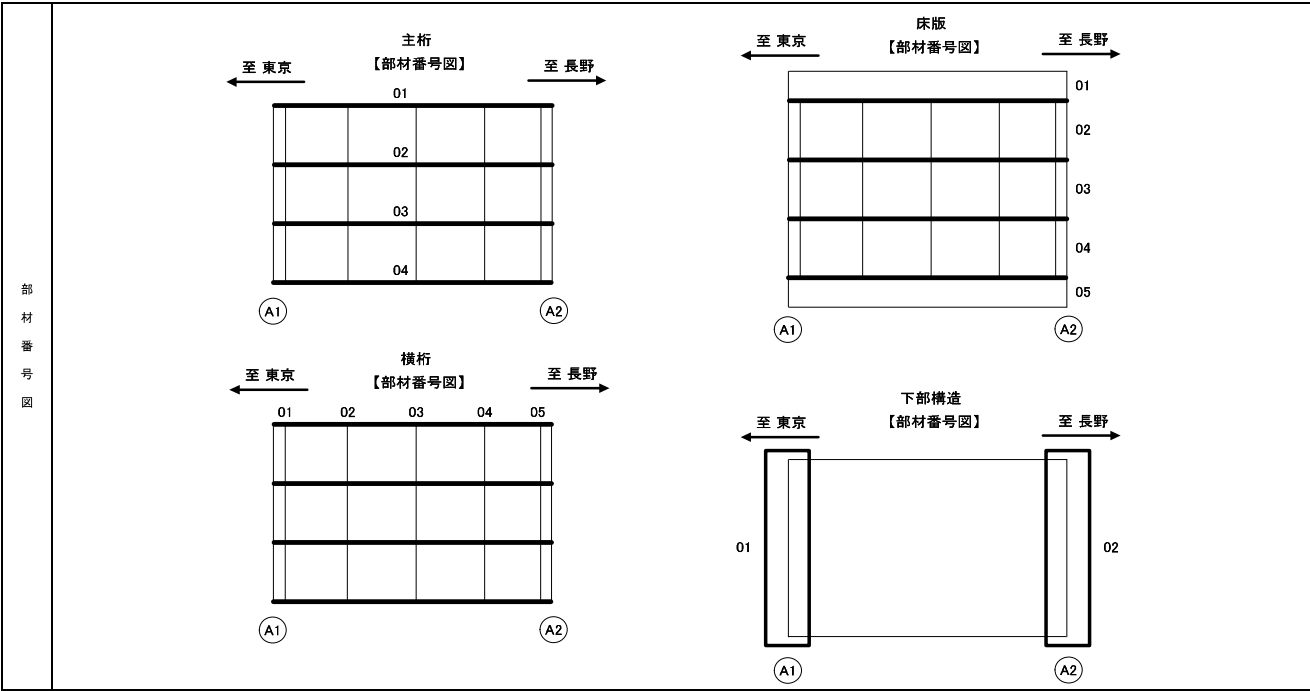
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載すること。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
7		主桁	Ⅲ	主桁04	腐食	11		横桁	Ⅱ	横桁04	腐食
径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類	径間番号	写真No	部材名	判定区分	位置	変状の種類
18		床版	Ⅲ	床版02	ひびわれ						

部 材 番 号 図	径 間 番 号	1
-----------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	マルマルパン 〇〇橋	路線名	県道〇号	管理者名	〇〇県	橋梁番号	00000
所在地	〇〇県△△市□□地先	起点側	緯度 経度	〇° 〇' 〇" 〇° 〇' 〇"	〇〇建設事務所	調査更新年月日	-



橋梁点検チェックシート	径 間 番 号	1
-------------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	マルマルパン 〇〇橋	路線名	県道〇号	管理者名	〇〇県	橋梁番号	123456
所在地	〇〇県△△市□□地先	起点側	緯度 経度	〇° 〇' 〇" 〇° 〇' 〇"	〇〇建設事務所	点検年月日	2013.5.〇

※印は「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局」における最小点検すべき部材を示す

点検項目	変状の種類	該当部材無し	点検結果	判定区分 I	判定区分 II	判定区分 III	判定区分 IV	部材番号	写真番号	補修工法	観測数量	備考
1	舗装	舗装の異常	部材無し	・横断方向に連続した亀裂が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・縦断方向に連続した亀裂が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・縦断方向に連続した亀裂が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・縦断方向に連続した亀裂が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	01			付録1 P.1
2	橋脚・橋台	遊脚の異常	部材無し	・遊脚の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・遊脚の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・遊脚の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・遊脚の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	02			付録1 P.2
3	橋脚・橋台	路面の凹凸	部材無し	・路面の凹凸が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・路面の凹凸が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・路面の凹凸が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・路面の凹凸が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	03			付録1 P.3
4	橋脚・橋台	高欄・防護欄	部材無し	・高欄・防護欄の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・高欄・防護欄の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・高欄・防護欄の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・高欄・防護欄の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	02	04			付録1 P.4
5	橋脚・橋台	地盤・中央分離帯	部材無し	・地盤・中央分離帯の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・地盤・中央分離帯の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・地盤・中央分離帯の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・地盤・中央分離帯の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	05			付録1 P.4
6	橋脚・橋台	排水装置	土砂詰まり	部材無し	・排水装置の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・排水装置の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・排水装置の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	0102	06			付録1 P.5
7	主桁	腐食	部材無し	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	04	07			付録1 P.6
8	主桁	亀裂	部材無し	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	08			付録1 P.8
9	主桁	ゆるみ・陥落	部材無し	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	09			付録1 P.10
10	主桁	破断	部材無し	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	10			付録1 P.11
11	主桁	腐食	部材無し	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・腐食の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	04	11			付録1 P.7
12	主桁	亀裂	部材無し	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・亀裂の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	12			付録1 P.9
13	主桁	ゆるみ・陥落	部材無し	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・ゆるみ・陥落の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	13			付録1 P.10
14	主桁	破断	部材無し	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	・破断の異常が生じている(ひびわれ幅3mm以上)	01	14			付録1 P.11

健全性の診断	経 間 番 号	1
--------	---------	---

フリガナ 橋 梁 名	マルマルバシ 〇〇橋	路線名	県道〇号	管理者名	〇〇県	橋梁番号	00000
所在地	〇〇県△△市□□地先	起点側	緯度 〇° 〇′ 〇″ 経度 〇° 〇′ 〇″		□□建設事務所	点検年月日	2013.5.〇

損
傷
図
作
成
用
メ
モ
用
紙

※変状の位置・範囲を囲んで示す。
引出し線で部材名称、部材番号、変状の種類、判定区分、写真番号を示す。

下面

床版01 剥離・鉄筋露出Ⅲ
写真番号-15 (300×100)

床版02 ひびわれⅢ
写真番号-18

橋桁04 腐食Ⅱ
写真番号-11

床版04 漏水・遊離石灰Ⅱ
写真番号-16 (500×800)

主桁04 腐食Ⅲ
写真番号-7

至 東京 ←

→ 至 長野

Ⓐ1

Ⓐ2

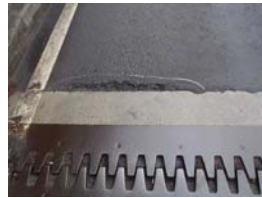
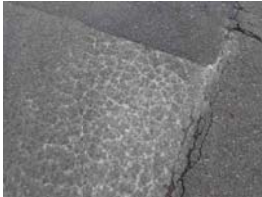
変状の種類		量	注	橋桁の腐食		量	注	床版の腐食		量	注
ひびわれ				遊離石灰				うき			
剥離				漏水							
鉄筋露出				その他							

健全性の診断

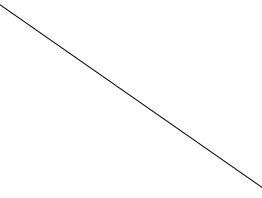
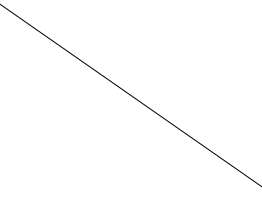
部材名		判定区分の最悪値 (チェックシート)	判定区分の診断 (技術者判断)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考 (写真番号、位置等がわかるように記載)	応急措置後の判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	応急措置内容	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	Ⅲ	腐食	写真7、主桁04	Ⅰ		2015.8.〇
	橋桁	Ⅱ	Ⅱ	腐食	写真11、橋桁04	Ⅰ		2015.8.〇
	床版	Ⅲ	Ⅲ	ひびわれ	写真18、床版02	Ⅰ		2015.8.〇
下部構造		Ⅰ	Ⅰ	—	—	—		—
支承部		Ⅰ	Ⅰ	—	—	—		—
その他		Ⅰ	Ⅰ	—	—	—		—

1. 路面・路上の損傷

(1) 舗装の異常

路面・路上の損傷		舗装の異常	
点検項目	路面・路上		舗装
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・ 損傷なし ・ 舗装に軽微な損傷が発生している（ひびわれ幅 5mm 未満）。 日常点検による維持管理および経過観察
II			・ 舗装が著しく損傷している（ひびわれ幅 5mm 以上）。 ・ 舗装に穴や異常なへこみがある。 ・ 舗装打換工 ・ 床版防水工
III			・ 舗装表面に特異な損傷が見られるが、コンクリート床版の土砂化や鋼床版の亀裂は確認されない。 ・ 舗装打換工 ・ 床版防水工
IV			・ 舗装の陥没やセメント分の噴出痕が見られ、舗装直下の床版上面のコンクリートの土砂化の発生や、鋼床版の疲労亀裂による過度のたわみの発生が懸念される。 ・ 舗装打換工 ・ 床版防水工 ・ 部分打換工* [床版] ・ 床版打換工* [床版]
備考	※ 舗装を開削し床版上面の損傷状態や詳細調査の結果に応じて対策工を検討		

(2) 遊間の異常

路面・路上の損傷		遊間の異常	
点検項目	路面・路上		伸縮装置
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・ 損傷なし ・ 左右の遊間が極端に異なる、または遊間が直角方向にずれている。 日常点検による維持管理および経過観察
II			
III			・ 遊間が異常に広く伸縮継手の歯の歯が完全に離れている。または、桁とバラベットあるいは、桁同士が接触している（接触した痕跡がある）。 詳細調査の実施 一下部工の沈下や移動、傾斜が要因と推定されるが、損傷状況とその要因が特定できない場合、詳細調査を行う
IV			
備考			

(3) 路面の凹凸

路面・路上の損傷		路面の凹凸	
点検項目		路面・路上	伸縮装置
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・橋軸方向の凹凸が生じているが段差量は小さい(20mm未満)。	日常点検による維持管理および経過観察
II			
III		・橋軸方向の凹凸が生じており段差量が大きい(20mm以上)。	詳細調査の実施 →伸縮装置自体の損傷、または、下部工の沈下、移動、傾斜等が要因と推定されるが、損傷状況とその要因が特定できない場合、詳細調査を行う
IV ¹		・著しい凹凸があり、自転車やオートバイが転倒するなど第三者へ障害を及ぼす懸念がある。	
備考			

¹ 国土技術政策総合研究所 第748号—橋梁損傷事例写真集—

(4) 変形・欠損（高欄・防護柵、地覆・中央分離帯）

路面・路上の損傷		変形・欠損など	
点検項目		路面・路上	高欄・防護柵、地覆・中央分離帯
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・部材が局部的に腐食・変形している。または、その一部が欠損している。	日常点検による維持管理および経過観察
II			
III		・部材が局部的に著しく腐食・変形している。または、その一部が著しく欠損している。	・防護柵取替工
IV ¹		・支柱部、レール部に著しい損傷があり、耐力の喪失につながる場合で第三者被害が想定される。	・防護柵取替工
備考			

¹ 国土技術政策総合研究所 第748号—橋梁損傷事例写真集—

(5) 土砂詰まり

路面・路上の損傷		土砂詰まり	
点検項目	路面・路上	排水装置	
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし	日常点検による維持管理および経過観察
II		・排水柵に土砂詰まりがある。	日常点検による維持管理および経過観察
III			
IV			
備考			

2. 鋼部材の損傷

(1) 腐食

1) 主桁、床版、橋脚

鋼部材の損傷		腐食	
点検項目	上部工	主桁、床版	
	下部工	橋脚	
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・局部的に錆が発生している。	日常点検による維持管理および経過観察
II		・全体的に錆が生じている。または拡大のある発錆箇所が複数ある。	・塗装塗替工
III		・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・当て板補強工
IV		・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。	・部材取替工
備考			

2) 主桁、床版以外（横桁、縦桁、対傾構、横構）

鋼部材の損傷		腐食	
点検項目	上部工	横桁、縦桁、対傾構、横構	
	下部工		
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・損傷なし ・局部的に錆が発生している。 日常点検による維持管理および経過観察
II			・全体的に錆が生じている。または拡がりのある発錆箇所が複数ある。 ・局部的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・塗装塗替工 ・当て板補強工
III			・全体的に著しい膨張または板厚減少が生じている。 ・部材取替工
IV			
備考			

(2) 亀裂

1) 主桁、床版、橋脚

鋼部材の損傷		亀裂	
点検項目	上部工	主桁、床版	
	下部工	橋脚	
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・損傷なし 日常点検による維持管理および経過観察
II			・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが3mm未満と極めて短く、更に数が少ない場合。 詳細調査の実施 →亀裂の有無や亀裂の深さ、応力性状や発生箇所の構造的特徴等を把握するための詳細調査を行う
III ¹			・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。 ・溶接補修工 ・ストップホール工
IV ¹			・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。 ・部材取替工
備考			

¹ 道路橋定期点検要領 平成31年2月 国土交通省 道路局

2) 主桁、床版以外（横桁、縦桁、対傾構、横構）

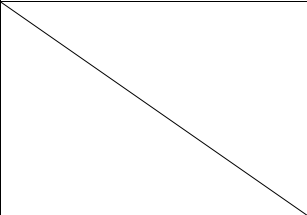
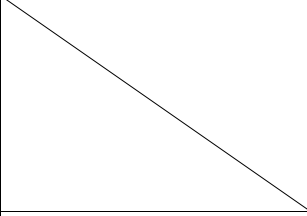
鋼部材の損傷	亀裂		
点検項目	上部工	横桁、縦桁、対傾構、横構	
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・断面急変部、溶接接合部などに鋼材の亀裂が疑わしい塗膜われが確認できる。 ・亀裂が生じているものの、線状でないか、線状であってもその長さが 3mm 未満と極めて短く、更に数が少ない場合。	・日常点検による維持管理および経過観察 ・詳細調査の実施
II		・線状の亀裂が生じている。または、直下に亀裂が生じている疑いを否定できない塗膜われが生じている。	・溶接補修工 ・ストップホール工
III		・亀裂の急激な進展が確認される。または、亀裂の原因や生じた範囲が容易に判断できる。	・部材取替工
IV			
備考			

(3) ゆるみ・脱落

鋼部材の損傷	ゆるみ・脱落		
点検項目	上部工	主桁、床版、横桁、縦桁、対傾構、横構	
	下部工	橋脚	
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が少ない(一群^{※1}あたり本数の 5%未満^{※2}である)。 ・F11T ボルトを使用している(備考欄に明記する)。	・日常点検による維持管理および経過観察 ・ボルト交換工
II			
III ¹		・ボルトのゆるみや脱落を生じているがその数が多い(一群^{※1}あたり本数の 5%以上^{※2}である)^{※3}。 ・F11T ボルトによる遅れ破壊の懸念がある。	・ボルト交換工 ・落下防止対策
IV			
備考	※1 一群とは、例えば、主桁の連結部においては、下フランジの連結板、ウェブの連結板、上フランジの連結板のそれぞれをいう。 ※2 格点等、一群あたりのボルト本数が 20 本未満の場合は、1 本でも該当すれば「III^{※3}」と判断する。 ※3 主桁、床版、橋脚以外の場合は、判定区分 II として判定する。		

¹ 道路橋定期点検要領 平成 31 年 2 月 国土交通省 道路局

(4) 破断

鋼部材の損傷		破断	
点検項目	上部工	主桁、床版、横桁、縦桁、対傾構、横構	
	下部工	橋脚	
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・損傷なし 日常点検による維持管理および経過観察
II			
III			
IV ¹			・破断している。 [*] ・部材取替工
備考	※ 主桁、床版、橋脚以外の場合は、判定区分Ⅲとして判定する。		

¹ 道路橋定期点検要領 平成 31 年 2 月 国土交通省 道路局

3. コンクリート部材の損傷

(1) ひびわれ

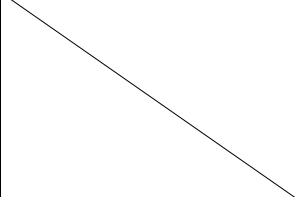
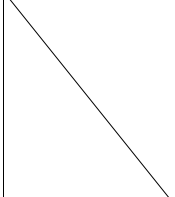
コンクリート部材の損傷		ひびわれ																															
点検項目	上部工	主桁、横桁、縦桁																															
	下部工	橋台、橋脚																															
判定区分	損傷概要写真		損傷状況	補修補強工法																													
I			・ 損傷なし ・ ひびわれ幅が小さく間隔が大きい。	日常点検による維持管理および経過観察																													
II			<table><thead><tr><th colspan="2">ひびわれ幅</th><th colspan="2">ひびわれ間隔</th></tr><tr><th>幅</th><th>RC</th><th>PC</th><th>間隔</th><th>最小間隔</th></tr></thead><tbody><tr><td>小</td><td>0.2mm未満</td><td>0.1mm未満</td><td>小</td><td>0.5m未満</td></tr><tr><td>中</td><td>0.3mm未満</td><td>0.2mm未満</td><td>大</td><td>0.5m以上</td></tr><tr><td>中</td><td>0.3mm未満</td><td>0.2mm未満</td><td>小</td><td>0.5m未満</td></tr><tr><td>大</td><td>0.3mm以上</td><td>0.2mm以上</td><td>大</td><td>0.5m以上</td></tr></tbody></table>	ひびわれ幅		ひびわれ間隔		幅	RC	PC	間隔	最小間隔	小	0.2mm未満	0.1mm未満	小	0.5m未満	中	0.3mm未満	0.2mm未満	大	0.5m以上	中	0.3mm未満	0.2mm未満	小	0.5m未満	大	0.3mm以上	0.2mm以上	大	0.5m以上	・ ひびわれ補修工
ひびわれ幅		ひびわれ間隔																															
幅	RC	PC	間隔	最小間隔																													
小	0.2mm未満	0.1mm未満	小	0.5m未満																													
中	0.3mm未満	0.2mm未満	大	0.5m以上																													
中	0.3mm未満	0.2mm未満	小	0.5m未満																													
大	0.3mm以上	0.2mm以上	大	0.5m以上																													
III			<table><thead><tr><th colspan="2">ひびわれ幅</th><th colspan="2">ひびわれ間隔</th></tr><tr><th>幅</th><th>RC</th><th>PC</th><th>間隔</th><th>最小間隔</th></tr></thead><tbody><tr><td>大</td><td>0.3mm以上</td><td>0.2mm以上</td><td>小</td><td>0.5m未満</td></tr></tbody></table>	ひびわれ幅		ひびわれ間隔		幅	RC	PC	間隔	最小間隔	大	0.3mm以上	0.2mm以上	小	0.5m未満	・ 断面修復工 ・ ひびわれ補修工															
ひびわれ幅		ひびわれ間隔																															
幅	RC	PC	間隔	最小間隔																													
大	0.3mm以上	0.2mm以上	小	0.5m未満																													
IV ¹			・ 顕著なひびわれが生じており、進展すると落橋する可能性がある。	・ 断面修復工																													
備考																																	

¹ 道路橋定期点検要領 平成 31 年 2 月 国土交通省 道路局

(2) 剥離・鉄筋露出

コンクリート部材の損傷		剥離・鉄筋露出	
点検項目	上部工	主桁、床版、横桁、縦桁	
	下部工	橋台、橋脚	
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・損傷なし ・剥離のみが生じている（鉄筋の露出は局部的）。 日常点検による維持管理および経過観察
II			・鉄筋が露出しているが、腐食は軽微である。 ・断面修復工
III			・鉄筋が露出しており、鉄筋が著しく腐食または破断している。 ・断面修復工
IV ¹			・第三者被害が想定される剥離・鉄筋露出が発生している。 ・断面修復工 ・剥落防止工
備考			

(3) 漏水・遊離石灰

コンクリート部材の損傷		漏水・遊離石灰	
点検項目	上部工	主桁、床版、横桁、縦桁	
	下部工	橋台、橋脚	
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・損傷なし 日常点検による維持管理および経過観察
II			・ひびわれから漏水が生じている（錆汁や遊離石灰はほとんどなし）。 ・ひびわれから遊離石灰が生じている（錆汁はほとんどなし）。 ・床版防水工 ・ひびわれ補修工
III			・ひびわれから著しい漏水や遊離石灰（例えば、つらら状）が生じている、または、漏水に著しい泥や錆汁の混入が認められる。 ・床版防水工 ・ひびわれ補修工
IV			
備考			

¹ 国土技術政策総合研究所 第748号—橋梁損傷事例写真集—

(4) 定着部の異常

コンクリート部材の損傷		定着部の異常	
点検項目	上部工	主桁、床版、横桁（PC 定着部）	
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・PC 鋼材の定着部のコンクリートに損傷が認められる、または、ケーブルの定着部に損傷が認められる。	日常点検による維持管理および経過観察
II			
III		・PC 鋼材の定着部のコンクリートに著しい損傷がある、または、ケーブルの定着部に著しい損傷がある。	・後埋め部の打換え ・PC 鋼材、定着具の防錆 ・詳細調査の実施 → グラウト不良による PC 鋼材の破断等が懸念される場合、グラウト充填状況を確認するための詳細調査を行う。
IV		・耐力低下の他、第三者被害が想定される定着部の異常がある。	・後埋め部の打換え ・PC 鋼材、定着具の防錆 ・PC 鋼材の突出防止 ・詳細調査の実施 → グラウト不良による PC 鋼材の破断等が懸念される場合、グラウト充填状況を確認するための詳細調査を行う。
備考			

(5) 抜け落ち

コンクリート部材の損傷		抜け落ち	
点検項目	上部工	床版	
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし	日常点検による維持管理および経過観察
II			
III			
IV ¹		・コンクリート塊の抜け落ちがある。	・部分打換工 ・床版打換工
備考			

¹ 国土技術政策総合研究所 第 748 号—橋梁損傷事例写真集—

(6) 床版ひびわれ

コンクリート部材の損傷		床版ひびわれ																					
点検項目	上部工	床版																					
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法																				
I			・ひびわれなし、もしくは、ひびわれが確認できない。 日常点検による維持管理および経過観察																				
II	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th><th>間隔</th><th>幅</th><th>遊離石灰</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一方向</td><td>問わない</td><td>0.2mm以下</td><td>無し</td></tr> <tr> <td>格子状</td><td>0.5～0.2m</td><td>0.2mm以下</td><td>無し</td></tr> <tr> <td>一方向</td><td>問わない</td><td>0.2mm以下</td><td>有り</td></tr> <tr> <td>格子状</td><td>問わない</td><td>0.2mm以下</td><td>有り</td></tr> </tbody> </table>		方向	間隔	幅	遊離石灰	一方向	問わない	0.2mm以下	無し	格子状	0.5～0.2m	0.2mm以下	無し	一方向	問わない	0.2mm以下	有り	格子状	問わない	0.2mm以下	有り	・ひびわれ補修工
方向	間隔	幅	遊離石灰																				
一方向	問わない	0.2mm以下	無し																				
格子状	0.5～0.2m	0.2mm以下	無し																				
一方向	問わない	0.2mm以下	有り																				
格子状	問わない	0.2mm以下	有り																				
III	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th><th>間隔</th><th>幅</th><th>遊離石灰</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一方向</td><td>問わない</td><td>0.2mm以上</td><td>無し</td></tr> <tr> <td>格子状</td><td>0.2m以下</td><td>0.2mm以上</td><td>無し</td></tr> <tr> <td>一方向</td><td>問わない</td><td>0.2mm以上</td><td>有り</td></tr> <tr> <td>格子状</td><td>問わない</td><td>0.2mm以上</td><td>有り</td></tr> </tbody> </table> ※部分的な角落ち有り		方向	間隔	幅	遊離石灰	一方向	問わない	0.2mm以上	無し	格子状	0.2m以下	0.2mm以上	無し	一方向	問わない	0.2mm以上	有り	格子状	問わない	0.2mm以上	有り	・ひびわれ補修工 ・部分打換工
方向	間隔	幅	遊離石灰																				
一方向	問わない	0.2mm以上	無し																				
格子状	0.2m以下	0.2mm以上	無し																				
一方向	問わない	0.2mm以上	有り																				
格子状	問わない	0.2mm以上	有り																				
IV ¹	 ・ある範囲で一体性を失っており、床版の抜け落ちが懸念される。 ・顕著な漏水を伴う格子状のひびわれが密に発生している、または、漏水を伴うひびわれがあり、明らかなうきや剥離が確認される。		・部分打換工 ・床版打換工																				
備考																							

¹ 国土技術政策総合研究所 第748号—橋梁損傷事例写真集—

4. 基礎の損傷

(1) 沈下・移動・傾斜

基礎の損傷		沈下・移動・傾斜	
点検項目	基礎		
判定区分	損傷概要写真		補修補強工法
I			・損傷なし 日常点検による維持管理および経過観察
II			
III			
IV ¹			・支点が沈下している。 ・下部工が移動・傾斜している。 ・詳細調査の実施 →橋梁全体の变形や他部材との相対的な変位量より下部工・基礎工の沈下、移動、傾斜が懸念される場合は、詳細調査を行う。
備考			

¹ 道路橋定期点検要領 平成31年2月 国土交通省 道路局

(2) 洗掘

基礎の損傷	洗掘		
点検項目	基礎		
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし	日常点検による維持管理および経過観察
II			
III		・基礎が流水のため洗掘されている。	・洗掘対策工 ・詳細調査の実施 →河川内で水位が高く洗掘状況が確認できない場合は、詳細調査を行う。
IV ¹		・基礎が流水のため著しく洗掘されている。	・洗掘対策工 ・詳細調査の実施 →河川内で水位が高く洗掘状況が確認できない場合は、詳細調査を行う。
備考			

¹ 道路橋定期点検要領 平成 31 年 2 月 国土交通省 道路局

5. 支承部の損傷

(1) 支承部の機能障害

支承の損傷	支承部の機能障害		
点検項目	支承部		
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし	日常点検による維持管理および経過観察
II		・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が損なわれている。	・部分補修工 ・支承防錆工 ・伸縮装置非排水化工
III		・腐食・土砂詰まり等、支承の機能が著しく阻害されている。	・部分補修工 ・支承防錆工 ・伸縮装置非排水化工
IV		・支承の沈下等により大きな路面段差や桁の脱落等、危険な状態になる可能性がある。 ・支承の機能が喪失しており、落橋に至る可能性がある。	・支承取替工
備考			

(2) 沓座モルタルの変形・欠損

支承の損傷	沓座モルタルの変形・欠損		
点検項目	支承部		
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし ・沓座モルタルの一部が欠損している。	日常点検による維持管理および経過観察
II		・沓座モルタルが著しく欠損している。	・沓座モルタル補修工
III			
IV			
備考			

(3) 漏水・滞水

支承の損傷	漏水・滞水		
点検項目	支承部		
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし	日常点検による維持管理および経過観察
II		・伸縮装置、排水樋取付位置などから漏水し、支承付近に滞水している。	・部分補修工 ・伸縮装置非排水化工 ・伸縮装置取替工
III			
IV			
備考			

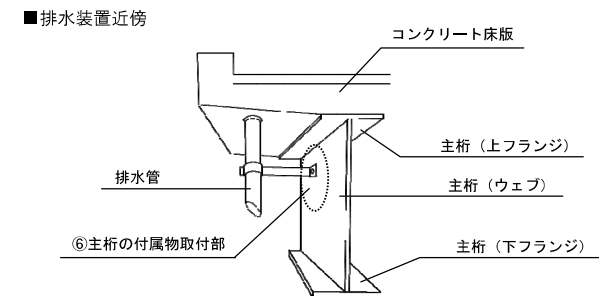
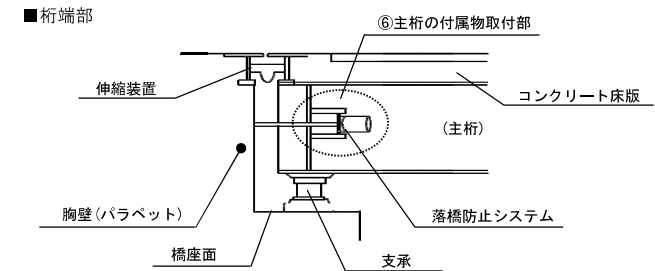
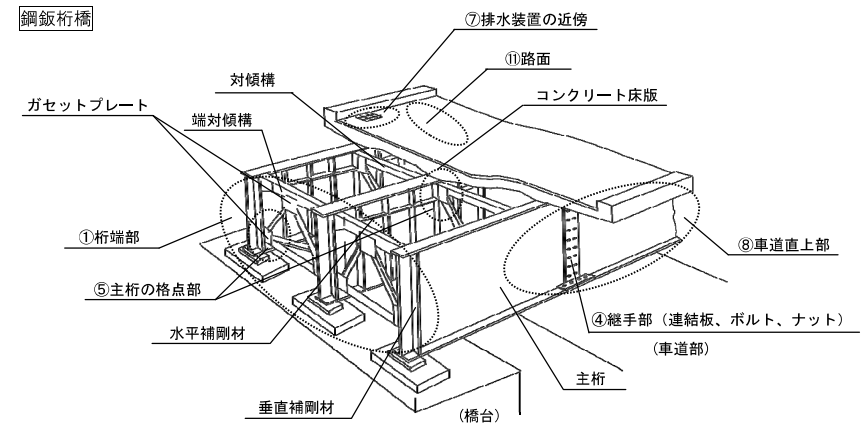
6. 橋梁全体の損傷

(1) 異常な音・振動、異常なたわみ

橋梁全体の損傷		異常な音・振動、異常なたわみ	
点検項目	全体		
判定区分	損傷概要写真	損傷状況	補修補強工法
I		・損傷なし	日常点検による維持管理および経過観察
II			
III			
IV ¹		・異常な音あるいは振動や揺れが確認できる。 ・主桁等に異常なたわみが確認できる。	・詳細調査の実施 →コンクリート桁の支間中央部の垂れ下がりや下部工の沈下による異常なたわみ等、その要因の特定のための詳細調査を行う。
備考			

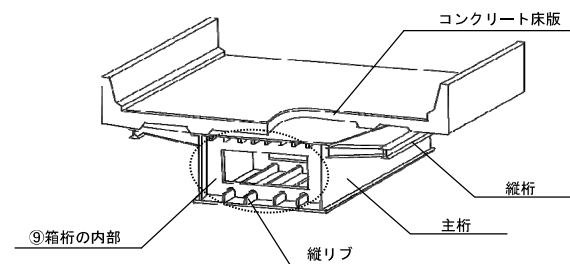
¹ 国土技術政策総合研究所 第748号一橋梁損傷事例写真集一

参考(部材等の名称)

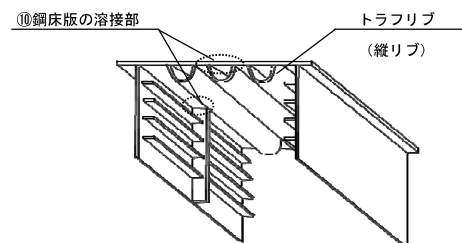
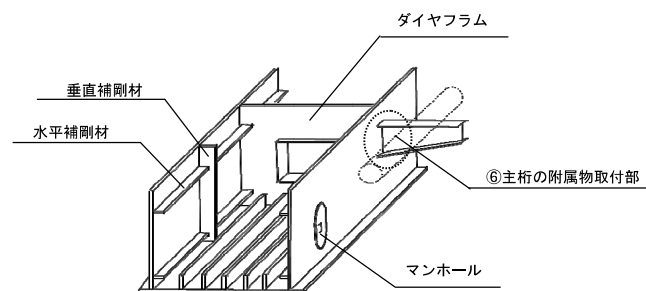


出典「道路橋定期点検要領 平成26年6月 国土交通省道路局」

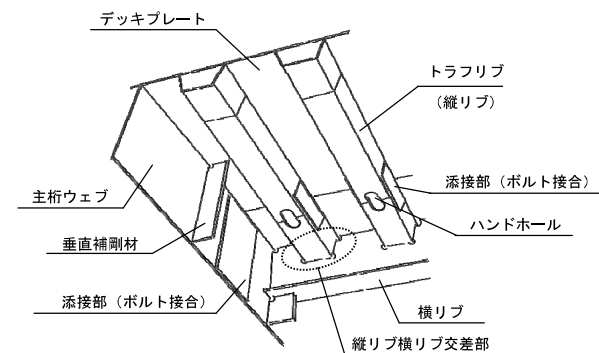
鋼箱桁橋



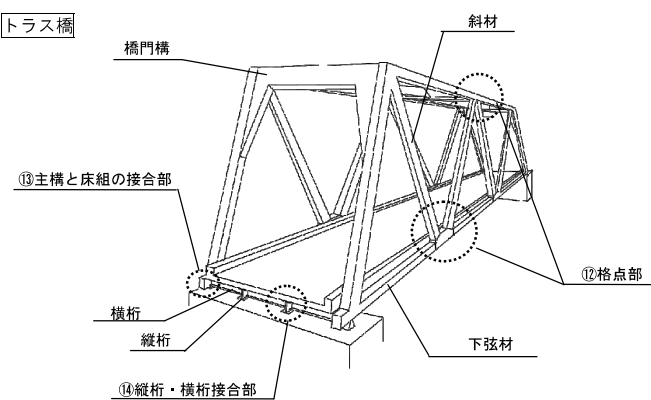
■箱桁内部



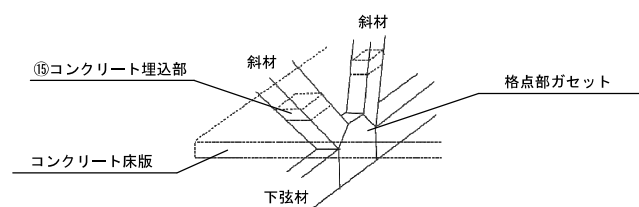
鋼床版



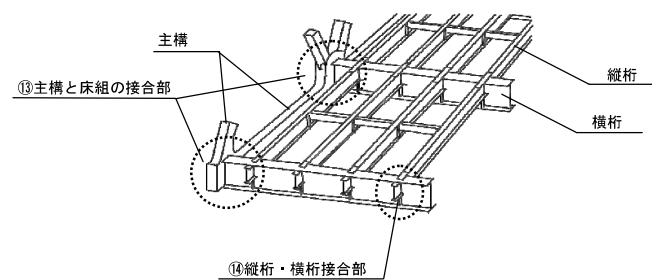
トラス橋



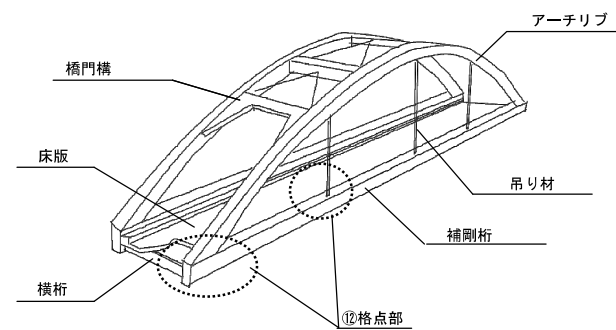
■ 格点部



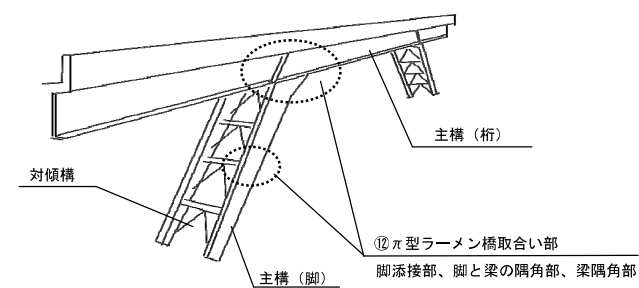
■ 床組



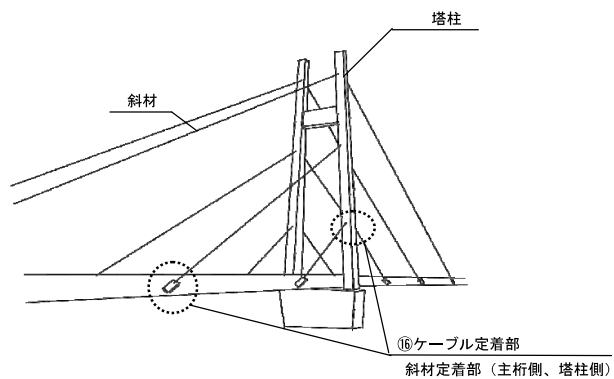
アーチ橋（下路式）



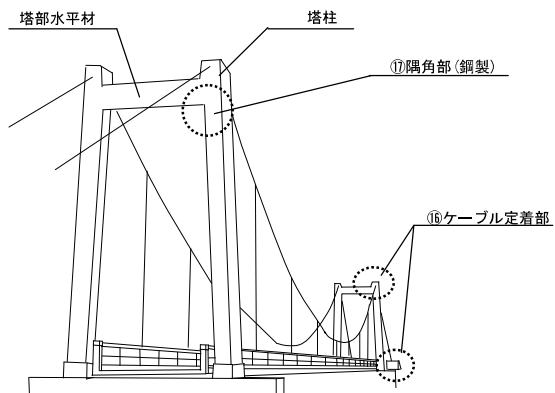
ラーメン橋



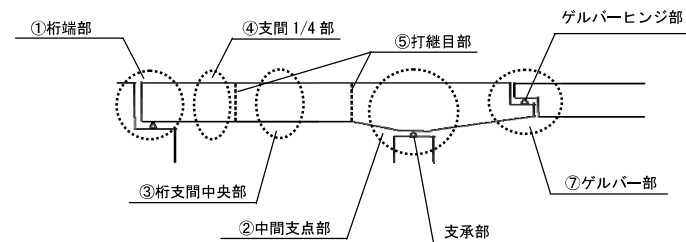
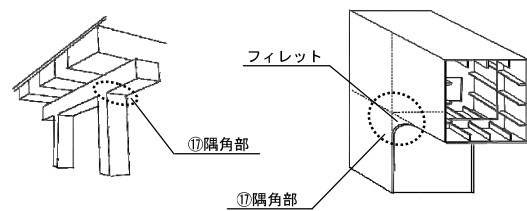
斜張橋



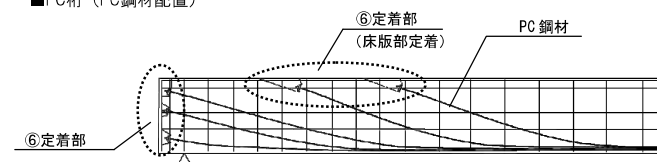
吊り橋



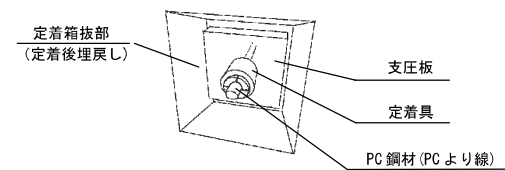
鋼製橋脚



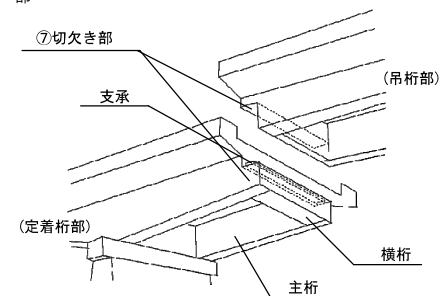
■PC桁（PC鋼材配置）



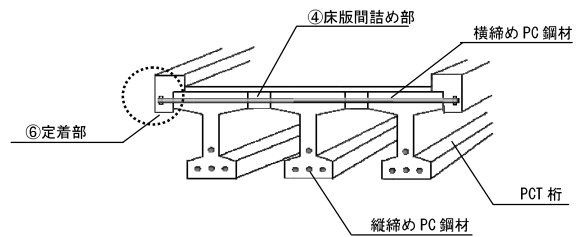
■PC鋼材定着部



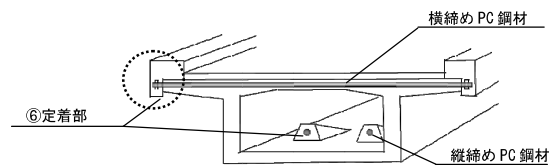
■ゲルバー部



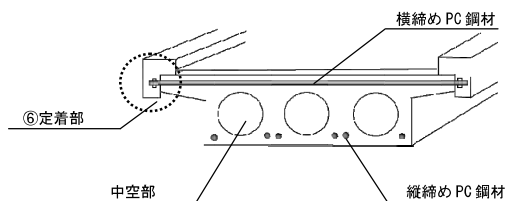
PCT桁橋



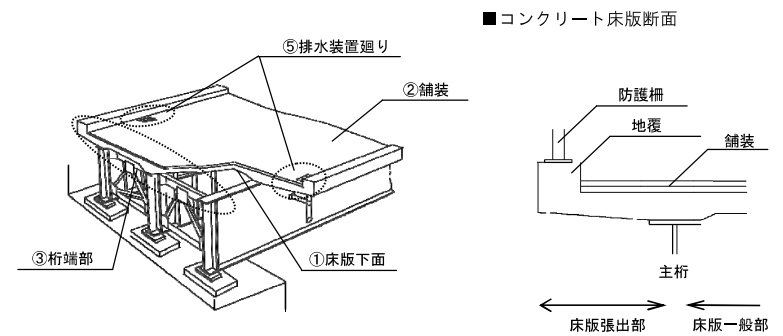
PC箱桁橋



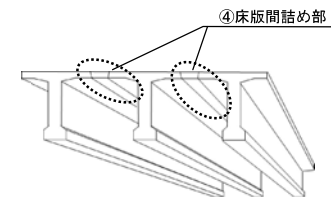
PC ボステン中空床版橋



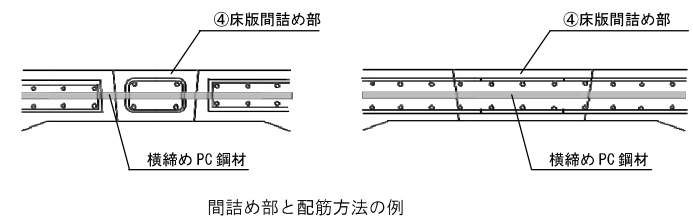
コンクリート床版

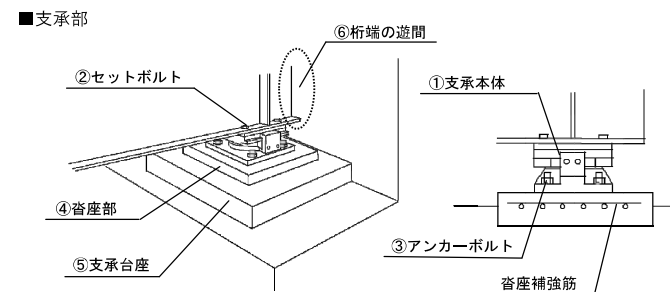
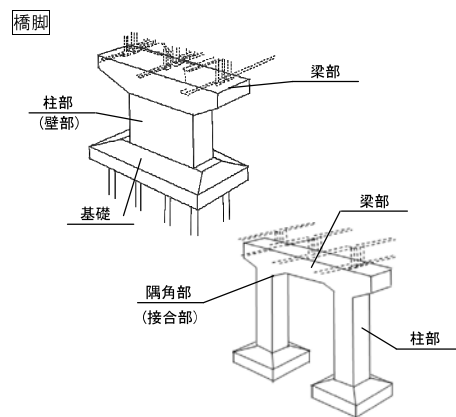
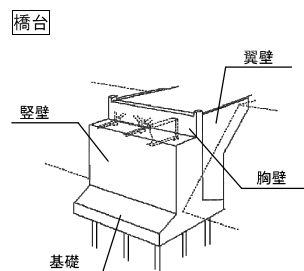


床版間詰め部 (T 桁橋)



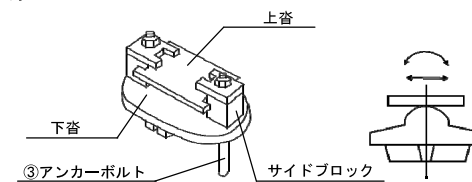
■間詰部



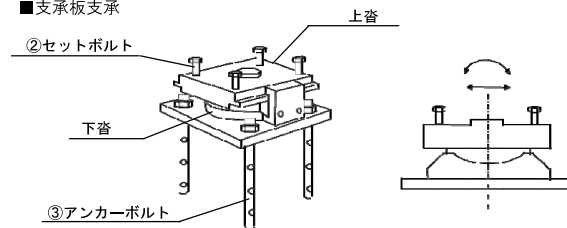


鋼製支承

■ 線支承



■ 支承板支承



ゴム支承

